

電気設備工事特記仕様書

1. 工事概要

1. 工事名称津市立新町小学校大規模改造（第四期）工事

2. 工事場所津市 八町三丁目 地内

3. 建物概要

建 物 概 要	構 造	階 数	延べ面積 (㎡)	用途区分
				消防法施行令別表第一
特別教室管理棟・屋内運動場	RC造	3階建	5,193	7 項
計				

4. 工事種目  
主な工事種目は、下記の○印のついたものである。

工 事 種 目	工 事 場 所				
	特別教室管理棟				
電力設備	電灯設備	○			
	動力設備	○			
	雷保護設備				
	接地設備				
受変電設備					
	直流電源設備				
	交流無停電電源設備				
	電力平準化用蓄電設備				
電力貯蔵設備	分散電源設備				
発電設備	ディーゼル発電設備				
	ガスタービン発電設備				
	ガスタービン発電設備				
	太陽光発電設備				
	風力発電設備				
	その他発電設備				
通信・情報設備	構内情報通信網設備	○			
	構内交換設備				
	情報表示設備	○			
	映像・音響設備				
	拡声設備	○			
	誘導支援設備	○			
	テレビ共同受信設備	○			
	テレビ電波障害防除設備				
	監視カメラ設備				
	駐車場管制設備				
	防犯・入退室管理設備				
	自動火災報知設備	○			
	自動閉鎖設備	○			
	非常警報設備				
ガス漏れ火災警報設備					
中央監視制御設備					
医療関係設備					
構内配電線路					
構内通信線路					
その他					

II. 共通仕様

1. 適用

図面及び特記仕様書に記載されていない事項については下記による。（最新のものを適用）

- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」（建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編）
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建設設備工事標準図」（電気設備工事編・機械設備工事編）
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事監理指針」「電気設備工事監理指針」「機械設備工事監理指針」
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」（建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編）
- 国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修「建築設備耐震設計・施工指針」
- 電気設備に関する技術基準を定める省令（電気設備技術基準）
- 電気工事業の業務の適正化に関する法律
- 電気工事士法
- 労働安全衛生法
- 消防関連法規（条例・所轄署指導要領を含む。）
- 電力会社供給約款
- その他関連法令、関連諸基準

2. 一般共通事項  
下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。

項 目	特 記 事 項
1. 一般事項	(1) 工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。 (2) 設計図面に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書のとおりに施工することで将来不具合が発生しうると予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。 なお、設計図書のとおりに施工であっても使用上の不具合が発生した場合は、協議のうえ改善策を講じること。 (3) 他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。 なお、調整不足による歴史的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は、監督員の指示により手直し施工を行うこと。
2. 施工中の安全確保及び環境保全	低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。
3. 足場	設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省 平成21年4月）により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
4. 三重県産業廃棄物税	本工事には産業廃棄物相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に三重県産業廃棄物税支払い請求書に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対し支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。 また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。
5. 電気工作物の種類	・一般電気工作物 ●家用電気工作物 ・事業用電気工作物
6. 電気工事士	電気工事士法の区分により施工するものとし、契約電力が600k以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工するものとする。
7. 有資格者の配置	(1) 消防設備の工事に従事する者は、当該設備に関する甲種消防設備士の資格を有する者とする。 (2) 電話設備、その他施工に資格が必要なものにあっては、関係法令に基づいた有資格者を配置し、施工するものとする。
8. 電気工事業の業務の適正化に関する法律	電気工事の施工場所ごとに、その見やすい場所に、氏名又は名称、登録番号その他の経済産業省令で定める事項を記載した標識を掲げなければならない。
9. 電気主任技術者との調整	家用電気工作物等で電気主任技術者が選任されている施設で工事を行う場合は、電気保安技術者を選任し、電気主任技術者に工事内容の説明を行い、指導を受けるものとする。 また、工事期間中の電気工作物の保安業務も行う。
10. 現場事務所等に備え付ける図書	下記の図書（最新版のもの）を備え付ける。 ① 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」（建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編） ② 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建設設備工事標準図」（電気設備工事編・機械設備工事編） ③ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」（建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編） ④ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事監理指針」、「電気設備工事監理指針」、「機械設備工事監理指針」 ⑤ 工事写真の撮り方－建築設備編－ ⑥ その他、監督員の指示する図書及び工事の容量計算等に必要図書
11. 施工計画等	受注者は施工に先立ち、次の書類を提出し監督員と打合せを行う。 なお、書類の作成においては、関連する関係者と充分に調整すること。 ① 総合施工計画書 総合工事の場合は、電気設備工事施工計画書とする。 ② 工種別施工計画書（施工要領書） 各種工種ごとに作成し、停電及び撤入計画書も作成する。 ③ 施工図（プロット図、平面図、展開図、各種詳細図） 主要機器、重要機器、360部超過器具類等については、固定方法、吊り方法等の詳細図を作成し、充分な耐震性能を確保する施工方法を提案すること。 ④ 耐震計算書、幹線計算書等 ⑤ 照度分布図、センサ動作範囲図など
12. 品質計画	品質計画については、監督員の承諾を受けること。
13. 測定機器の校正等	試験に使用する計測器類は2年以内の校正証明書（写）又は有効期限内の精度保証書（写）等を提出する。
14. 機器類の能力等	機器類の能力、容量等（電動機出力は除く）は原則として表示された数値以上とする。
15. 工程表	関連業者間にて十分協議し実施工程表、月間工程表を作成して監督員に提出すること。 なお、月間工程表には埋設・隠蔽・高所等の施工確認項目の該当時期を印すること。
16. 工事写真	営繕工事写真真像撮影（平成28年版）に従い撮影すること。
17. 施工条件	監督員及び関係部局と協議調整し決定すること。 1) 施工可能日 ・指定なし ・一部指定あり（振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等） ・指定あり 指定日（・施設の休業日 ・打ち合わせによる ・その他（ ）） 2) 施工可能時間帯 ・指定なし ・一部指定あり（振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等） ・指定あり 指定時間（（ ）時～（ ）時 ・打ち合わせによる ・その他（ ）） 3) 概成工期 ・適用する（工事期日より（ ）日前） ・適用しない（ ） 4) その他（ ）
18. 事故の発生時	工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。 なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。
19. 建設副産物	(1) 請負額1億円以上の工事について、再生資源の利用又は建設副産物の撤出がある場合、受注者は工事の着手までに「再生資源利用計画書」（建設資材を撤入する場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物を撤出する場合）を施工計画書に添じ込んで監督員に提出する。 また、工事の竣工又は完了した場合には「再生資源利用実施書」（建設資材を撤入した場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物を撤出した場合）を作成し、監督員に提出する。 なお、計画書及び実施書の提出とともにJ A C I Cが運営する「建設副産物物情報交換システム」へのデータ入力も併せて行う。 (2) 請負額1億円以上の工事について、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」に従い、再資源化等が完了した後に報告書を提出すること。

20. 発生材の処理等

(1) 引き渡しを要するもの

上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。  
(2) 特別管理産業廃棄物  
・変圧器 ・コンデンサ  
・その他（ ）  
現場内の監督員の指定する場所へ保管するものとする。  
なお施工に際して、P C B等特別管理産業廃棄物及び疑わしき機器等を発見した場合は、監督員に報告し対応を協議するものとする。  
(3) 現場内において再利用を図るもの  
・発生土  
・その他（ ）  
(4) 再資源化を図るもの  
・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材  
(5) 発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調書」を提出すること。  
また、再利用を図るものについても調書を作成し、監督員へ提出すること。  
(6) 引き渡しを要しないものは、全て構外に撤出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。（マニフェストA、B、C、D、E票を提示すること。）

21. 官公署への手続き

工事の着手、着工、完成にあたり、関係官公署への必要な届出、手続き等を遅滞なく行う。  
なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。  
●消防設備関係 ・電気工作物関係 ・通信関係 ・建設工事関係  
・その他（ ）

22. 消防法関係の手続き

(1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成  
●本工事（ ・建築工事 ●電気設備工事 ・機械設備工事 ） ・別途工事  
(2) 防火対象物使用開始届出書  
書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。

23. 工事前仮設物

構内への設置 ●できる（施設管理者と協議） ・できない

24. 工事前電力、水、その他

建築工事に準ずる。

25. 工事中等の保安管理

新築、増築等で家用電気工作物の範囲が変更になった場合、工事着手から引渡しまでの電気保安管理等にかかる費用は本工事に含まれる。

26. 搬入計画

大型機器、重量物等の搬入前に、搬入経路の有効寸法（廊下、天井高さ、搬入経路上の曲がり等）、障害物（足場等）、養生方法、運送車両、揚重機械、搬入機械の種類、台数及び数量、雨天の場合の処置、受入検査の方法等を記載し監督員に提出する。

27. 製品確認

発注者及び受注者の協議により仕様を決定し、製作するよう規格品でない製品並びに監督員が指定する製品については、試験及び検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認をするものとする。

28. 機材等の検査及び試験

検査及び試験を行うべき機材等は、設計図書によるほか、監督員の指示による。

29. 完成確認及び完成検査時の電源確保

機器の動作確認、電圧、極性、相回転等確認できるように電源を確保すること。

30. 完成時の操作説明

タイマ、総合盤、動力盤等操作の必要な機器については、使用開始前に操作説明を行うものとする。  
また、必要に応じて操作説明書、操作注意事項書を作成し、機側に備えるものとする。

31. 不正軽油の使用の禁止

市工事の施工に当たり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材の搬入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。  
受注者は、市が使用燃料の保油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。  
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

32. 社会保険等未加入対策

(1) 適用除外でないにもかかわらず社会保険等が未加入である建設業者を下請契約（受注者が直接締結する請負契約に限る。）の相手方としてはならない。  
(2) 下請契約に先立って、選定の候補となる業者について社会保険等の加入状況を確認し、適用除外でないにもかかわらず社会保険等が未加入である場合には、早期に加入手続きを進めるよう指導を行うこと。  
(3) 受注者は、施工体制台帳、再下請通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加えているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。

33. その他

設計図面に定められていない事項は監督員に報告し、指示を受けるものとする。

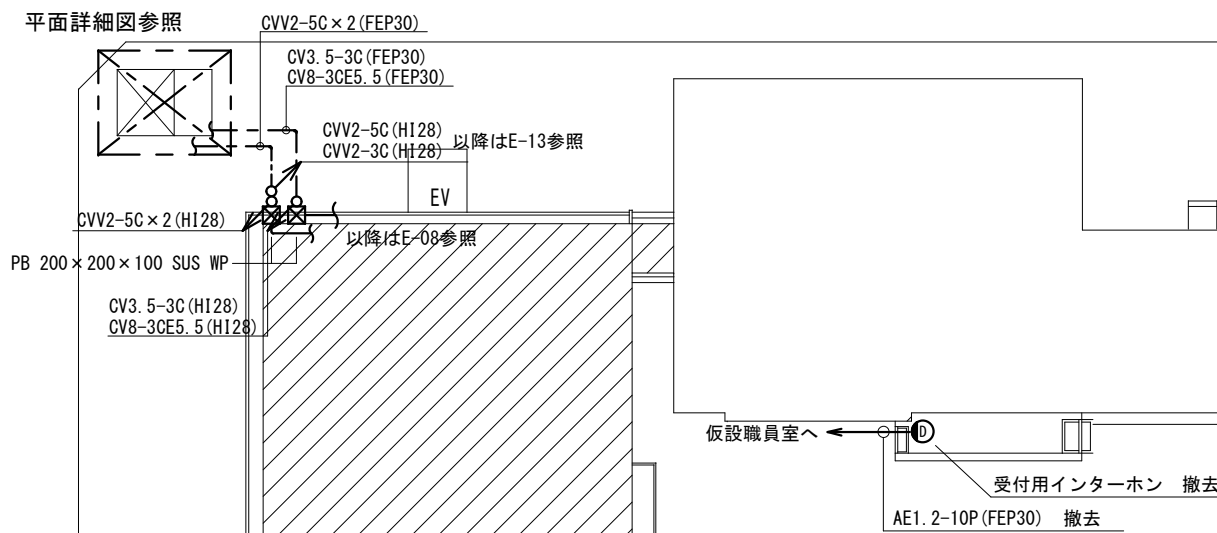
2. 施工仕様  
下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。

項 目	特 記 事 項																																																														
1. 既設設備等の調査	既設設備等の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響をきたさないよう、現地工事着工前に充分な調査を行うこと。 (1) 地中埋設管路 1) 項 目 ●埋設配管 ・構造物 ・その他（ ） 2) 調査範囲 ●埋設ルート ・その他（ ） (2) 貫通及びはつり 1) 項 目 ・鉄筋 ・配管 ・その他（ ） 2) 調査範囲 ・施工部分 ・その他（ ） (3) 既設との取合い 1) 項 目 ●接続箇所 ・増設箇所 ・その他（ ） 2) 調査範囲 ●施工部分 ・その他（ ）																																																														
2. 施工前の測定等	改修工事にあつた場合は、工事範囲の既設機器の動作確認及び絶縁測定等を着工前に行い、監督員に報告すること。																																																														
3. 耐震施工	(1) 想定される地震に対応するものとする。 (2) 耐震計算書を監督員に提出するものとする。																																																														
4. 耐震基準	(1) 適用 耐震措置の計算及び施工方法は、最新版の「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」（建設大臣官房官庁営繕部監修）及び「建築設備耐震設計・施工指針」（独立行政法人建築研究所監修）による。 (2) 設計用水平地震力 機器の重量に、設計用水平震度を乗じたものとする。 なお、特記な場合、設計用水平震度は次による。 設計用標準水平震度 (Ks) <table><thead><tr><th rowspan="3">設 置 場 所</th><th rowspan="3">機器種別</th><th colspan="4">耐震安全性の分類</th></tr><tr><th colspan="2">特定の施設</th><th colspan="2">一般の施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">上層階、屋上及び塔屋</td><td>機器</td><td>2. 0</td><td>1. 5</td><td>1. 5</td><td>1. 0</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>2. 0</td><td>2. 0</td><td>2. 0</td><td>1. 5</td></tr><tr><td rowspan="3">中間階</td><td>水槽類</td><td>2. 0</td><td>1. 5</td><td>1. 5</td><td>1. 0</td></tr><tr><td>機器</td><td>1. 5</td><td>1. 0</td><td>1. 0</td><td>0. 6</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1. 5</td><td>1. 5</td><td>1. 5</td><td>1. 0</td></tr><tr><td rowspan="2">水槽類</td><td>1. 5</td><td>1. 0</td><td>1. 0</td><td>0. 6</td></tr><tr><td rowspan="2">1 階及び地下階</td><td>機器</td><td>1. 0</td><td>0. 6</td><td>0. 6</td><td>0. 4</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1. 0</td><td>1. 0</td><td>1. 0</td><td>0. 6</td></tr><tr><td>水槽類</td><td>1. 5</td><td>1. 0</td><td>1. 0</td><td>0. 6</td></tr></tbody></table>	設 置 場 所	機器種別	耐震安全性の分類				特定の施設		一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、屋上及び塔屋	機器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0	防振支持の機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5	中間階	水槽類	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0	機器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6	防振支持の機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0	水槽類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6	1 階及び地下階	機器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4	防振支持の機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6	水槽類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
設 置 場 所	機器種別			耐震安全性の分類																																																											
				特定の施設		一般の施設																																																									
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																										
上層階、屋上及び塔屋	機器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0																																																										
	防振支持の機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5																																																										
中間階	水槽類	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0																																																										
	機器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6																																																										
	防振支持の機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0																																																										
水槽類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6																																																											
	1 階及び地下階	機器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4																																																									
防振支持の機器		1. 0	1. 0	1. 0	0. 6																																																										
水槽類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6																																																											
5. はつり	(1) 穴開け及び補修 ・なし ●あり (2) 溝はつり及び補修 ・なし ●あり																																																														
6. あと施工アンカー	性能確認試験及び施工確認試験 ・行う ・行わない																																																														
7. 基礎の配線ビット	基礎に配線ビットを設ける場合、ビットの寸法は数設するケーブルの曲げ半径、条数、将来増設時の作業性、事故時の対応、排水等に配慮する。																																																														
8. 配管・配線の耐震処置	建物引込部の配管の耐震処置 ・行う ・行わない 建物のエキスパンションジョイント部の配線の耐震処置 ・行う ・行わない																																																														
9. 最上階の埋込配管	最上階のコンクリート屋根スラブへの埋込配管は、原則として行わない。																																																														
10. 露出配管	(1) 雨線外など水気のある場所に施設する場合は、U字配管を行わない。 (2) 壁面配管で人が容易に触れるおそれのある部分（2 m 以下）の配管には、突起のない支持金物又は保護カバーを使用する。 (3) 通路部分では床配管を避け、天井配管の場合は原則2.1 m 以上とする。 (4) 監督員の指示がある場合は、上記に係わらずその指示に従う。																																																														
11. 合成樹脂管	(1) 合成樹脂管の管端には、ブッシングを取り付ける。 (2) 原則として屋外の露出には使用しない。（P F 管）																																																														
12. 金属製電線管等の塗装	(1) 露出配管、露出ボックス、鋼製ボックス等のうち下記の部分には、塗装を施す。 1) 屋外、屋内（電気室、機械室、E P S、居室、廊下）、その他建築意匠上必要な箇所。 2) 図面に特記なき場合は、溶融亜鉛メッキ鋼材製のポール及びアームは塗装しなくてもよい。ただし、図面に指示がある場合はその指示による。 (2) 湿気、水気のある場所及びコンクリート埋込みの金属製位置ボックスの内面には絶縁性防錆塗料を充分に塗布すること。（監督員が指示した場所は除く。） 4) 仮付貫通部の金属配管には禁止した塗装を施すこと。 (2) 塗装はエッチングプライマー1種の下地処理のうえ、監督員の指定する色にて調合ペイント2回塗りとする。ただし、指定場所及びその他建築意匠上、必要な箇所の露出プルボックスは指定色焼付塗装とされる。																																																														
13. 導入線	通線を行わない配管及び配線引き抜き後に空となった配管には、導入線（φ 1.2 mm 以上の樹脂被覆鉄線等）を挿入する。ただし、長さ1 m 以下の部分は省略することができる。																																																														
14. ボックス類	位置ボックス及びジョイントボックス類は、図面に特記なき場合、原則として金属製とする。																																																														
15. 軽量間仕切のボックス	軽量間仕切に位置ボックスを固定する場合は、ボルト等により堅固に固定する。																																																														
16. プルボックス	(1) 屋外形及び特別に製作された特殊形状又は大きいもの（一辺が600 mm 以上のもの）は、製作図を提出すること。 (2) 屋外形プルボックスと露出配管等の接続部は、カップリング溶接等による。ただし、既設プルボックスに接続する場合は防水パテ等でシーリングを行う。 (3) 屋外形プルボックスはボックス内に支持ボルトが突出しない構造とし、取付部にはコーキングを行う。																																																														
17. ボルト・ナット類	屋外に使用する支持金物及びボルト、ナット類で特記のないもの ●ステンレス ・溶融亜鉛メッキ仕上げ																																																														
18. ケーブル及び配線	(1) 表示 下記の箇所で、ケーブル等に行き先等表示札（ケーブル種別及びサイズ、行き先、用途等を表示。）を取り付ける。 ① ケーブル分岐部分 ② プルボックス内 ③ マンホール及びハンドホールごと (2) ケーブル余長 1) 地中線式の場合、マンホール、ハンドホール内でケーブル余長を見込む箇所数 ・ 2箇所 ・ 4箇所 ・ （ ）箇所 2) 架空線式の場合、電柱上でケーブル余長を見込む箇所数 ・ 2箇所 ・ 4箇所 ・ （ ）箇所																																																														
19. 高圧ケーブル端末処理	高圧ケーブルの端末処理部、直線接続部等に処理者銘板（屋内外共で、線名、作業日、氏名等を表示。）を取り付ける。																																																														

20. 配線器具の設置	(1) 特殊コンセントはプラグ付とする。 (2) 電源の種類により色を区別する。 (3) 配線器具を取り付ける場所が金属の場合は、絶縁棒を使用する。 (4) プレートは、図面に特記なき場合は、新金属製とする。 (5) カバープレートは、原則として新金属製とする。 なお、器具を実装しない位置ボックスには用途表示をすること。 (6) フロアプレートは、水平高低調整型（空転防止プラグ付）とする。	3. 機器仕様 下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。 なお、詳細については、図面による。	21. 照明器具の設置	(1)コードペンダント以外の放電灯及び水気のある場所の器具は接地する。なお、金属配管の場合は、配管を利用してよい。（乾燥した場所のコンパクト形器具（27W以下）を除く。） (2)接地線は電灯配線と同一太さのケーブルの1芯（緑色）を使用する。ただし、監督員の指示により1.6mmの絶縁電線（緑線）を添えることもできる。 (3)照明器具を設置する前に、照度分布図を作成し監督員の承認を得ること。 (4)照明器具取付完了後、照度測定を行う。照度計は一般形A A級とする。 (5)天井・地下材より支持をする場合は、ワイヤ等により脱落防止の措置を行う。 (6)バイパ吊りの照明器具は振れ止めを施工する。	22. 照明改修の際の測定	対象室の改修前後の照度及び回路電流値の測定を次のとおり行うこと。 測定箇所（ ） 測定回数（ ）回	23. 分電盤、制御盤、キュービクル等	(1)図面ホルダー内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。 また、既設分電盤・制御盤等を改造した場合は、図面を修正するものとする。 (2)屋外キャビネットで露出配管をボックスに接続する場合は、カップリングを溶接等行い接続部から雨水等が浸入しない方法とする。ただし、既設ボックスに接続する場合はロックナットとボックスの間にゴムパッキン等を取付け、接続部からの雨水等が浸入しないようにする。	24. 受変電設備、発電設備の設置場所	(1)保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。 (2)基礎の高さは周囲の状況を考慮する。 (3)電気室には水管、蒸気管、ガス管、ダクト等を通過させない。	25. 発電設備の燃料配管	(1)フレキシブルジョイント取付位置は、施工前に所轄の消防署と十分に打合せを行う。 (2)配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。	26. 電波関係の計算及び測定	(1)計算書の提出 電界強度測定結果による計算書を提出 ・ 施工前 ・ 躯体上がり時 ・ その他（ ） (2)測定の実施 ①項目 全受信チャンネルの電界強度、受像画質、等価C/N、ビット誤り率の測定及び映像写真の撮影を行う。 ②測定時期 ・ 施工前 ・ 躯体上がり時 ・ 施工後 ・ その他（ ） ③報告書提出回数 ・ 2部 ・ （ ）部	27. 土工事	(1)埋戻しの材料及び工法 ・ 自掘（材料：掘切り土の中の良質土 / 工法：機器による締固め） ・ その他（ ） ただし、配管周りの埋戻し材料は山砂とする。 (2)特記なき地中埋設配管の深さは、GL-600mm以上とする。 (3)掘切りの種類は、マンホール、ハンドホール、屋外受変電設備及び自家発電装置の基礎等は総掘り、埋設管路等は有掘り、外灯基礎、電柱等はつば掘りとする。 (4)機械掘削は掘切り底を乱さないようにする。	28. ハンドホール、マンホール	1) 地中接続及びハンドホール等沈下が考慮される場合は、沈下対策を施す。 2) 地耐力 ① 地耐力は、建築基準法施行令第93条の短期応力度とする。 ② 衝撃係数は、設置場所に応じた衝撃係数とする。 3) 高さ900mmを超えるものにあつては、タラップ付とする。 なお、タラップの取付は4.50mm間隔以内とし、原則として接地を施すこと。	29. 地中配線路の表示杭	下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。 ① 建物への引込口及び出入口付近 ② マンホール・ハンドホール付近 ③ 地中接続の曲折箇所 ④ 道路横断箇所 ⑤ 直線部分では30m程度に1個	3. 機器仕様 下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。 なお、詳細については、図面による。	【電力設備】 1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 負荷設備 (4) 負荷設備への接続 (5) 電動機等の接地 (6) 電動機等の力率の改善 (7) 保護継電器 (8) 分電盤、制御盤等 3. 雷保護設備 (1) 避雷針 (2) 雷サージ保護 (3) 電源回路の保護 (4) 通信回路の保護 4. 接地設備 (1) 接地工事 (2) 接地抵抗の測定 (3) 接地極埋設様 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 盤類 (4) 交流遮断器	1. 電灯設備 (1) 既設等との取り扱い (2) 機器類 (3) 一般照明器具 (4) 照明制御装置 (5) 外灯（単独設置） (6) コンセント等 (7) 分電盤、制御盤等 2. 動力設備
-------------	--	--	-------------	---	---------------	--	---------------------	---	---------------------	---	---------------	--	-----------------	--	---------	---	------------------	---	---------------	---	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--



TW  
1  
受水槽（機械設備工事）  
ポンプ室付



普通教室棟

プール

プール付属棟

特別教室管理棟

改修建物

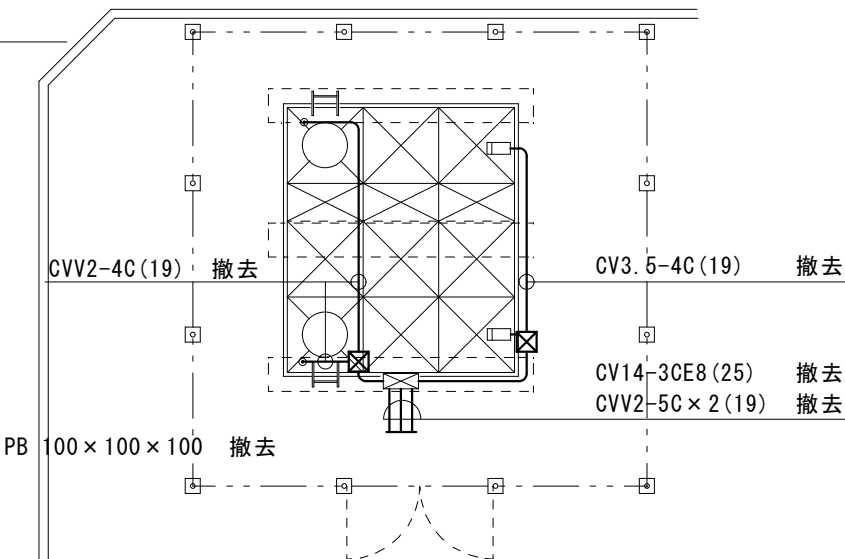
屋内運動場

運動場

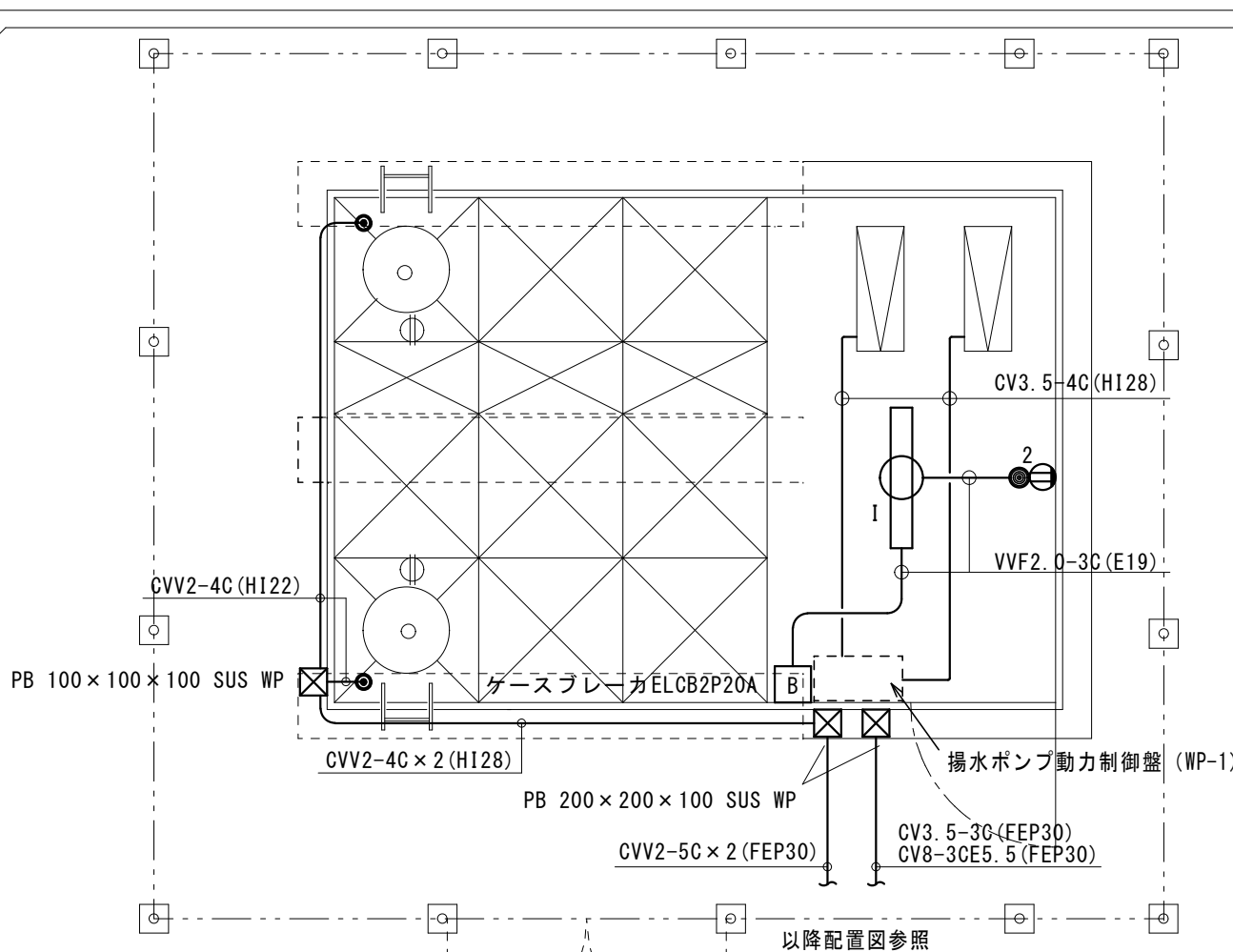
放課後児童クラブ  
(既存建物)

自転車置場

配置図 1/400

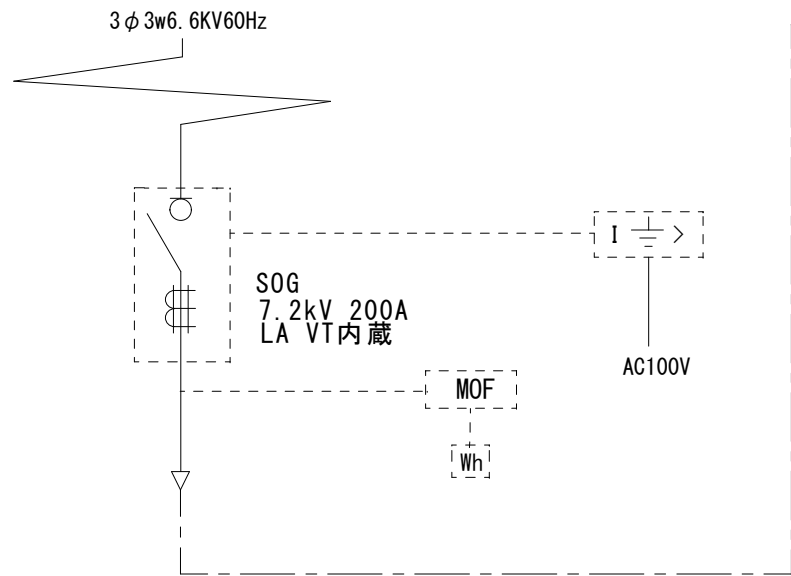


既設受水槽 撤去図 1/100

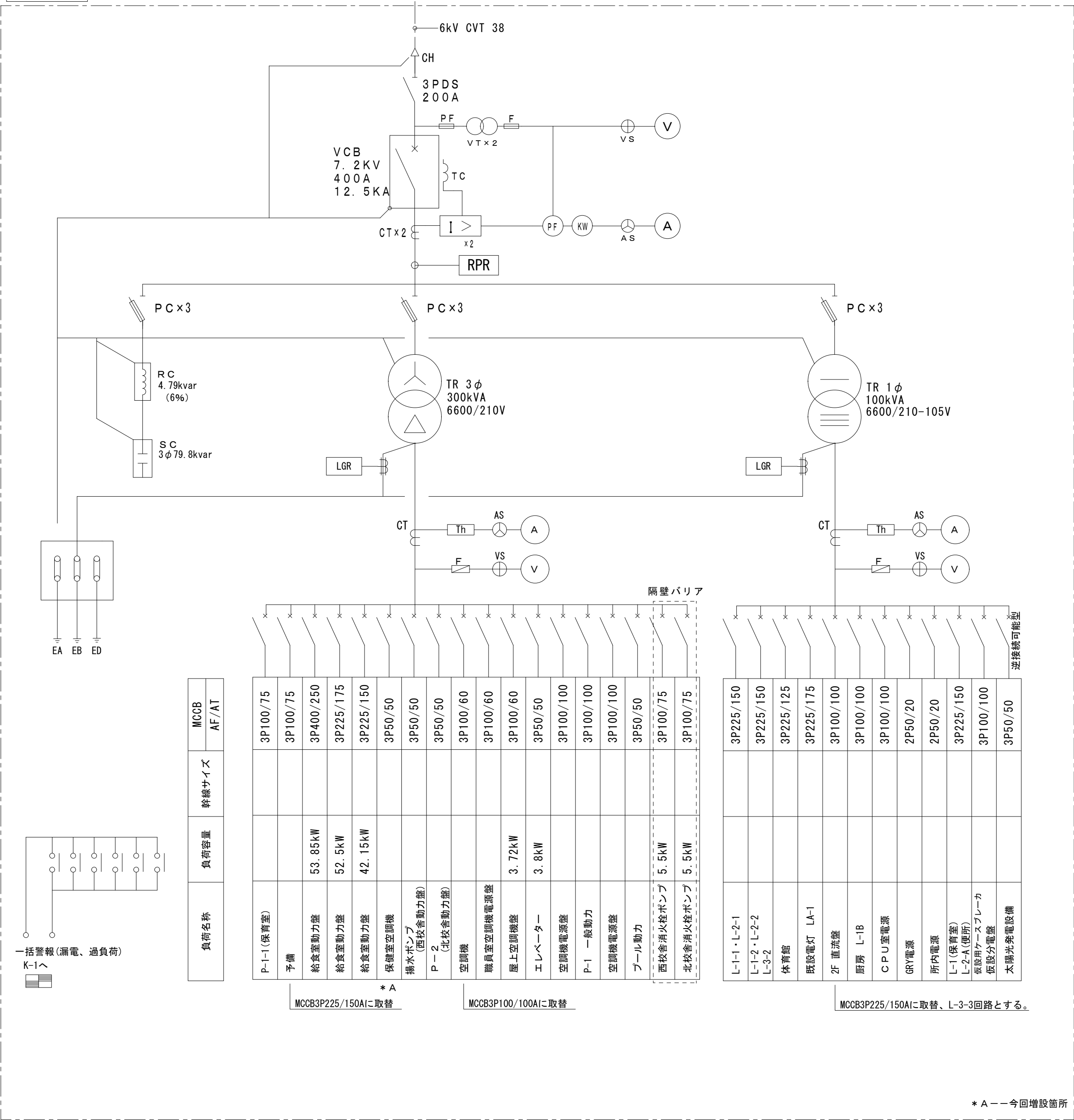


TW  
1  
機械設備工事

平面詳細図 1/50

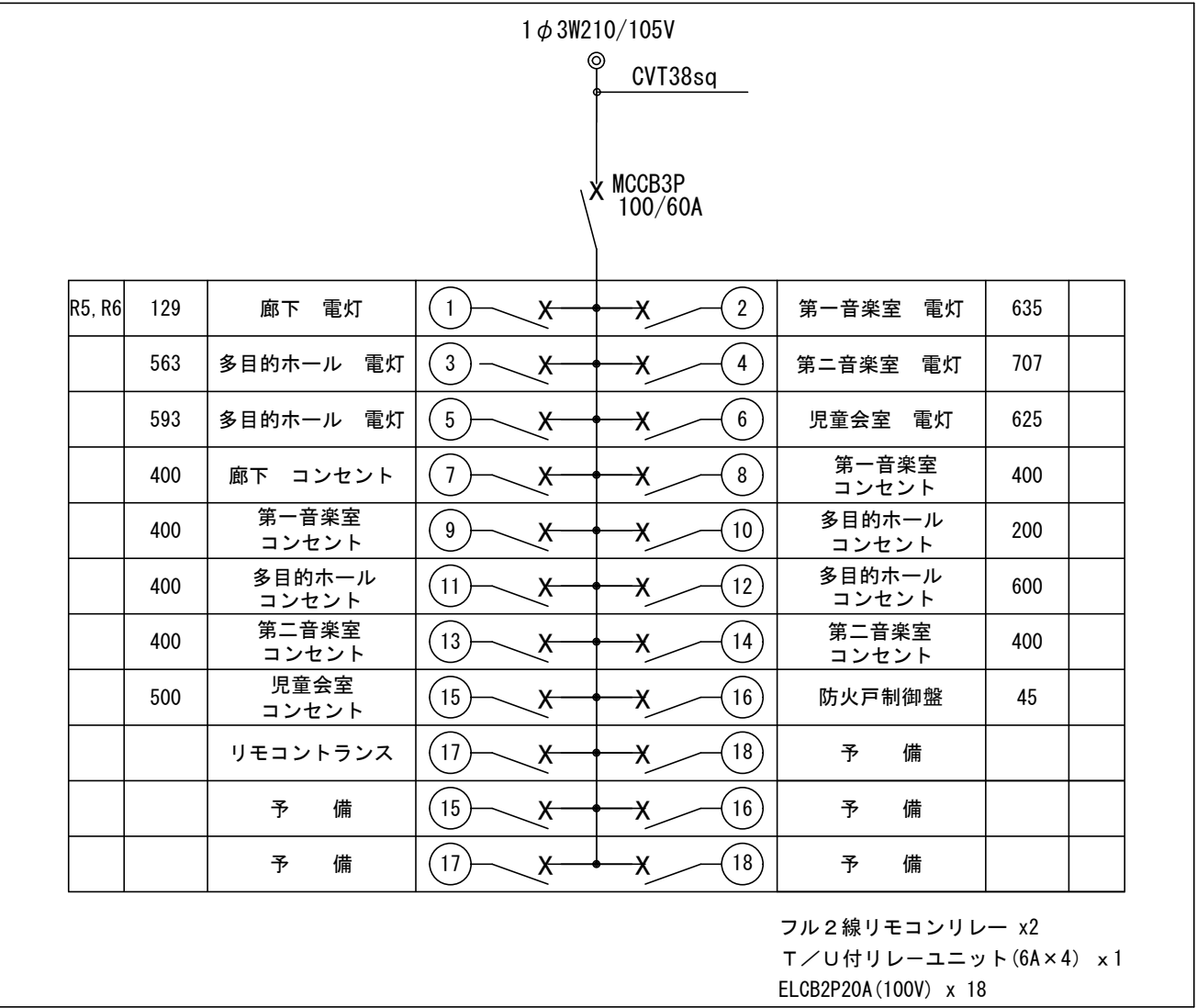


単線結線図

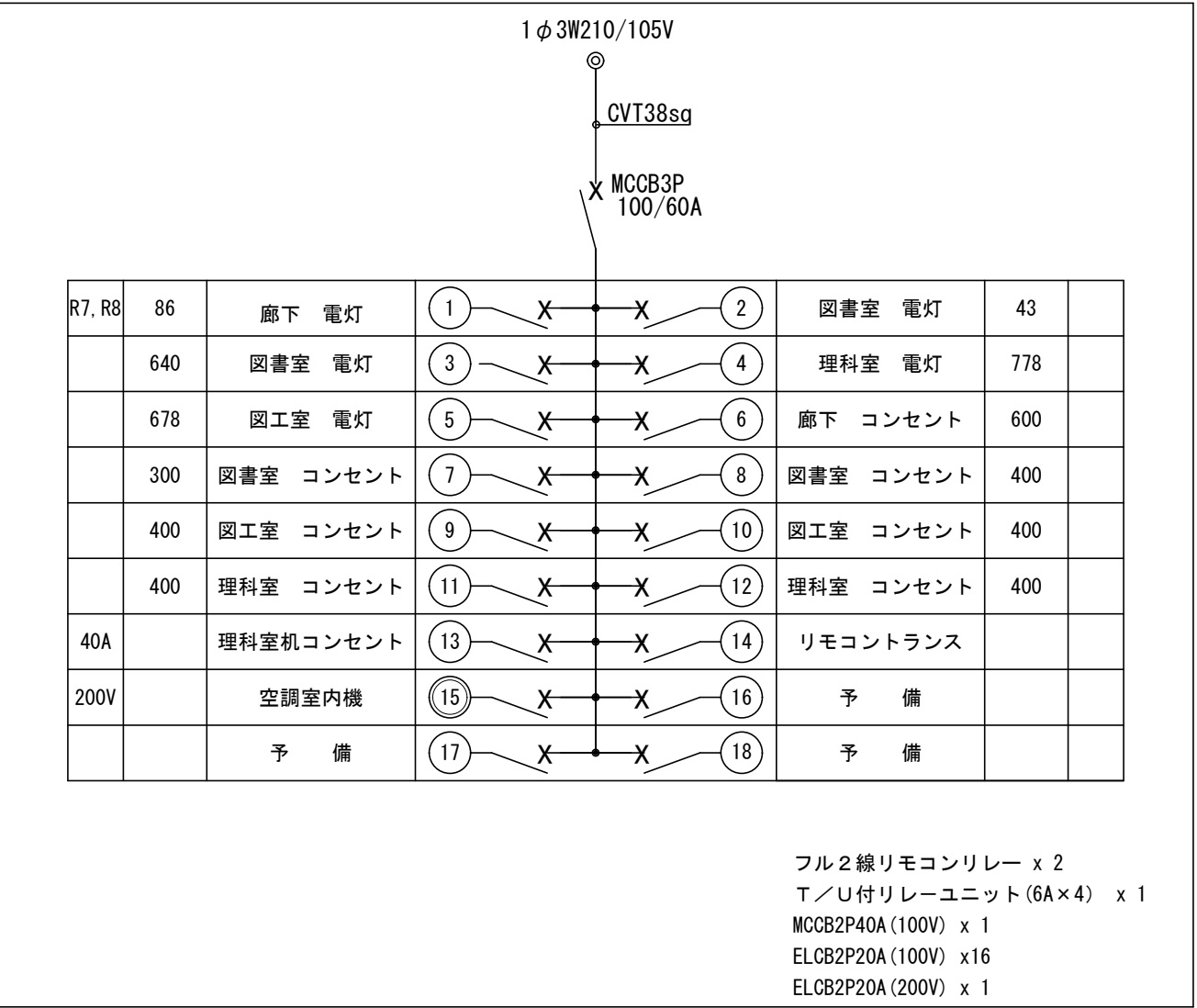




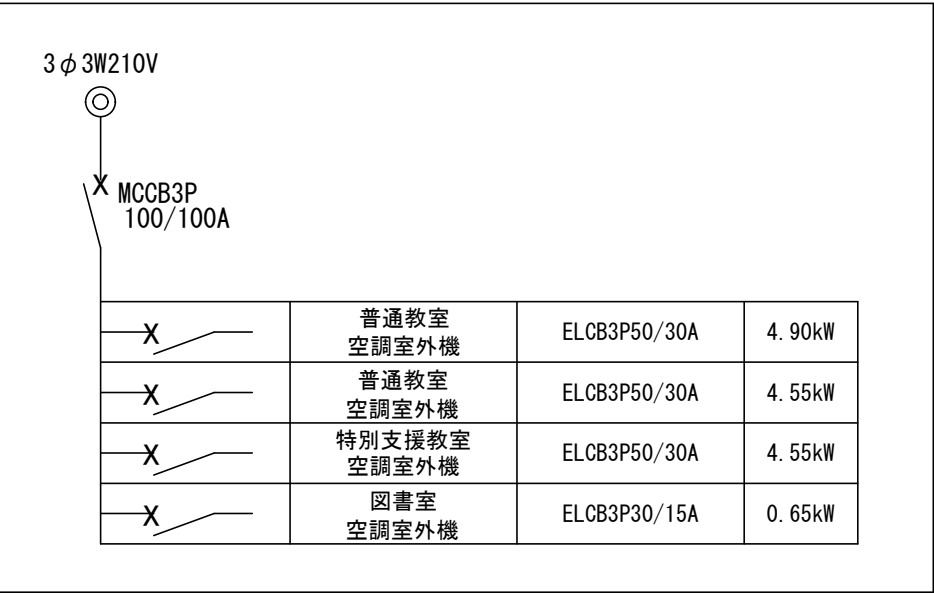
電灯盤 L-2-1(特別教室管理棟) 銅板製・露出型



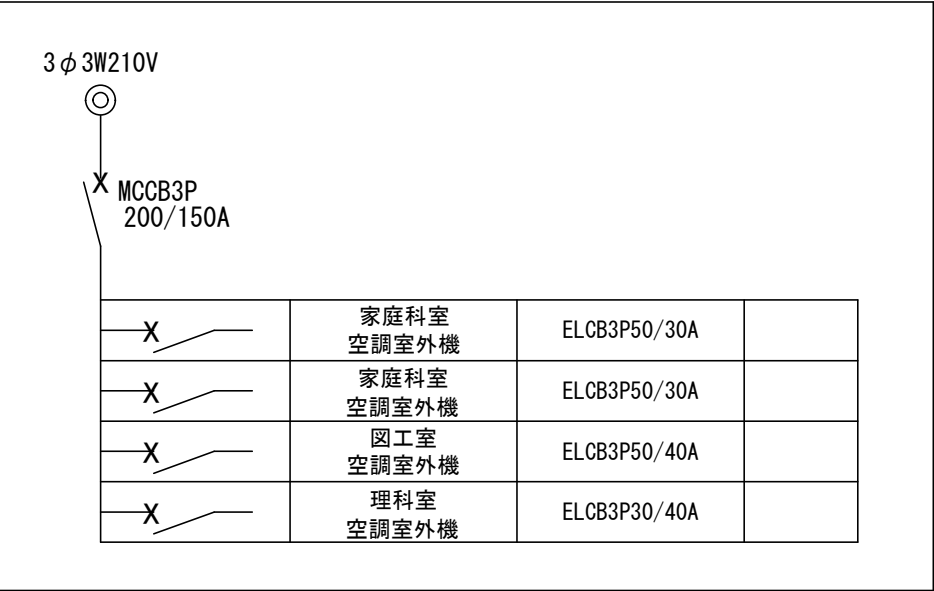
電灯盤 L-2-2(特別教室管理棟) 銅板製・露出型



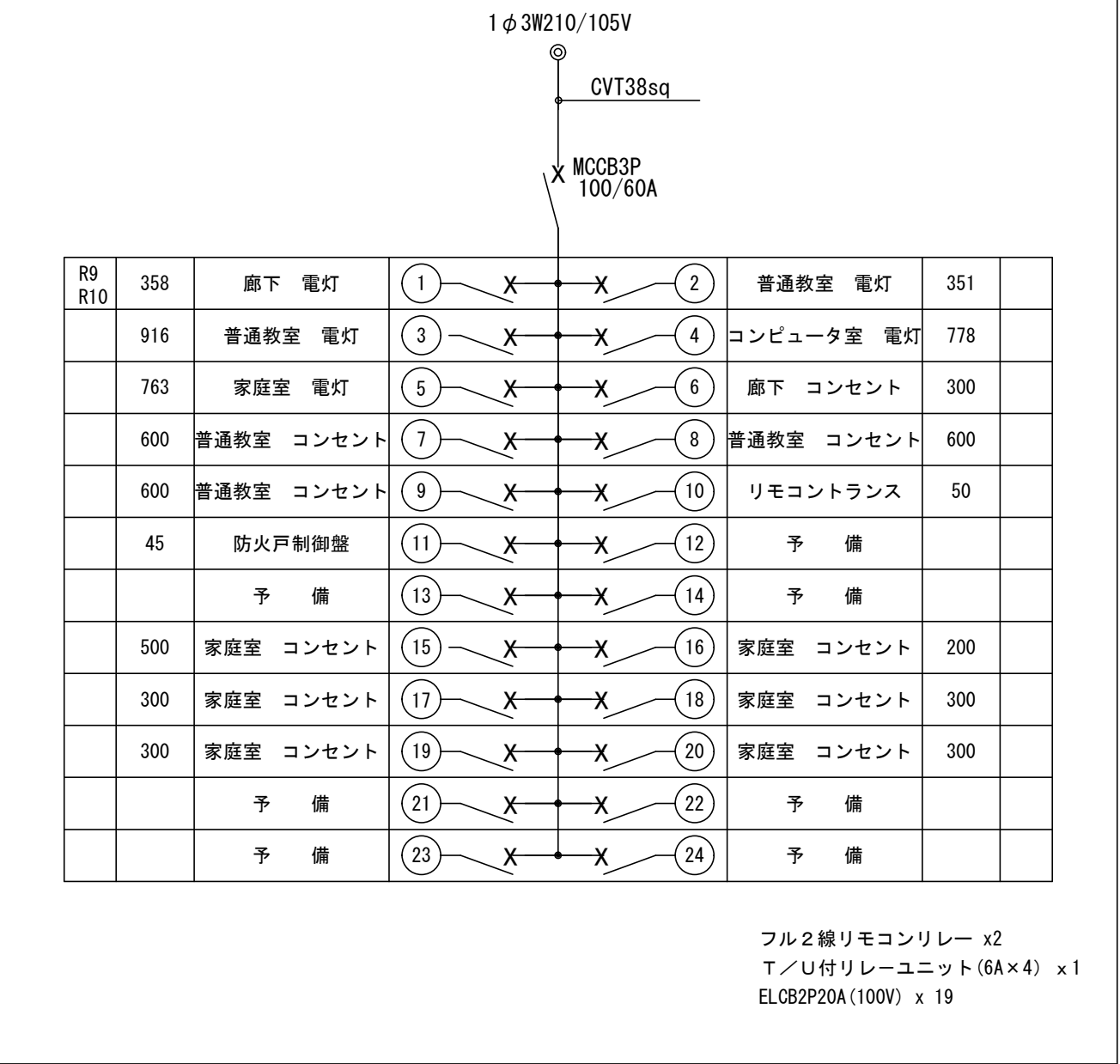
動力盤 R-1(特別教室管理棟) WP SUS製・露出型



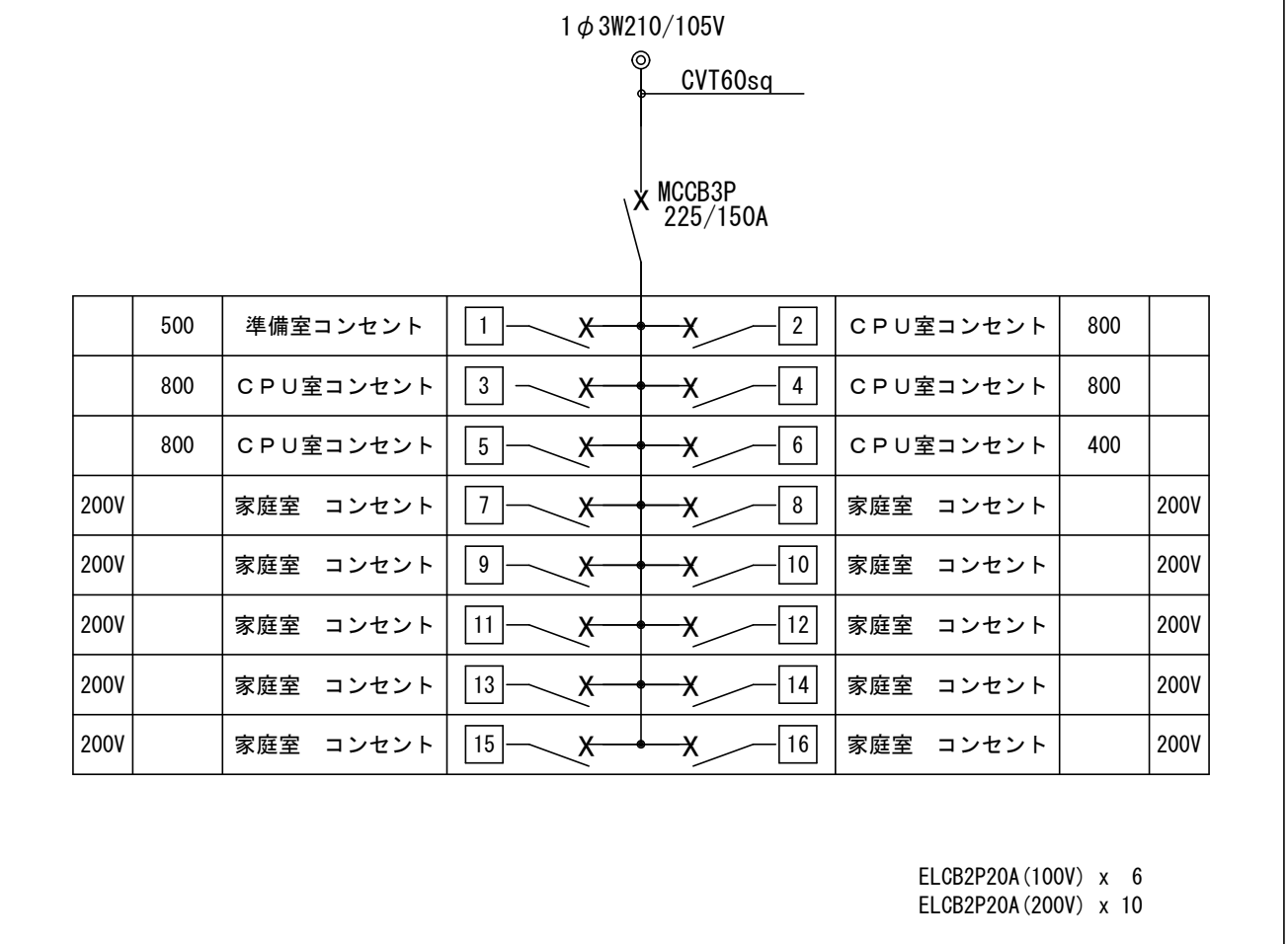
動力盤 R-2(特別教室管理棟) WP SUS製・露出型



電灯盤 L-3-2(特別教室棟) 銅板製・露出型



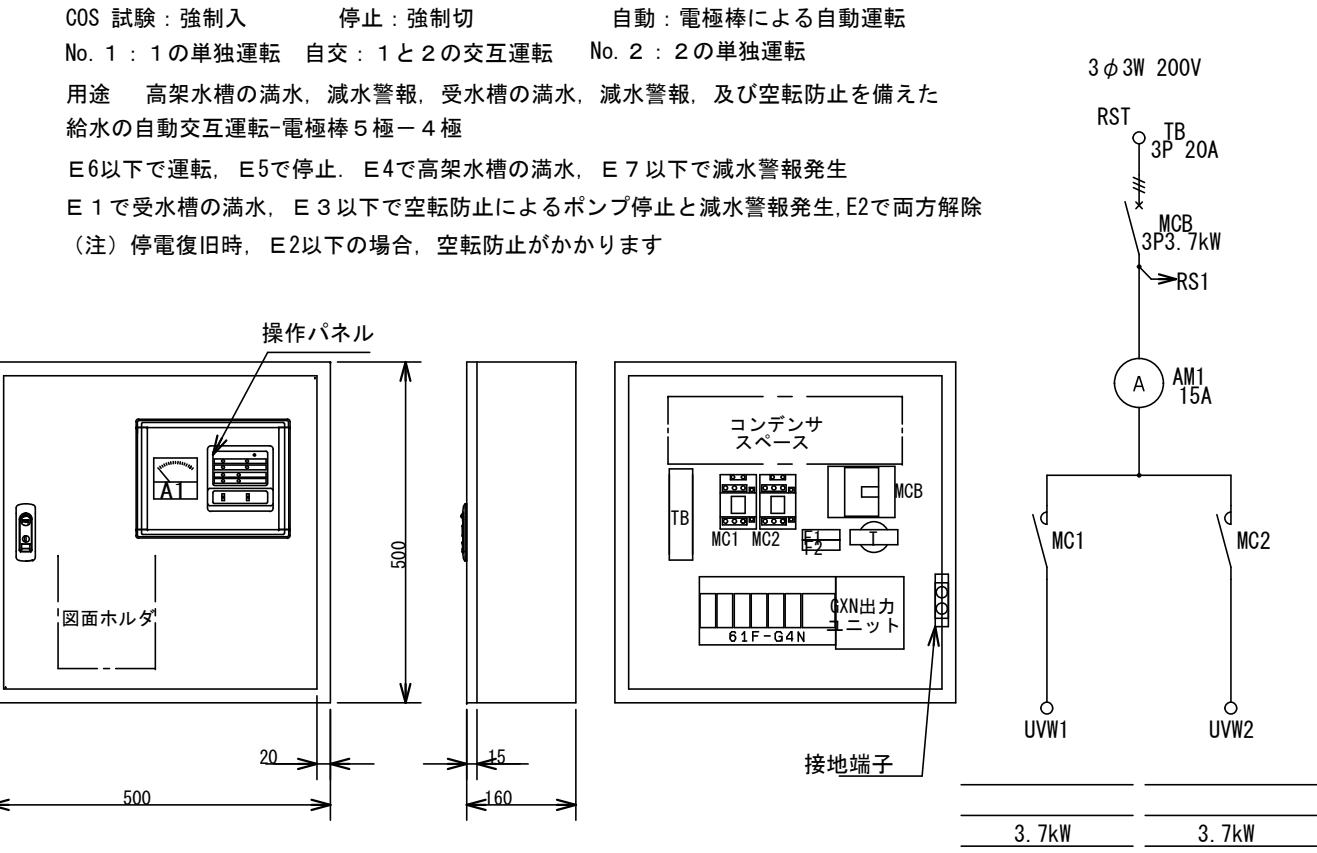
電灯盤 L-3-3(特別教室棟) 銅板製・露出型



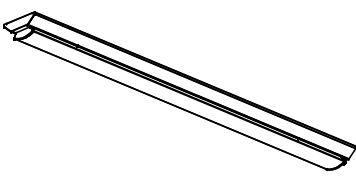
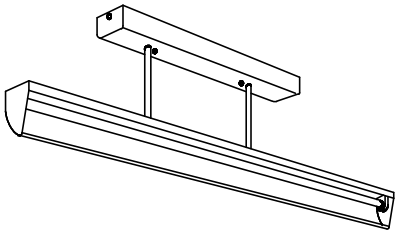
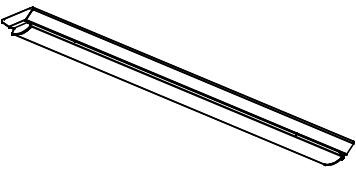
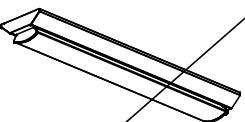

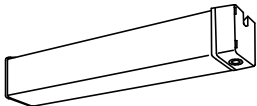
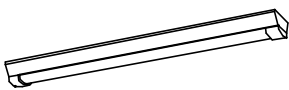
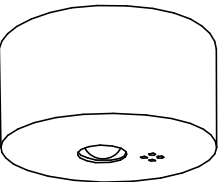
端子盤リスト

	拡声	時計	インターホン	テレビ共聴	備 考
T-2A	40P	5P	20P	1分岐器、6分配器	銅板製・露出型
T-3A	20P	5P	10P	6分配器	銅板製・露出型

WP-1 (ポンプ制御盤)  
参考型番：G4-A-37M



照明器具姿図

					
LSS9-6800LM		照射角度切替可能形 参考型番 LET-41094-LS9		LSS9-2350LM	
A32	LEDベースライト	B31	LED 黒板灯	C31	LEDベースライト
					
LSS9-T550LM-2		参考型番 NNFS21852JLE9		参考型番 NNFS21850JLE9	
E21	LEDベースライト	G10	LEDウォールライト Hf16形×1灯器具相当	H10	LEDウォールライト Hf16形×1灯器具相当
					
LSS9MP/RP-3000LM		K1-LSS11-1			
I	LEDベースライト 防雨型	イ	LED非常灯 電池内蔵型		

弱電機器姿図

SP-1

天井埋込型スピーカ

SC6-Hi-1V0-M

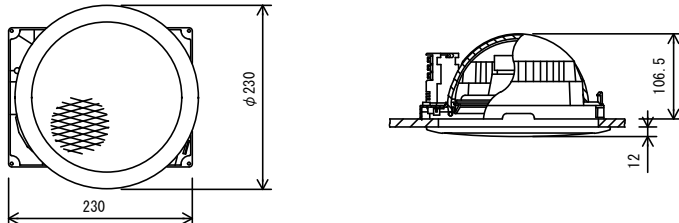
SP-1A

天井埋込型スピーカ ATT付

SC6-Hi-1V3-M

L級

消防認定品



定格入力	3 W (3.3 kΩ) , 2 W (5 kΩ) ,
出力音圧レベル	92 d B (1 W, 1 m)
周波数特性	1 0 0 H z ~ 1 2 k H z
スピーカ-	1 6 c mコーン型
仕上	枠: アルミ オフホワイト
ネット:	アルミ オフホワイト
その他	スピーカ-カバー-体型

SP-2

壁掛型スピーカ

SWiHi-1V0

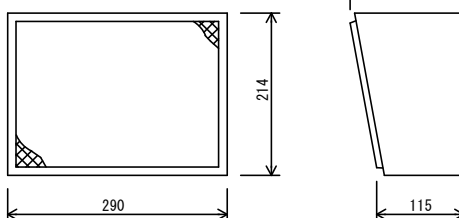
SP-2A

壁掛型スピーカ ATT付

SWiHi-1V3

L級

消防認定品



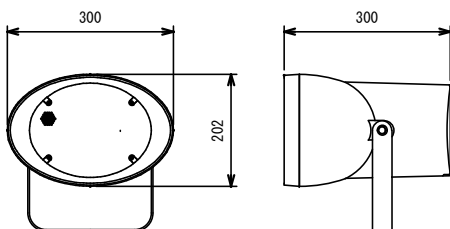
定格入力	3 W (3.3 kΩ) , 2 W (5 kΩ) ,
	1 W (10 kΩ)
出力音圧レベル	92 d B (1 W, 1 m)
周波数特性	1 5 0 H z ~ 1 3 k H z
スピーカ-	1 6 c mコーン型
仕上	本体: 木製 ライトグレー
ネット:	ジャージ ライトグレー

SP-3

ホーンスピーカ

L級

消防認定品



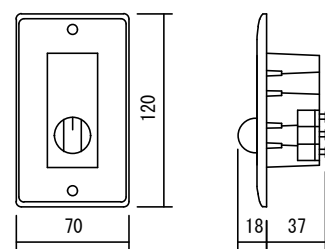
定格入力	15W
出力音圧レベル	99dB (1m/1W)
周波数特性	150 Hz~15 kHz
入力インピーダンス	670Ω、1kΩ、2kΩ

※取付金具付

ノ

アッテネータ

V-1S

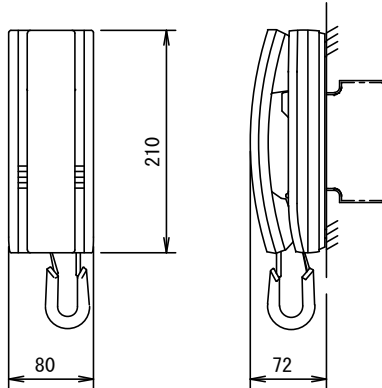


入 力 容 量	0.5 ~ 6 W
音 量 切 換	5 段階切換
仕 上	プレート: アルミ

t

壁掛形子機

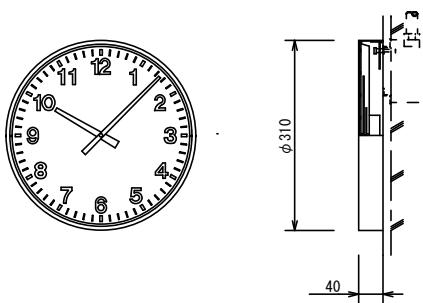
参考型番 TB-SE



T-1

φ310壁掛型子時計

SWR30 GP B1



形 状

壁掛形 (JIS1個用スイッチボックス)

材 質

樹脂

ケース

銅板製 クリーム色

文字板

アルミニウム 白色

文 字

黒色印刷

指 針

アルミニウム 黒色

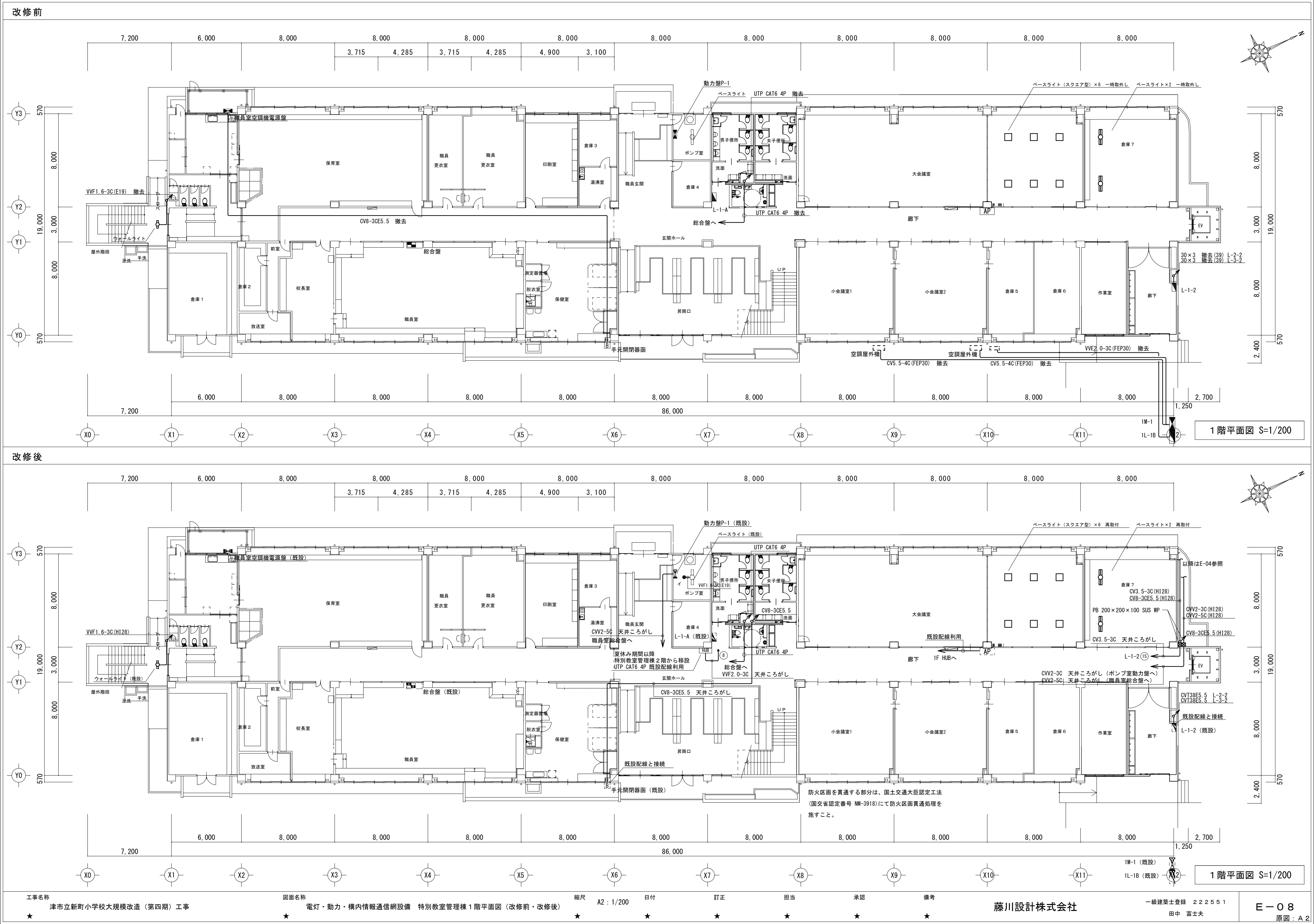
ガラス

透明 2t

機 体

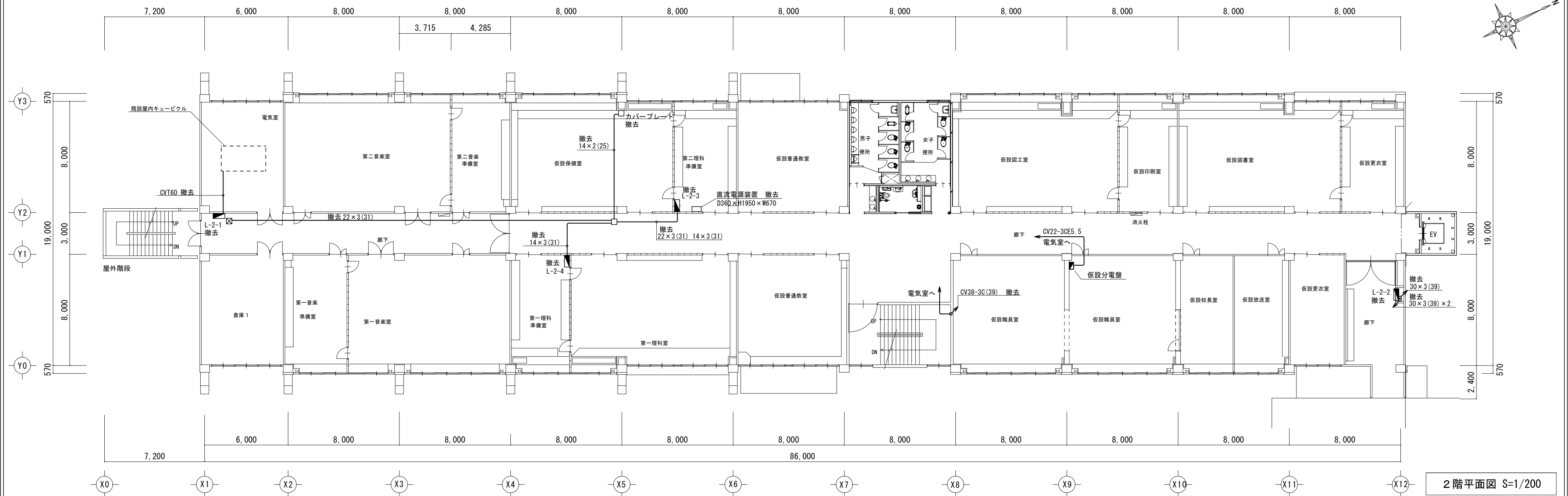
DC24V 有極30秒運針

参考

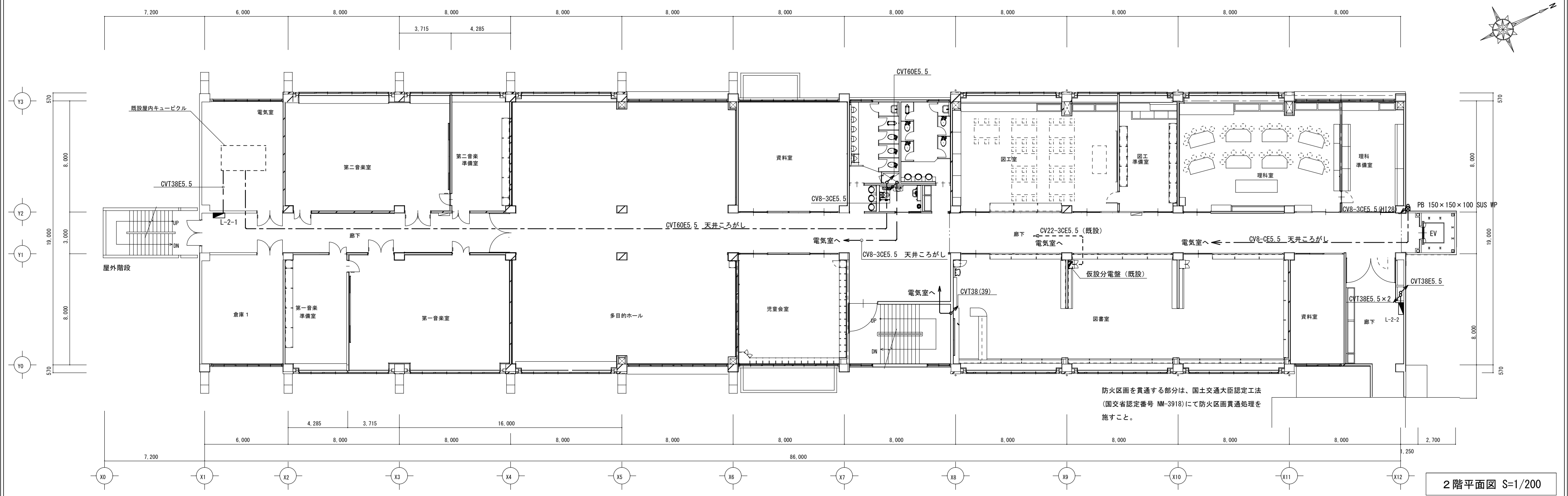




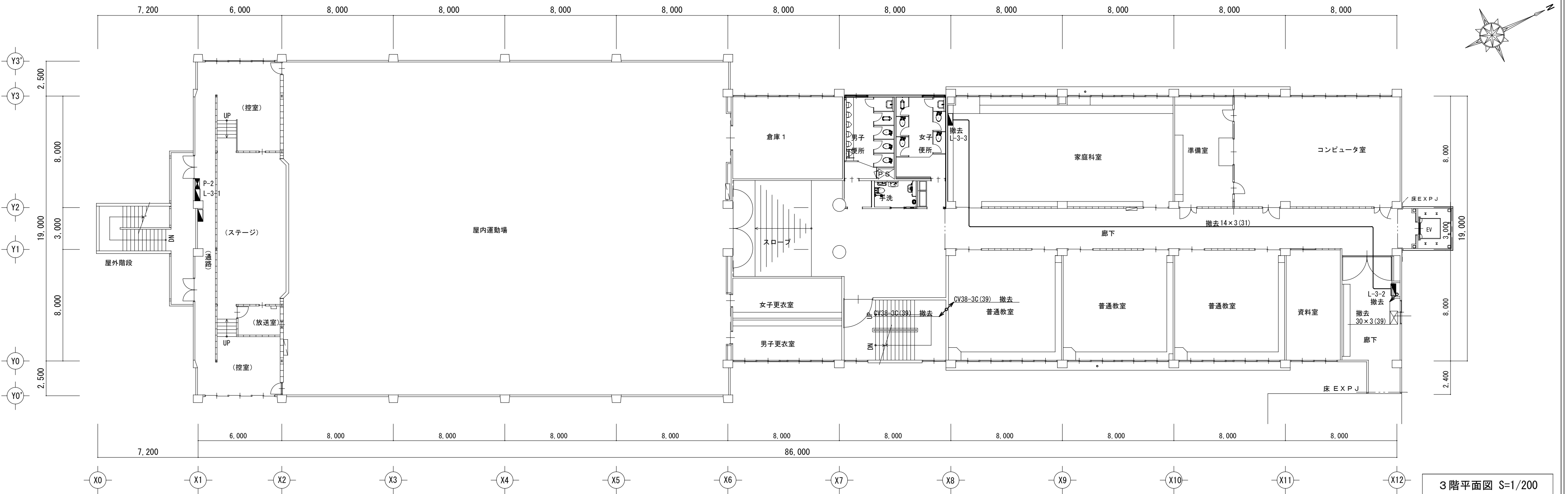
改修前



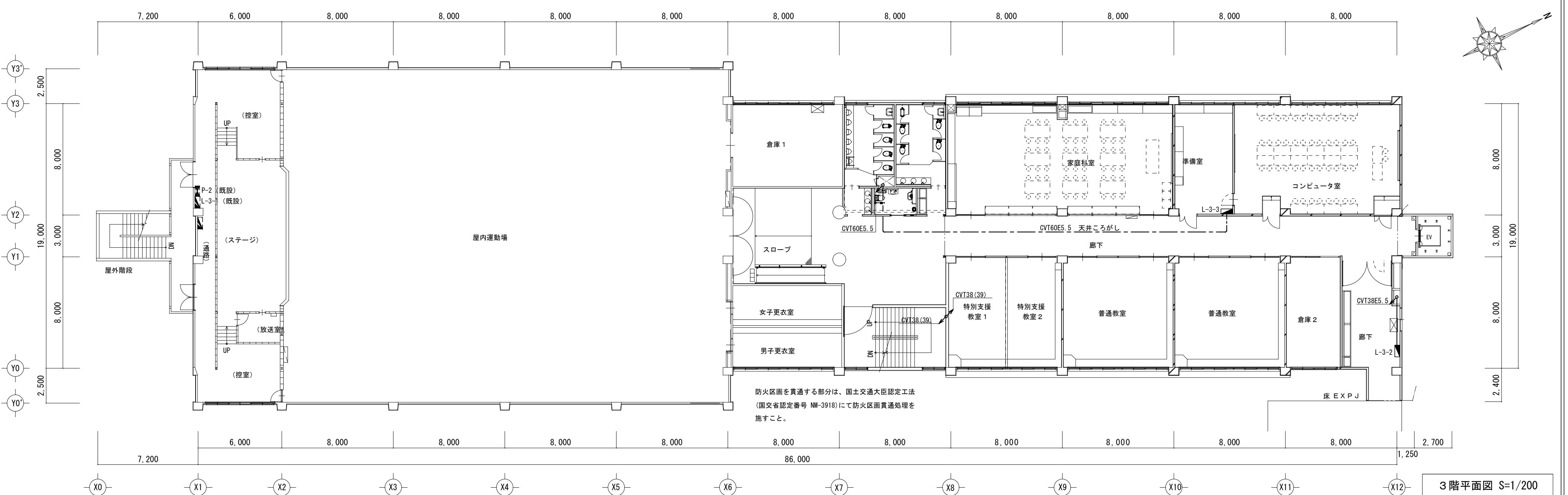
改修後



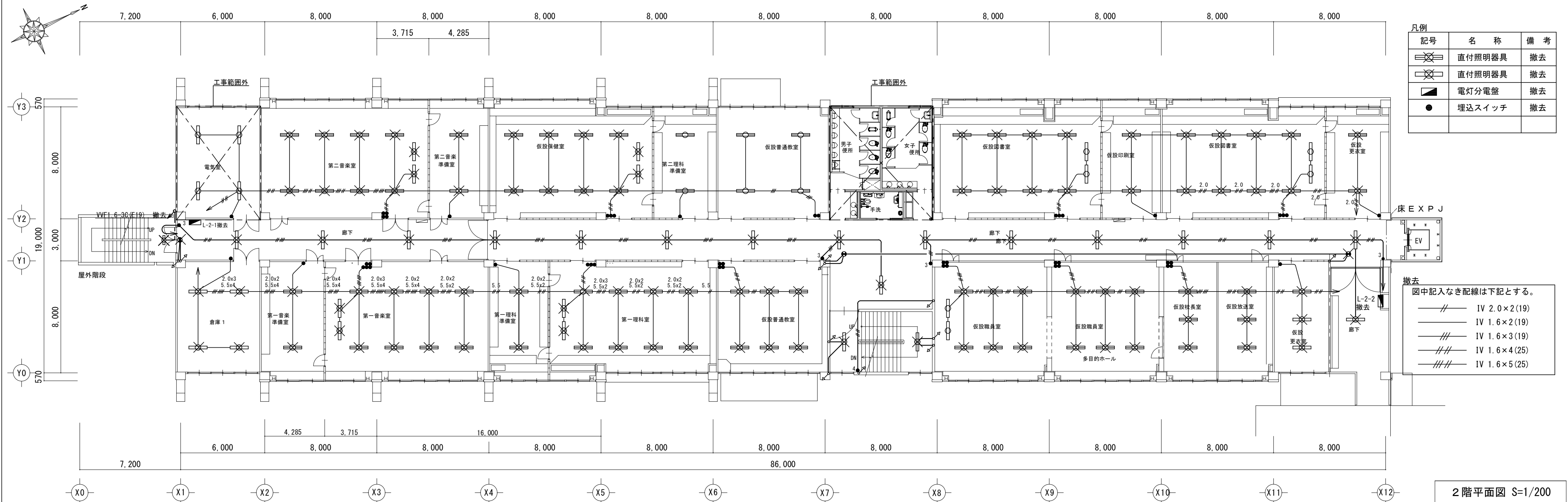
改修前



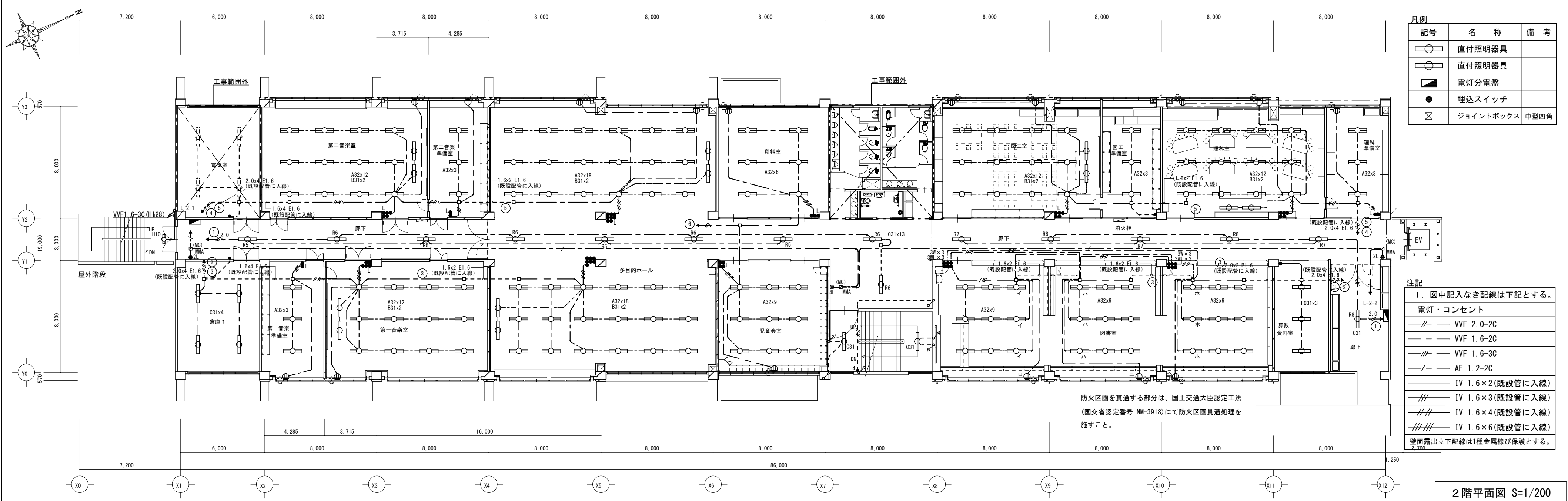
改修後

[illegible]

改修前



改修後



工事名称  
★ 津市立新町小学校大規模改造（第四期）工事

図面名称  
★ 電灯設備 特別教室管理棟2階平面図（改修前・改修後）

縮尺  
★ A2 : 1/200

日付  
★

訂正  
★

担当  
★

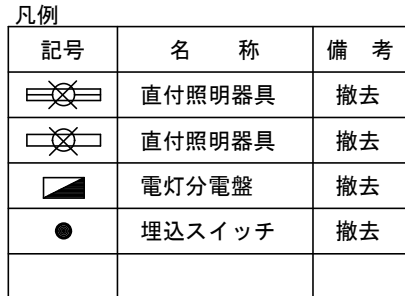
承認  
★

備考  
★

藤川設計株式会社






一級建築士登録 222551  
田中 富士夫

E-11  
原図: A2

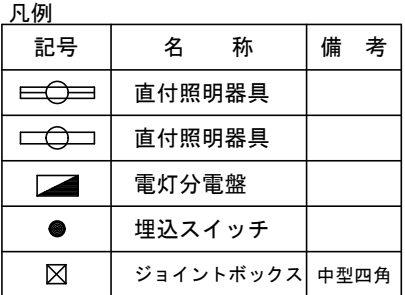


**撤去**

図中記入なき配線は下記とする。

	IV 2.0 × 2 (19)
	IV 1.6 × 2 (19)
	IV 1.6 × 3 (19)
	IV 1.6 × 4 (25)
	IV 1.6 × 5 (25)

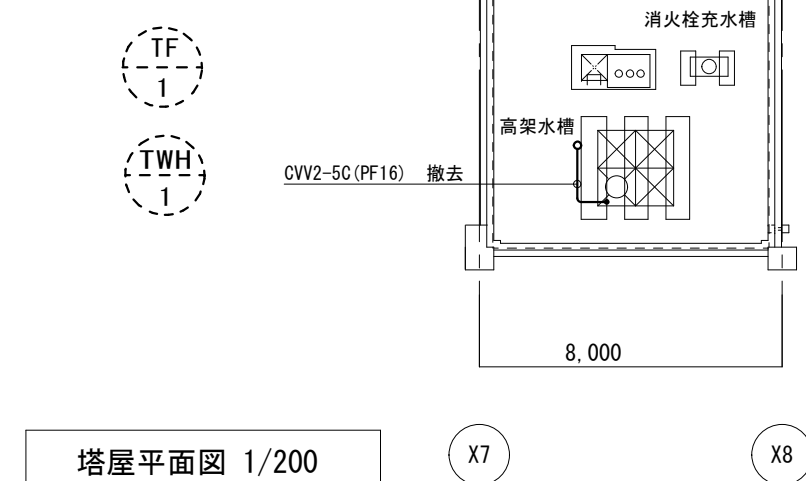
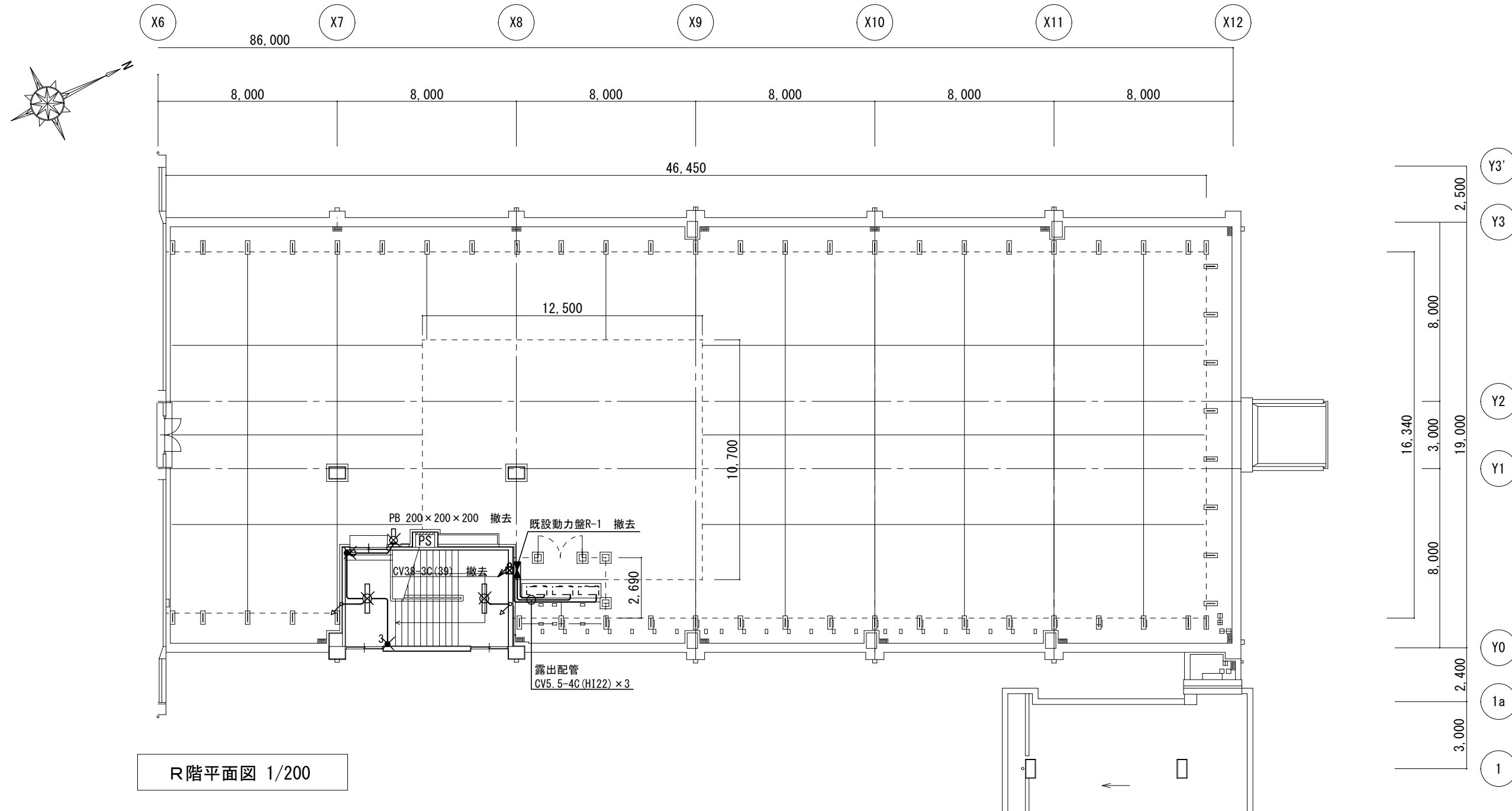
3 階平面図 S=1/200



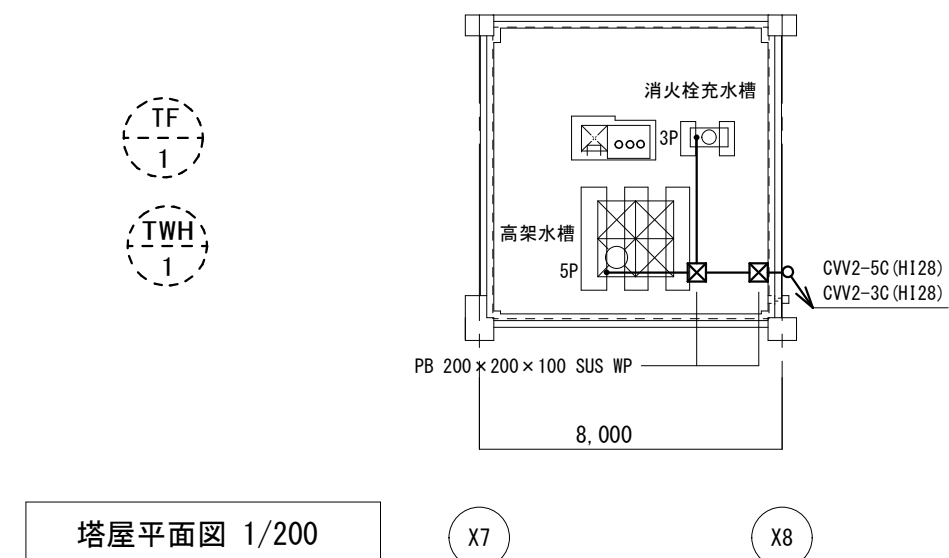
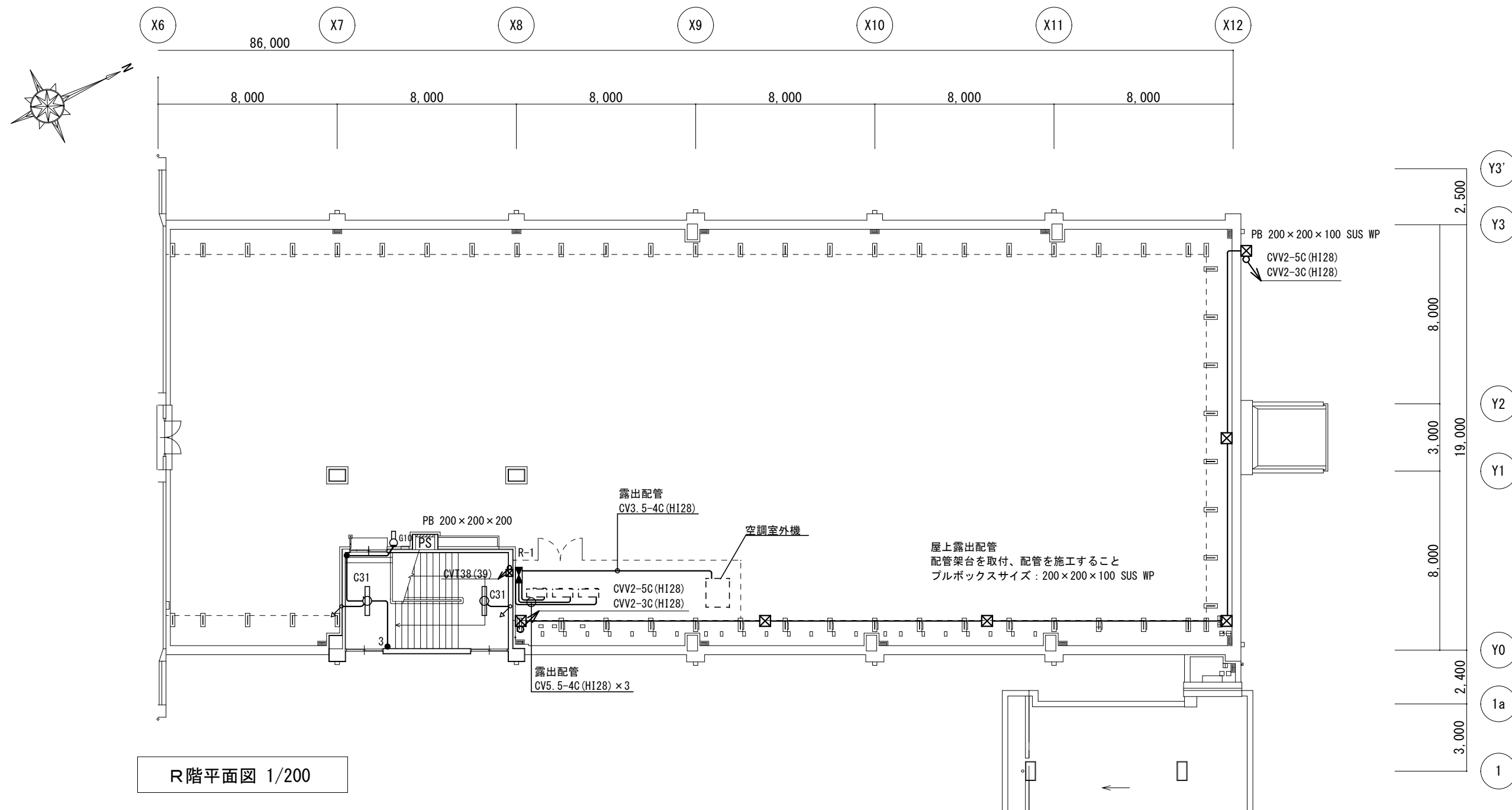
注記	<p>1. 図中記入なき配線は下記とする。</p> <p>電灯・コンセント</p> <p>—//— VVF 2.0-2C</p> <p>— — VVF 1.6-2C</p> <p>—//— VVF 1.6-3C</p> <p>—/— AE 1.2-2C</p> <p>— — IV 1.6×2 (既設管に入線)</p> <p>/// — IV 1.6×3 (既設管に入線)</p> <p>/// — IV 1.6×4 (既設管に入線)</p> <p>/// — IV 1.6×6 (既設管に入線)</p> <p>壁面露出立下配線は1種金属線び保護とする。</p>
----	---

3 階平面図 S=1/200

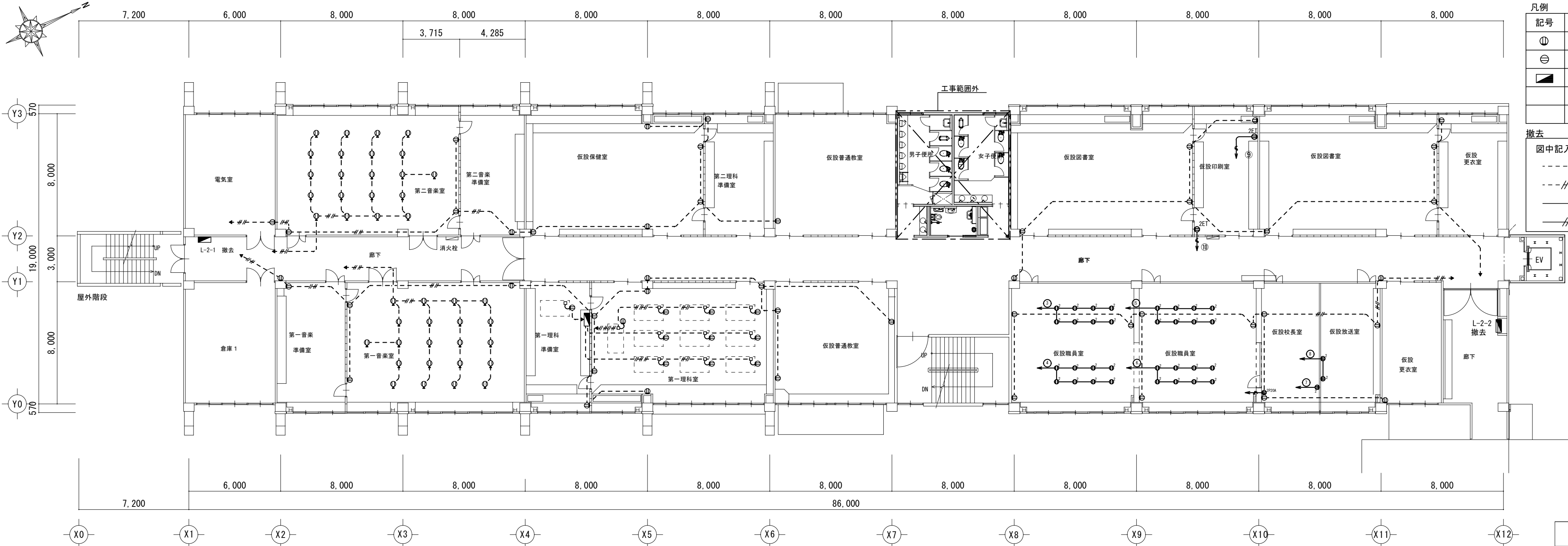
改修前



改修後



改修前

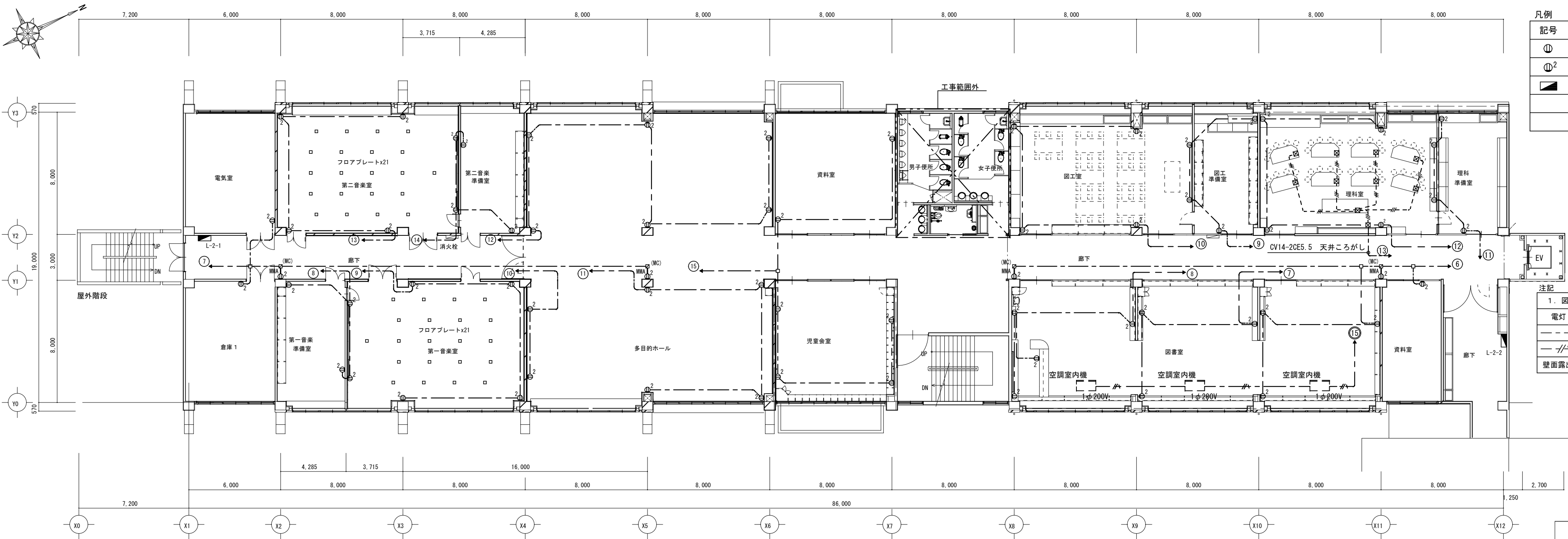


凡例		
記号	名 称	備 考
ⓐ	埋込コンセント	撤去
ⓑ	露出コンセント	撤去
■	電灯分電盤	撤去

撤去  
図中記入なき配線は下記とする。  
----- IV 2.0×2(19)  
---H/H--- IV 2.0×4(25)  
—— VVF2.0-2C  
—— VVF2.0-3C

2階平面図 S=1/200

改修後



凡例		
記号	名 称	備 考
ⓐ	埋込コンセント	2P15A×1
ⓑ <sup>2</sup>	埋込コンセント	2P15A×2
■	電灯分電盤	

注記  
1. 図中記入なき配線は下記とする。  
電灯・コンセント  
----- VVF 2.0-2C  
——H/H—— VVF 2.0-3C  
壁面露出立下配線は1種金属線び保護とする。

2階平面図 S=1/200

工事名称  
★ 津市立新町小学校大規模改造（第四期）工事

図面名称  
★ コンセント設備 特別教室管理棟2階平面図（改修前・改修後）

縮尺  
★ A2：1/200

日付  
★

訂正  
★

担当  
★

承認  
★

備考  
★

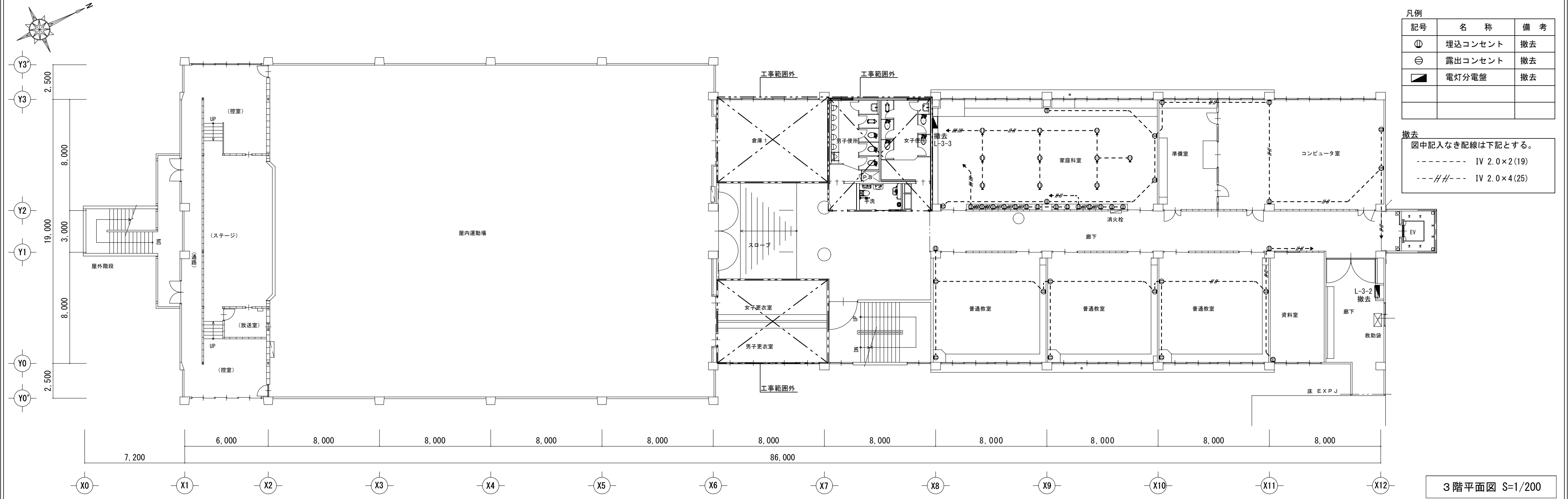
藤川設計株式会社

一級建築士登録 222551  
田中 富士夫

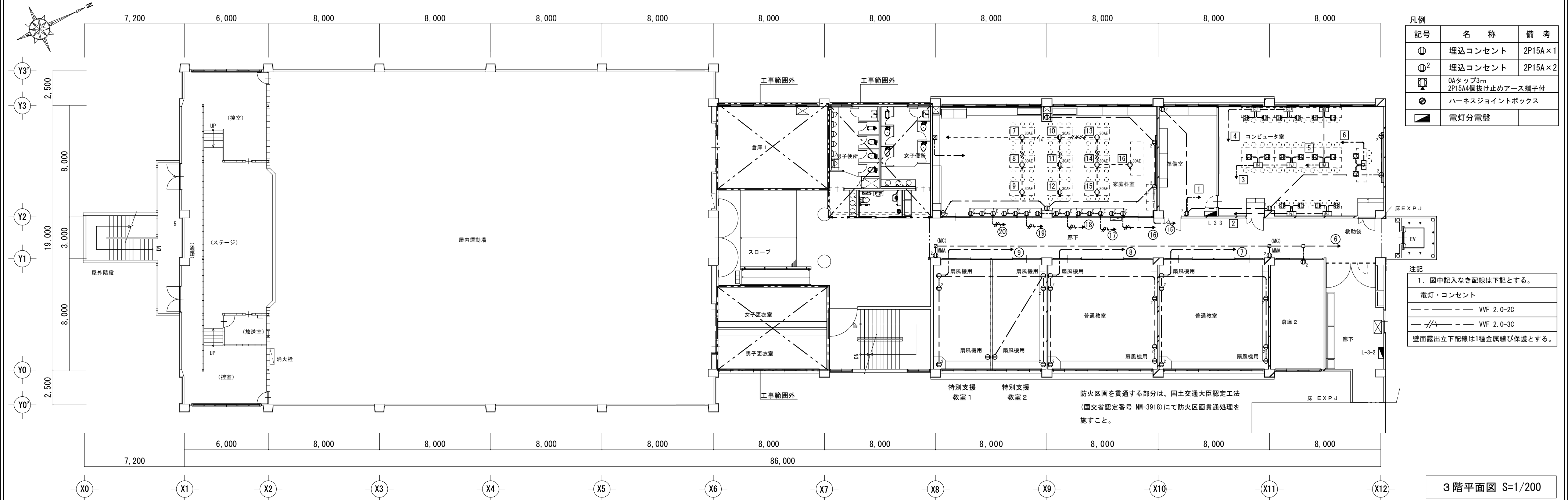
E-14  
原図：A2



改修前



改修後



工事名称  
★ 津市立新町小学校大規模改造（第四期）工事

図面名称  
★ コンセント設備 特別教室管理棟3階平面図（改修前・改修後）

縮尺  
★ A2：1/200

日付  
★

訂正  
★

担当  
★

承認  
★

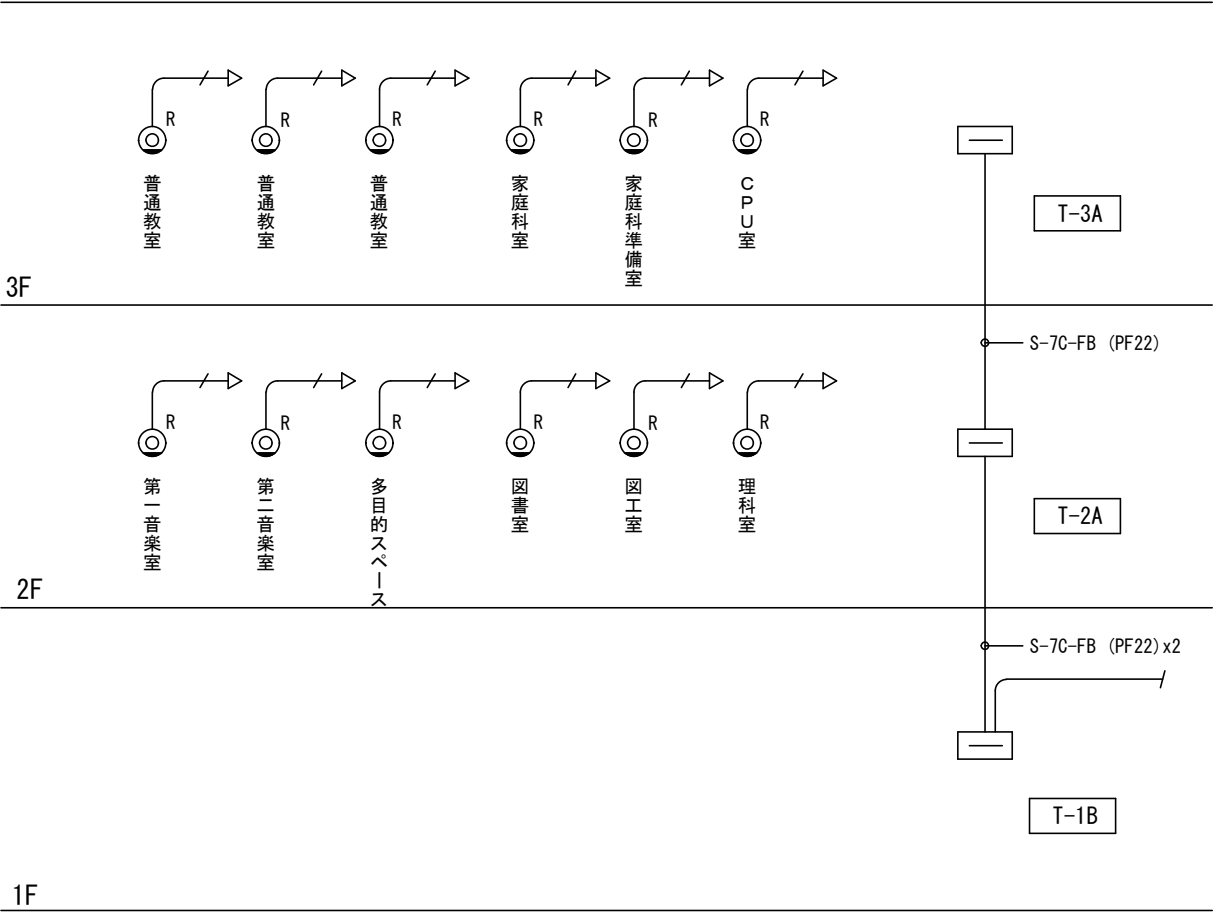
備考  
★

藤川設計株式会社

一級建築士登録 222551  
田中 富士夫

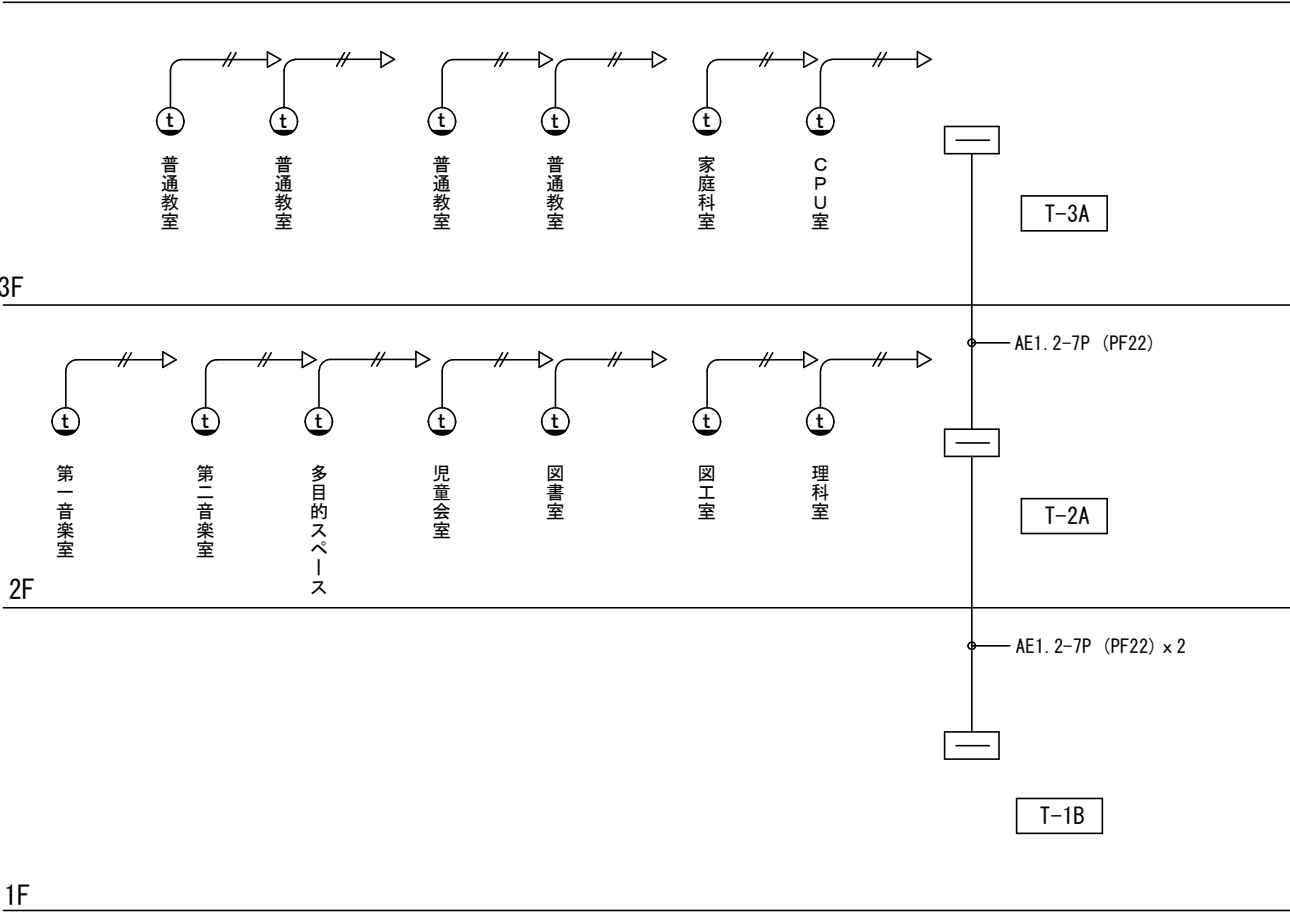
E-15  
原図：A2





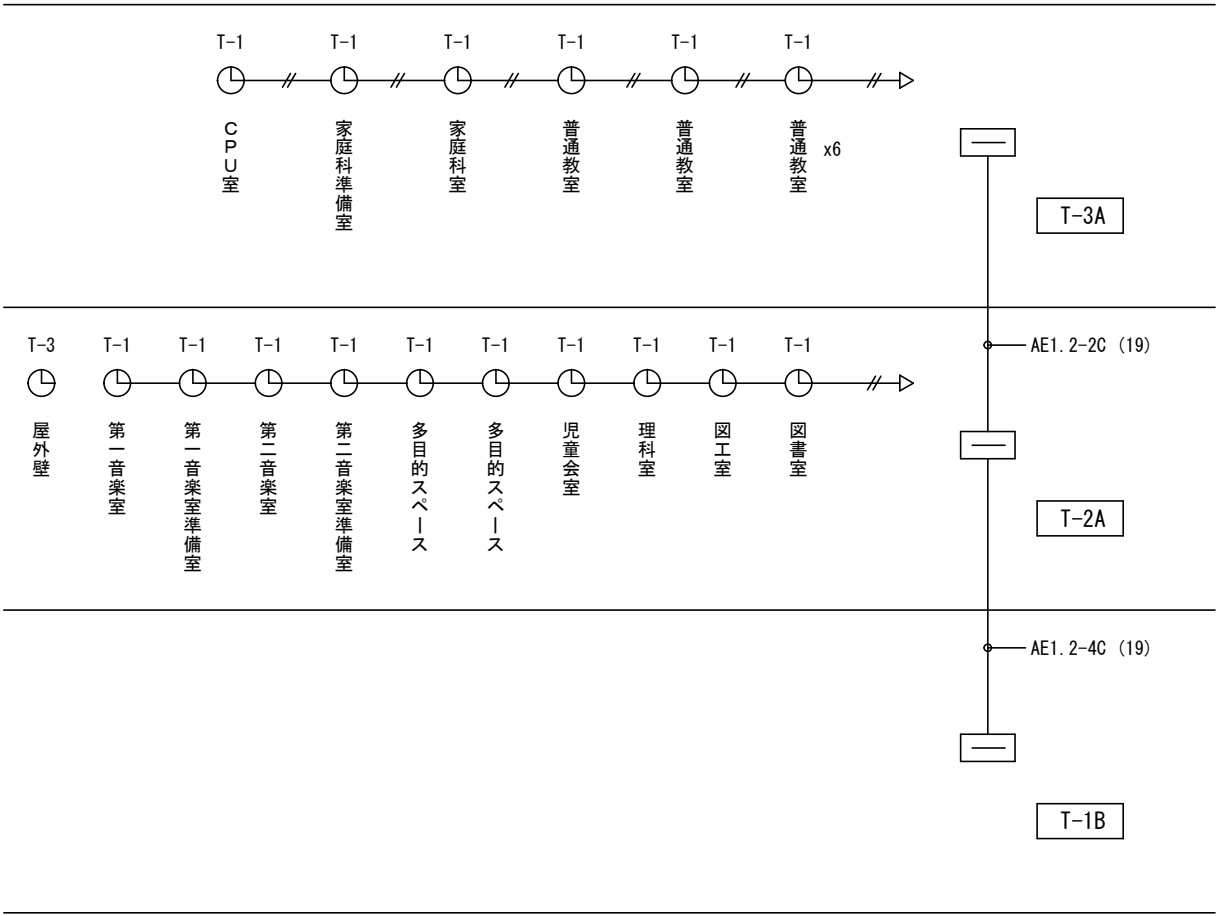
テレビ共聴設備系統図

注記	
1. 図中記入なき配線は下記とする。	保護管
テレビ	
—— / —— S-5C-FB	P F 1 6
二重天井内はケーブルころがし配線とし、コンクリート部及び壁内立下り部はP F 管にて保護とする。	



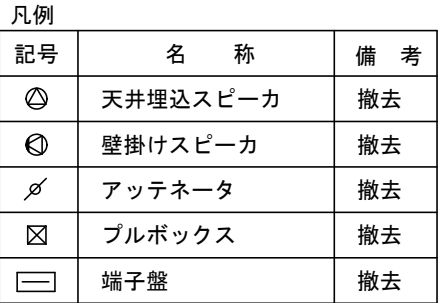
インターホン設備系統図

注記	
1. 図中記入なき配線は下記とする。	保護管
インターホン	
—— # —— AE1. 2-2C	P F 1 6
—— # # —— AE1. 2-4C	P F 1 6
二重天井内はケーブルころがし配線とし、コンクリート部及び壁内立下り部はP F 管にて保護とする。	





電気時計設備系統図

注記	
1. 図中記入なき配線は下記とする。	保護管
時計	
—— # —— AE1. 2-2C	P F 1 6
二重天井内はケーブルころがし配線とし、コンクリート部及び壁内立下り部はP F 管にて保護とする。	

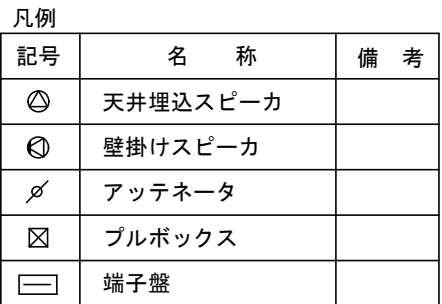


撤去

図中記入なき配線は下記とする。

	HP 1. 2-2C
	HP 1. 2-3C

2階平面図 S=1/200

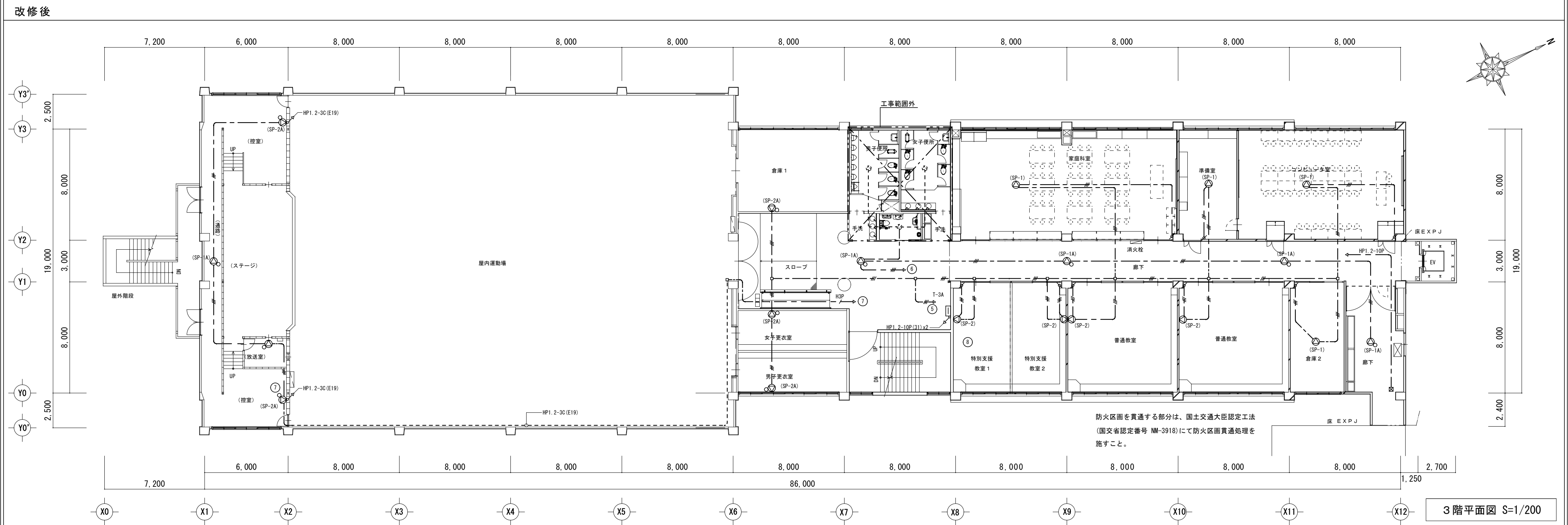
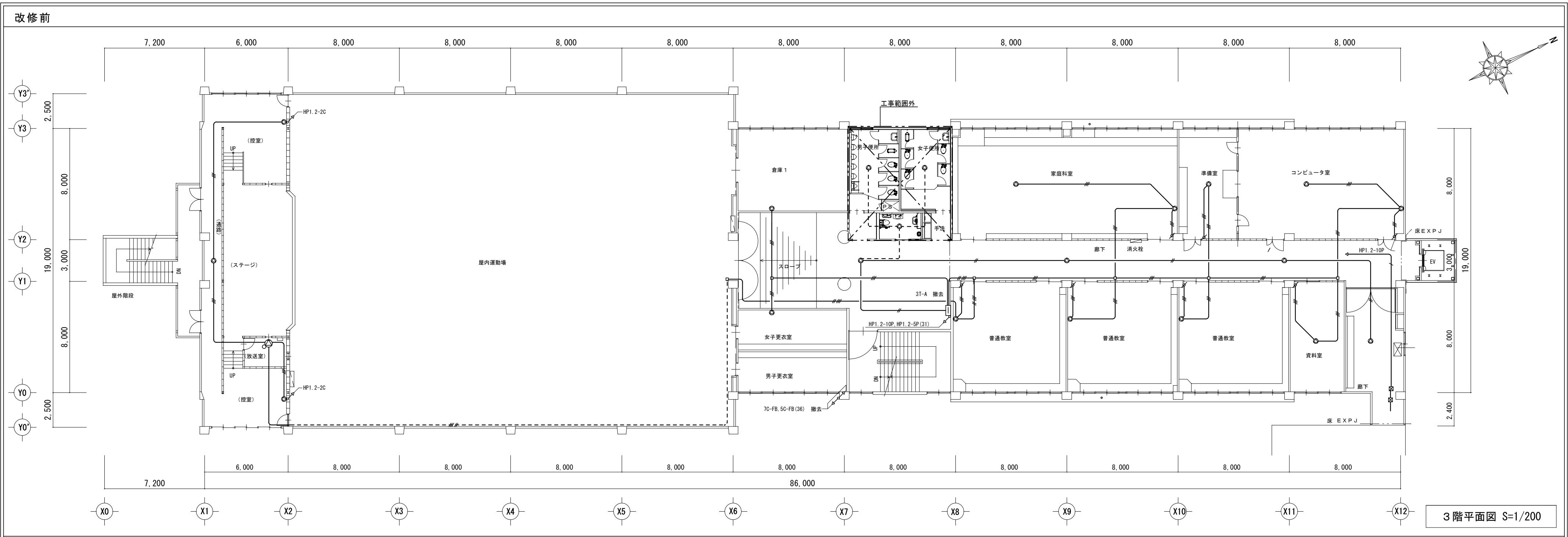


図中記入なき配線は下記とする。

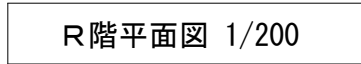
— //	HP 1. 2-2 C
— ///	HP 1. 2-3 C

壁面露出立下配線は1種金属線び保護とする。

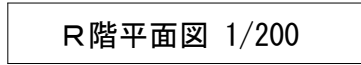
2階平面図 S=1/200



## X0

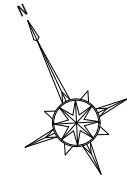


X0

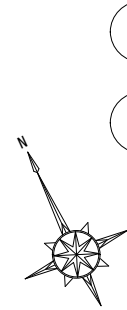




改修前

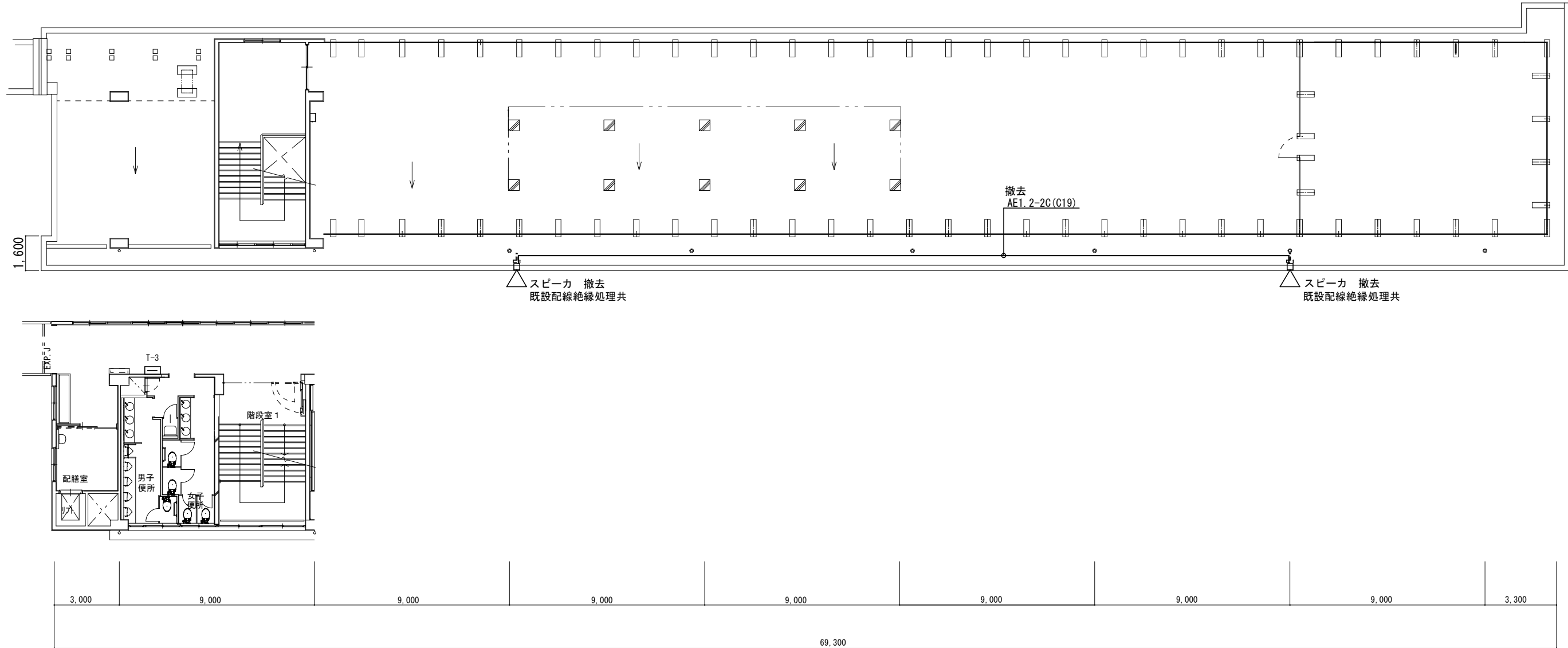


R階平面図 1/200



C  
B  
A

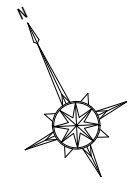
2,400  
7,000  
2,300



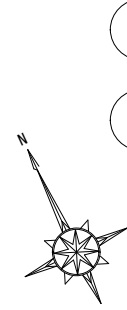
3階平面図 1/200

1a 1 2 3 4 5 6 7 8 8a

改修後

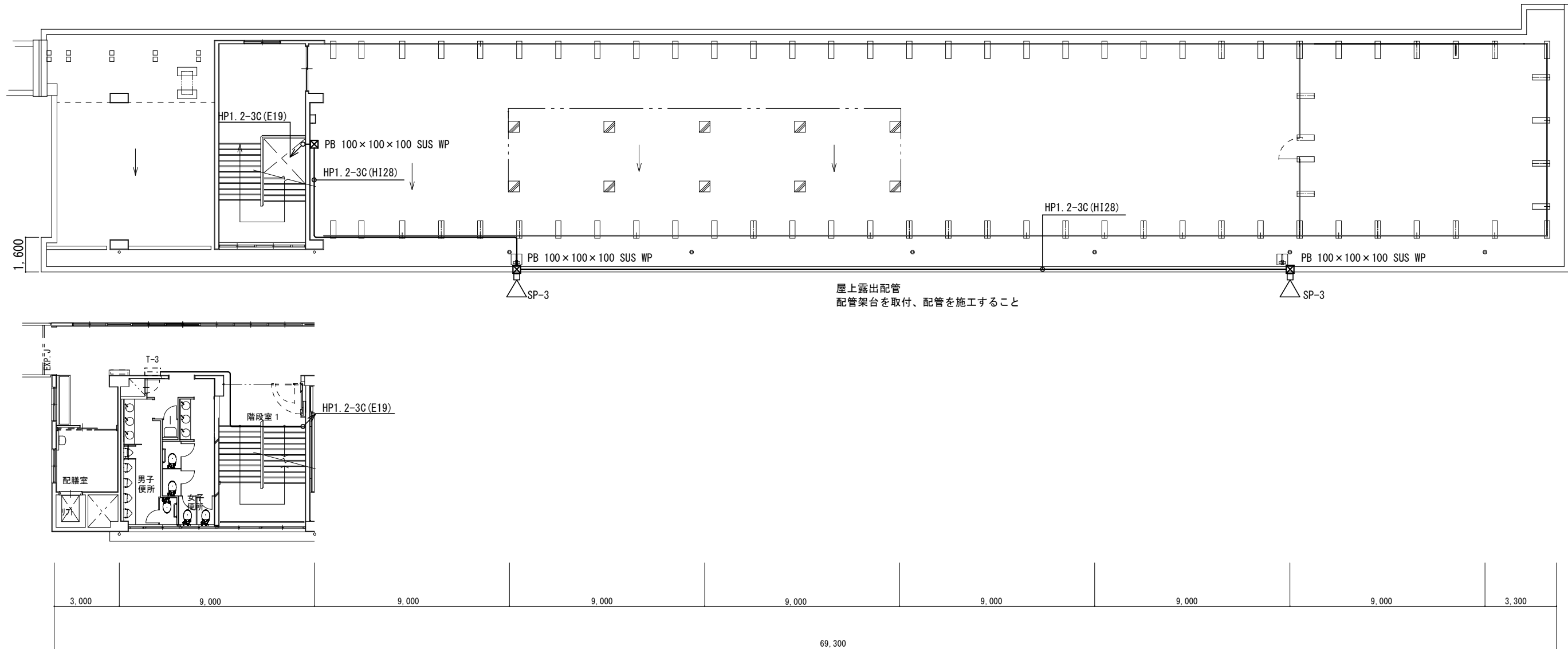


R階平面図 1/200



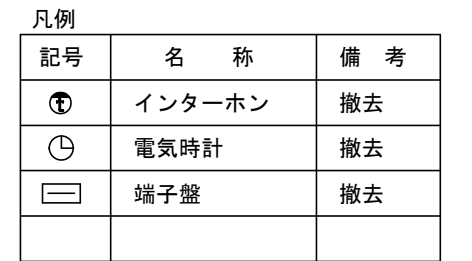
C  
B  
A

2,400  
7,000  
2,300



3階平面図 1/200

1a 1 2 3 4 5 6 7 8 8a



搬去

図中記入なき配線は下記とする。

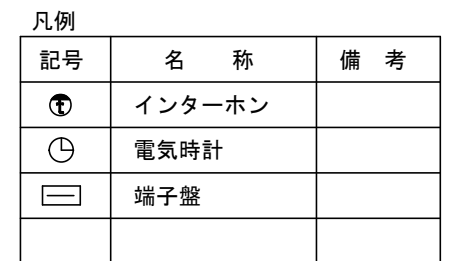
インターホン

\_\_\_\_\_ A E 1. 2 - 2 C

時計

\_\_\_\_\_ // \_\_\_\_\_ A E 1. 2 - 2 C

2階平面図 S=1/200



図中記入なき配線は下記とする。

インターホン

—— ㄥ —— A E 1. 2-2 C

時計

—— ㄥ —— A E 1. 2-2 C

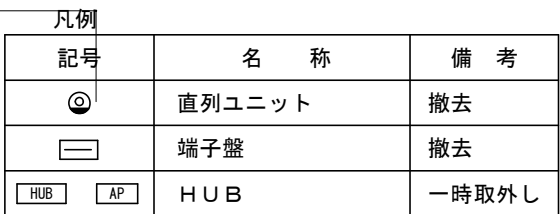
壁面露出立下配線は1種金属線が保護とする。

防火区画を貫通する部分は、国土交通大臣認定工法（国交省認定番号 NM-3918）にて防火区画貫通処理を施すこと。

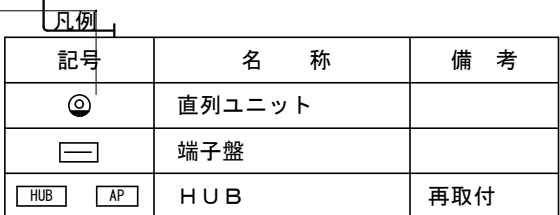
2階平面図 S=1/200

工事名称	図面名称	縮尺	A2: 1/200	日付	訂正	担当	承認	備考	藤川設計株式会社	一級建築士登録 222551	田中 富士夫	E-22
★ 津市立新町小学校大規模改造（第四期）工事	★ 情報表示・誘導支援設備 特別教室管理棟 2 階平面図（改修前・改修後）	★		★	★	★	★	★				原図: A2





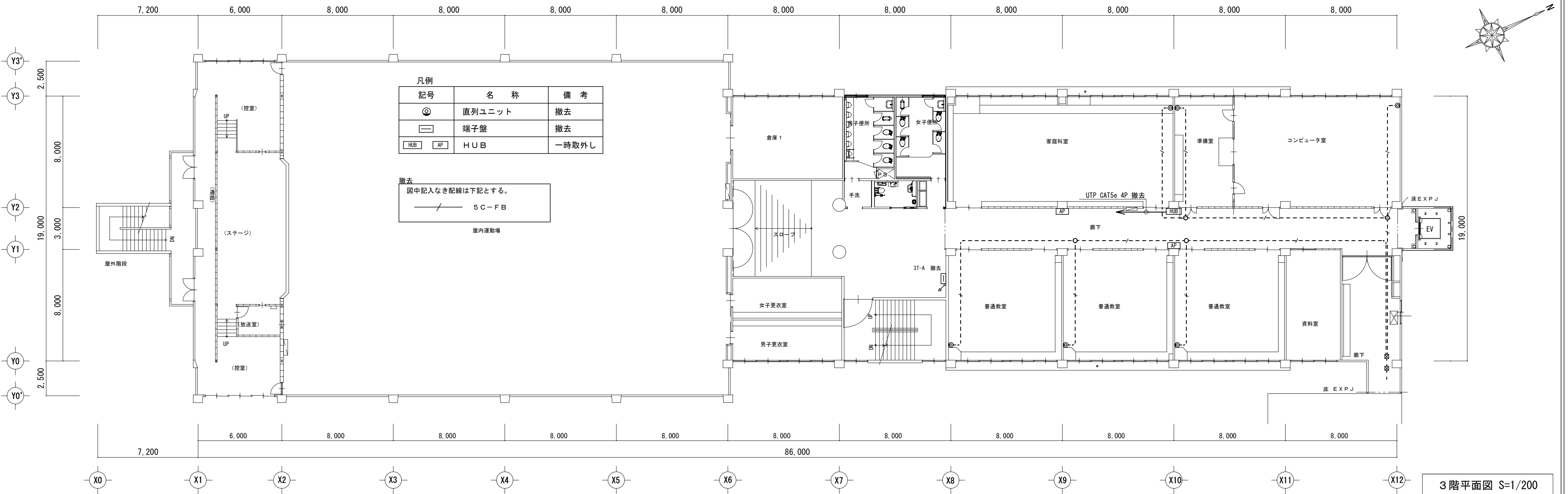
5 C - F B



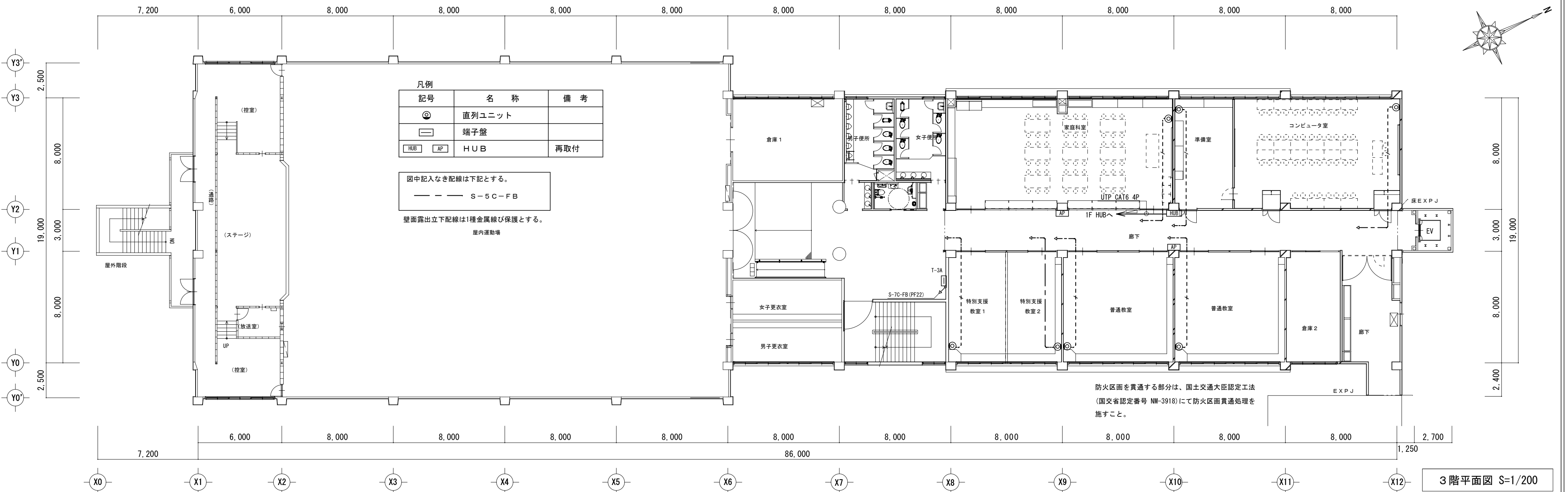
壁面露出立下配線は1種金属線ぴ保護とする。

級建築士登録 222551  
田中 富士夫

改修前



改修後



工事名称  
津市立新町小学校大規模改造（第四期）工事  
★

図面名称  
構内情報通信網・テレビ共同受信設備 特別教室管理棟3階平面図（改修前・改修後）

縮尺 A2 : 1/200

日付

訂正

担当

承認

備考





藤川設計株式会社

一級建築士登録 222551  
田中 富士夫

E-25  
原図：A2



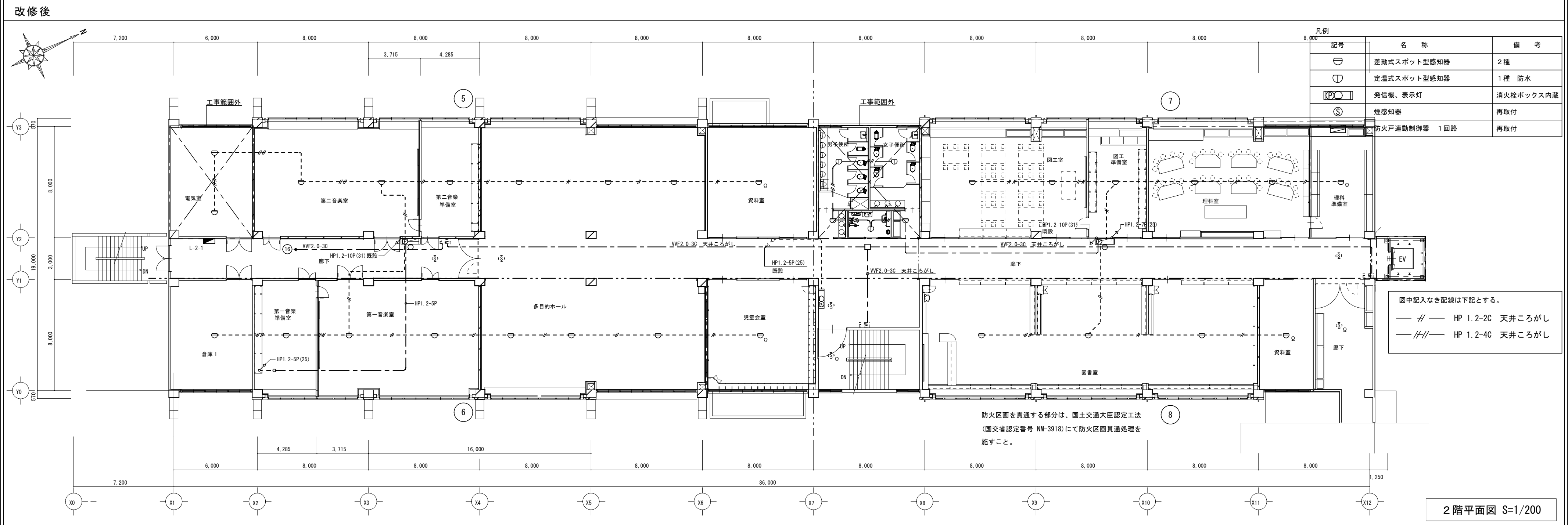
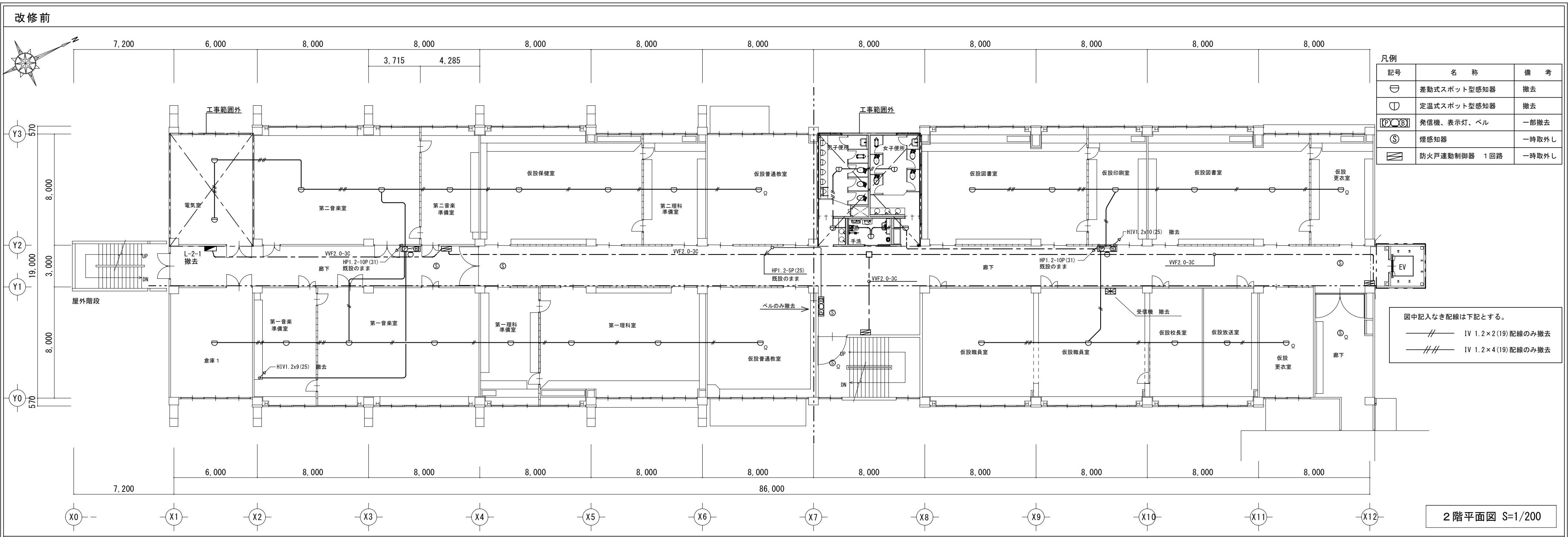
凡 例 表

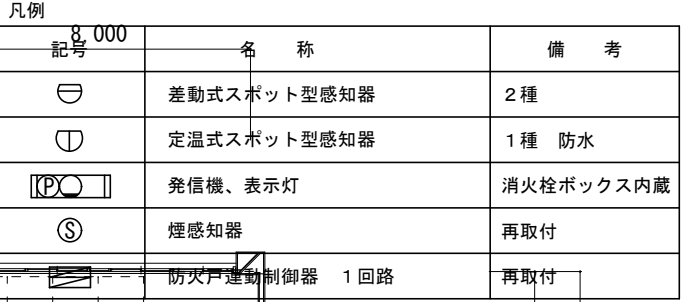
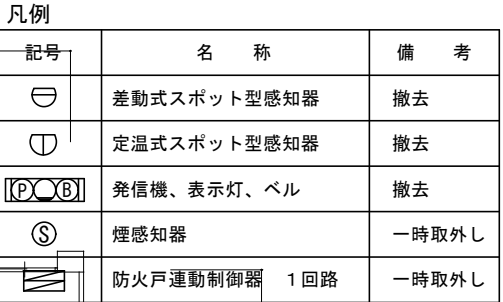
記 号	名 称	備 考
	受信機 P型 1 級 30窓（既設）	壁掛型
	副受信機 30回線（既設）	
	消火栓組込	
	P型1級発信機	
	表示灯	
	煙感知器 2 種	
	差動式スポット型感知器 2 種	
	定温式スポット型感知器 1 種防水	
	定温式スポット型感知器 特種	
	終端抵抗器	
	中継ボックス	
	立ち上がり、立ち下がり	
	警戒区域番号	

P型1級30窓 受信機警 戒区域一覽表

番号	名 称	番号	名 称
1	西校舎 1階 南西	16	北校舎 2階 東
2	西校舎 1階 南東	17	北校舎 2階 西
3	西校舎 1階 北西	18	北校舎 3階 東
4	西校舎 1階 北東	19	北校舎 3階 西
5	西校舎 2階 南西	20	北校舎 東階段
6	西校舎 2階 南東	21	北校舎 西階段
7	西校舎 2階 北西	22	特別教室管理棟 EV
8	西校舎 2階 北東	23	普通教室棟 厨房
9	西校舎 3階 北西	24	北校舎 リフト
10	西校舎 3階 北東	25	
11	体育館 南	26	
12	体育館 北	27	
13	西校舎 階段	28	
14	北校舎 1階 東	29	
15	北校舎 1階 西	30	

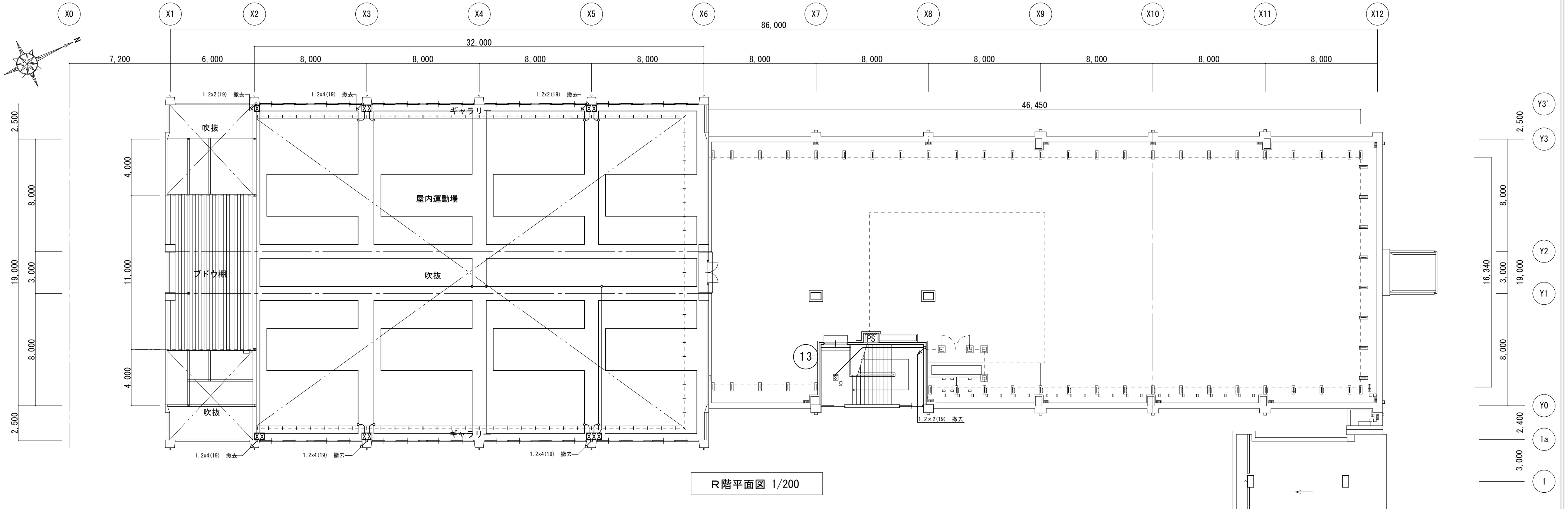




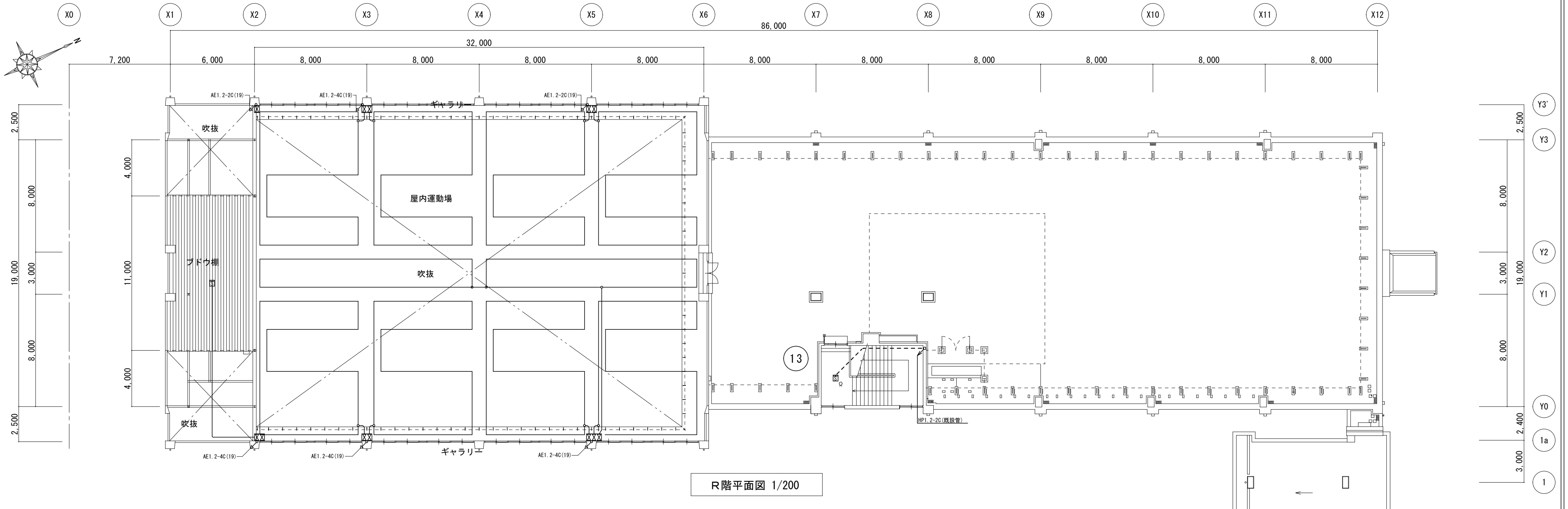


E - 28

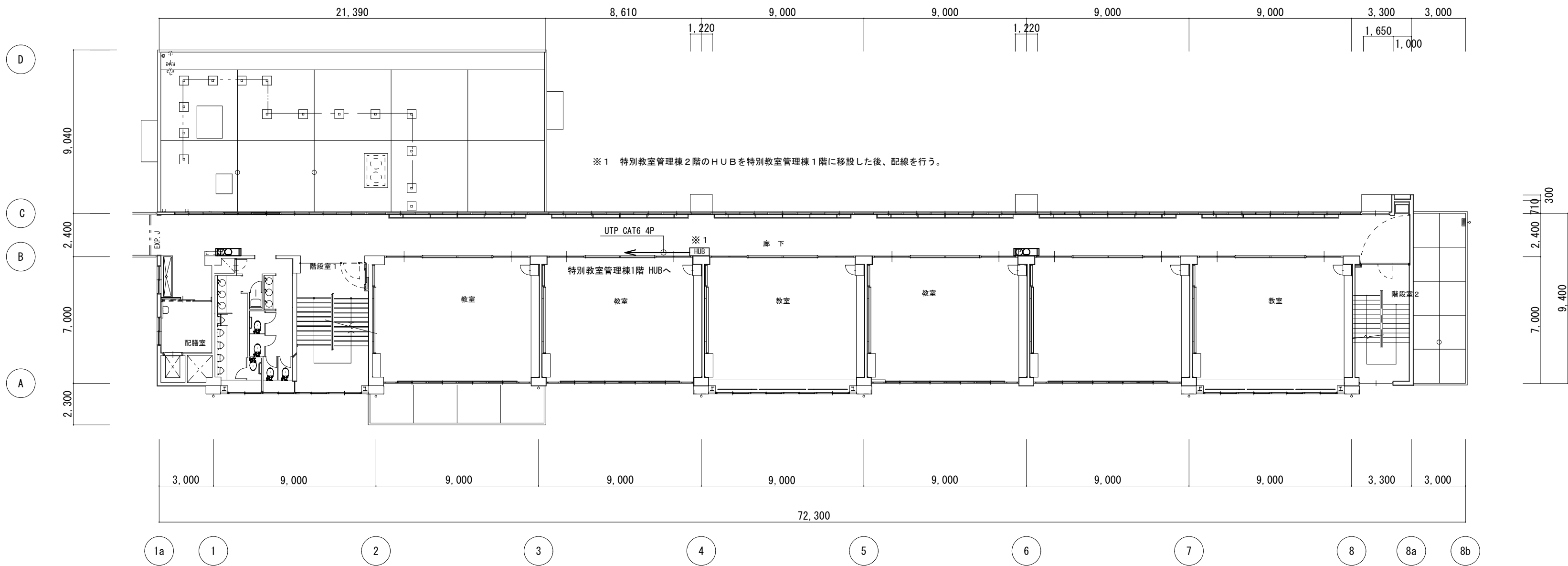
改修前



改修後



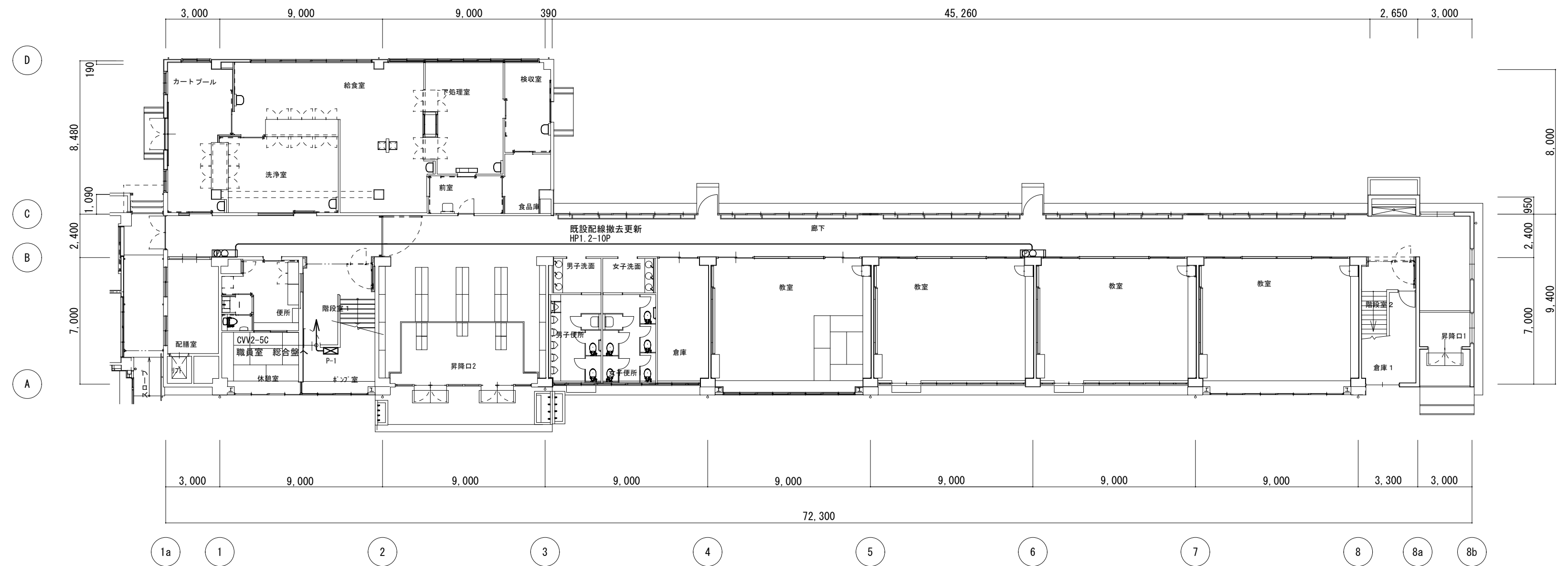
普通教室棟 2 階



凡例		
記号	名 称	備 考
IPX○	発信機、表示灯	ベルのみ撤去

普通教室棟 2 階平面図 1/200

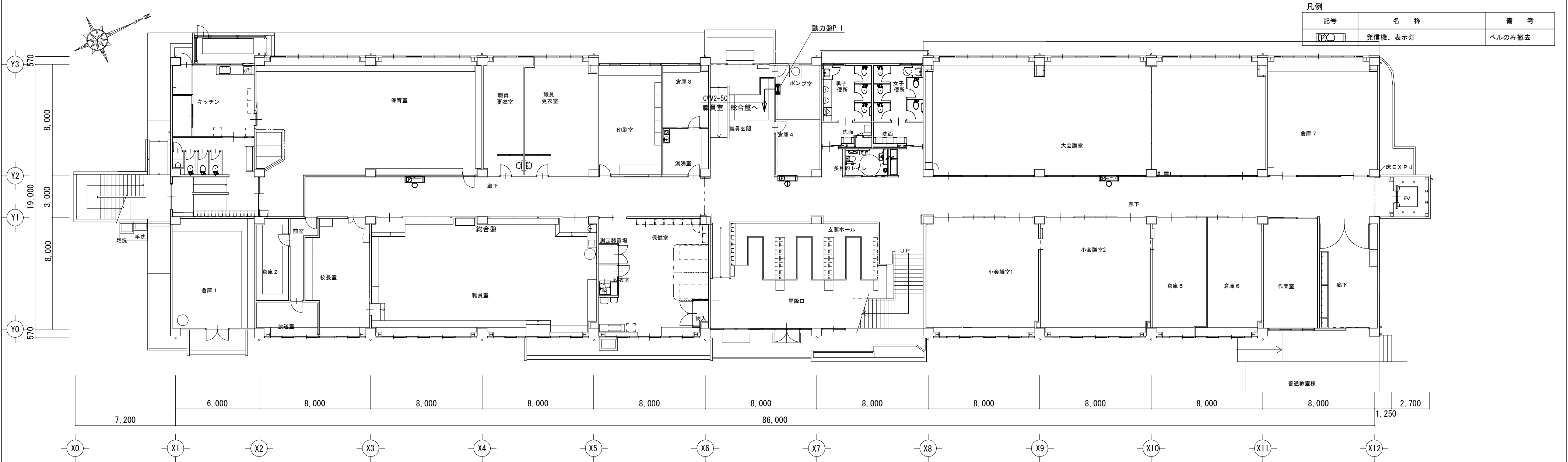
普通教室棟 1 階



凡例		
記号	名 称	備 考
IPX○	発信機、表示灯	ベルのみ撤去

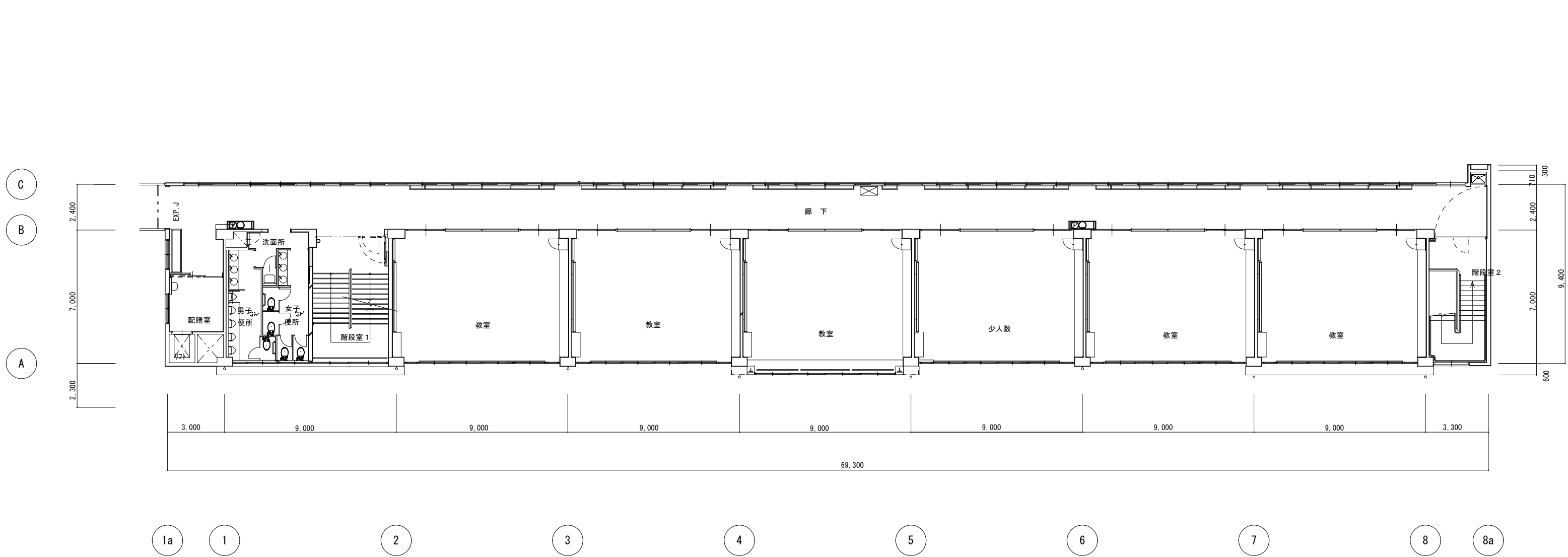
普通教室棟 1 階平面図 1/200

特別教室管理棟 1 階



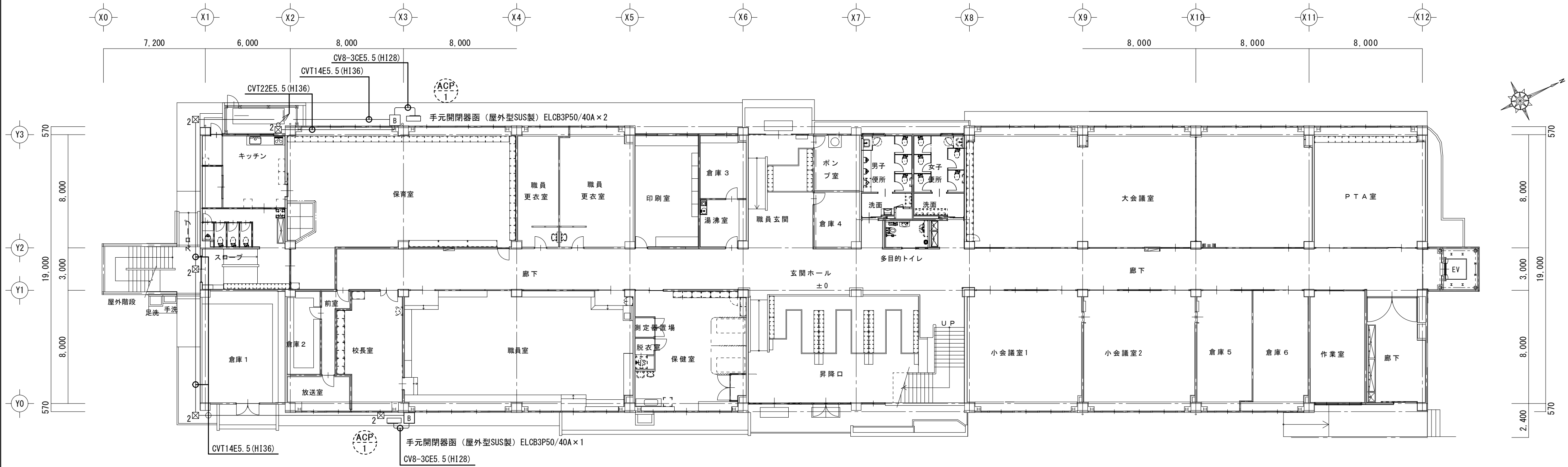
特別教室管理棟 1 階平面図 1/200

普通教室棟 3 階

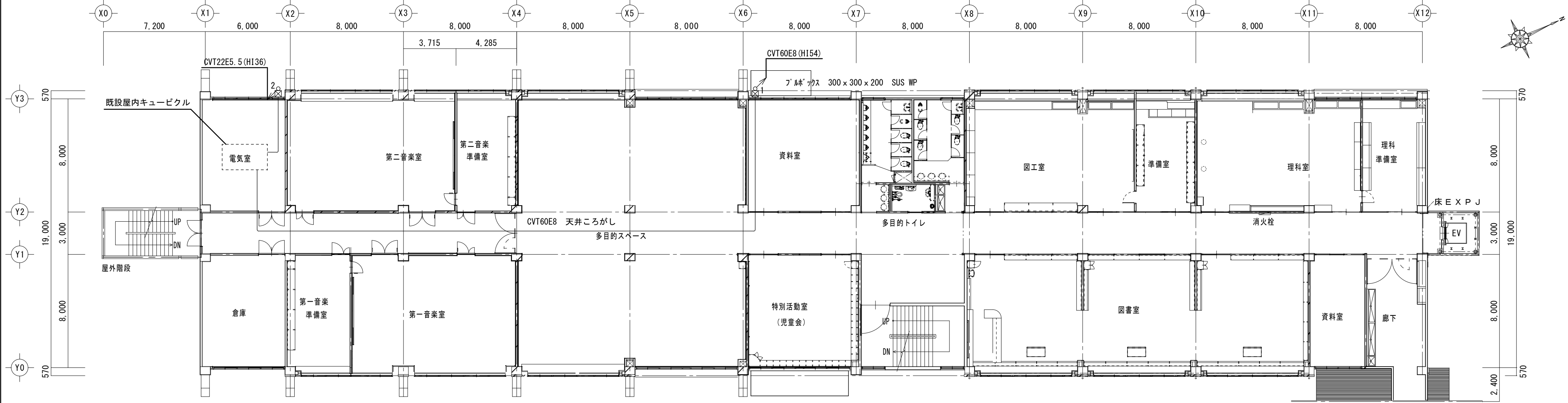


普通教室棟 3 階平面図 1/200

1 階平面図 1/200



2 階平面図 1/200



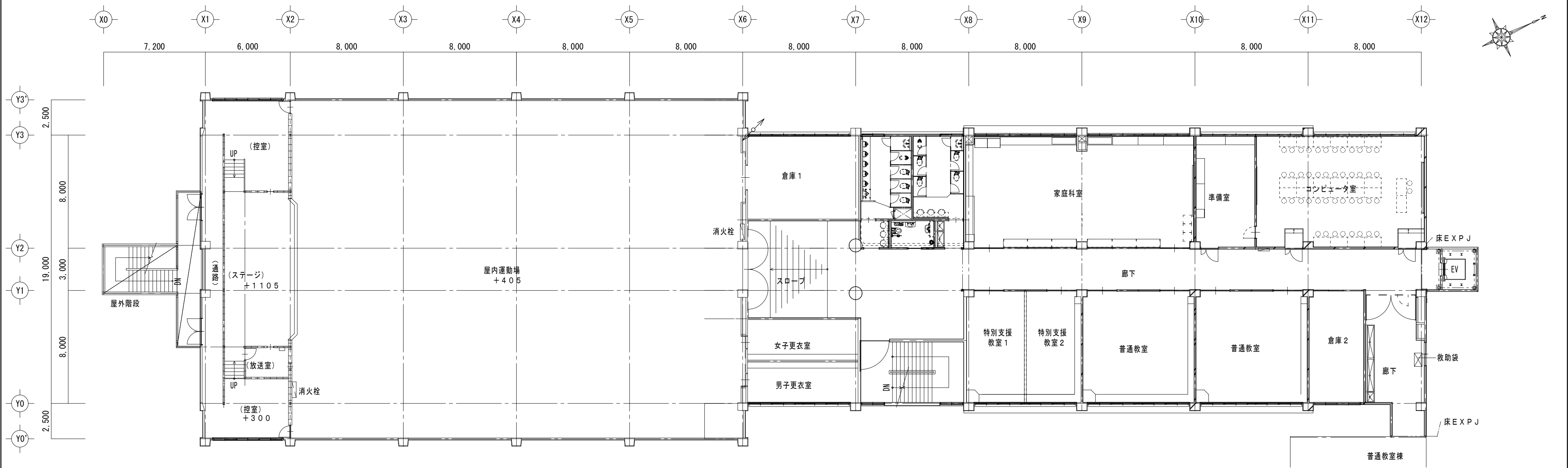
(凡例)

- 1 プルック 300×300×200 SUS WP  
2 プルック 200×200×200 SUS WP

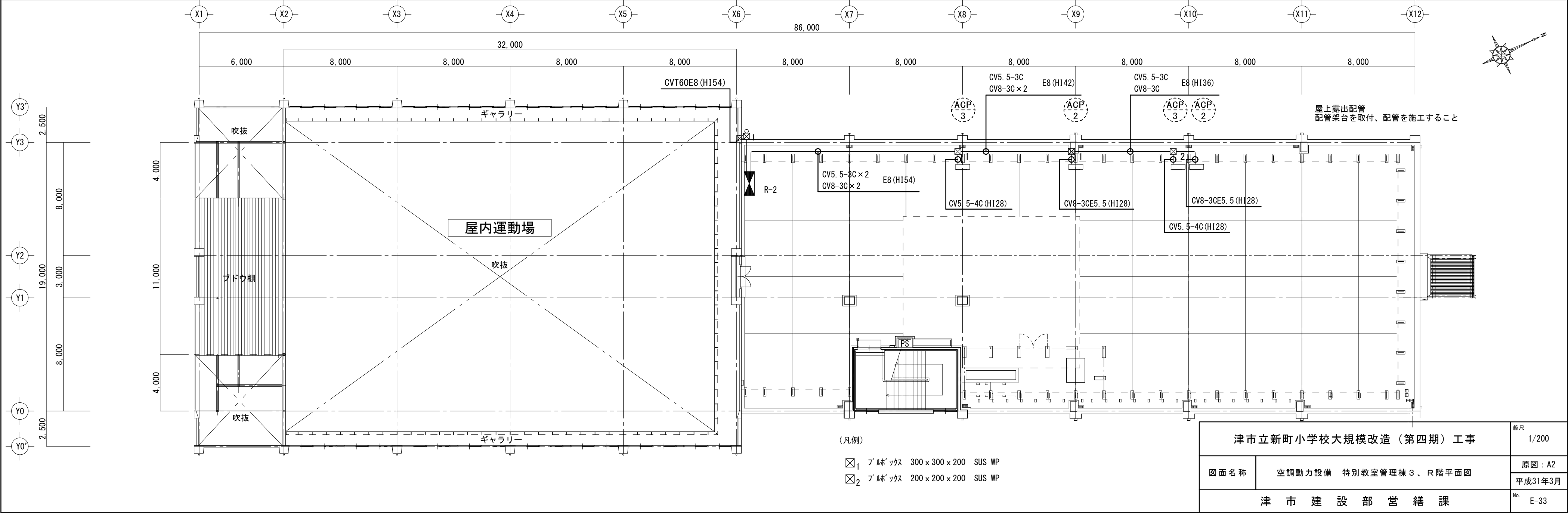
津市立新町小学校大規模改造（第四期）工事		縮尺 1/200
図面名称	空調動力設備 特別教室管理棟 1、2 階平面図	原図：A2
		平成31年3月
津 市 建 設 部 営 繕 課		No. E-32



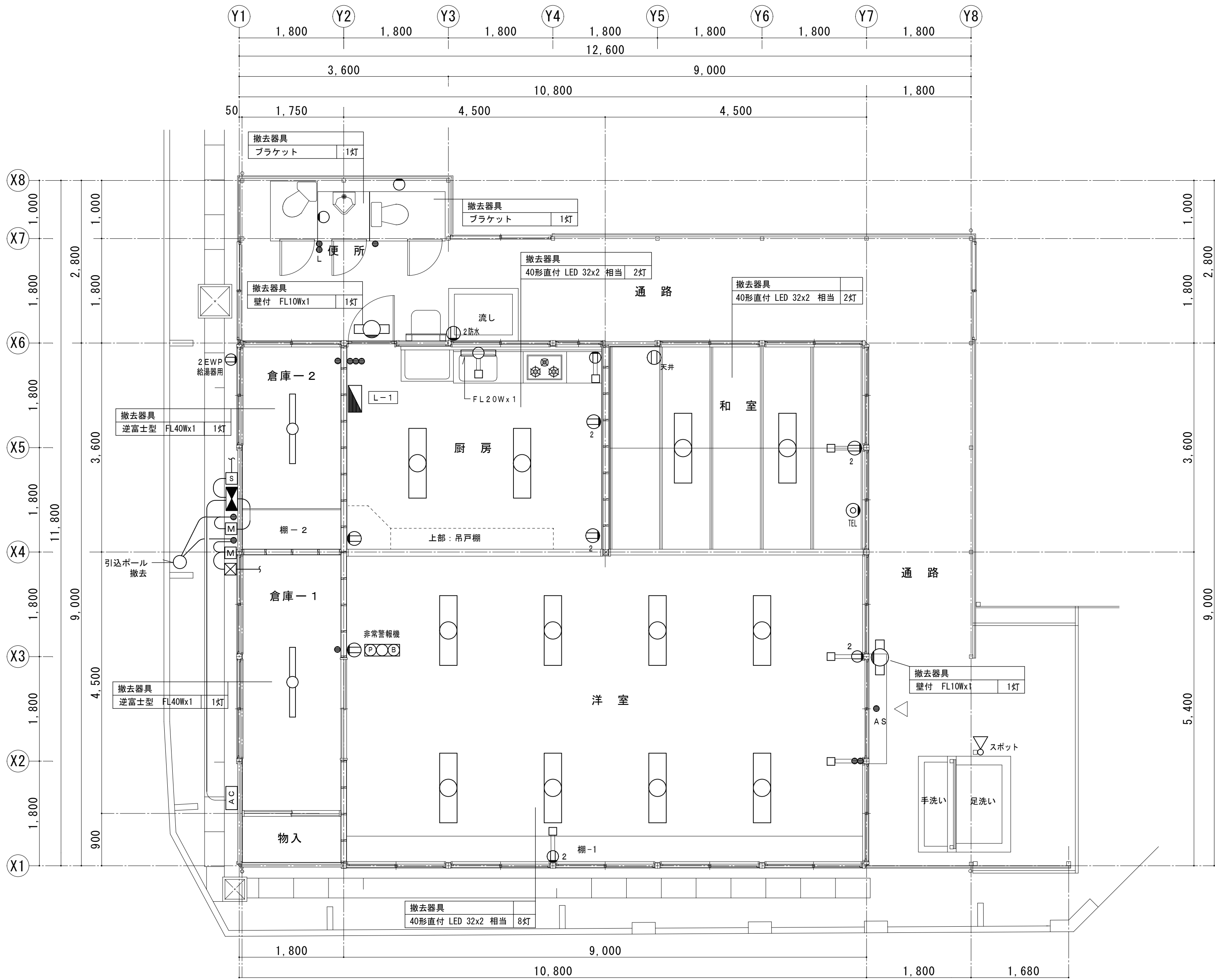
3 階平面図 1/200



R 階平面図 1/200



津市立新町小学校大規模改造（第四期）工事		縮尺	1/200
図面名称	空調動力設備 特別教室管理棟 3、R階平面図	原図：A2	
		平成31年3月	
津市建設部営繕課		No.	E-33



平面図 1 : 50

※配管及び配線は可能な限り分別し、撤去とする。

参考

[illegible]

※ 横走り管の吊り間隔

銅管	100A以下	—	2m 以下
	125A以上	—	3m 以下
ビニル管 耐火二層管 銅管	80A以下	—	1m 以下
	100A以上	—	2m 以下
鉛管	1.5m 以下		
鋳鉄管	標準図による		

※ 横走り管形銅振れ止め支持間隔

支持間隔	6m 以下	8m 以下	12m 以下
銅管	—	50A～100 A	125A～
鋳鉄管	—	—	—
ビニル管 耐火二層管 銅管	25A～40A	50A～100A	125A～

※ 冷媒用銅管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m 以下 ※ 液管・ガス管共吊りの場合は  
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m 以下 液管の外径を基準とする。  
形銅振れ止め支持間隔は、銅管に準ずる。

(2) ダクト工事

- 矩形ダクト
- 工法
- 形鋼補強  
丸ダクト
- ☐ 亜鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGCCA) 鍍金付着Z18以上  
☐ ステンレス鋼板 JIS G4305  
☐ アングルフランジ工法  
☐ 共板フランジ工法  
☐ スライドオンフランジ工法  
☐ 山形鋼 JIS G 3101 ☐ SUS鋼材 JIS G 4317  
☐ スパイラルダクト  
☐ 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU)

(3) 保温塗装工事

1) 材料 部分的に材料を変更する場合は、図面に明記すること。

■ グラスウール保温材 (屋内一般等)		保温筒 JIS A 9504 2号 40K	保温板、保温帯 JIS A 9504 2号 40K
■ 給水管	■ 排水管	<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 温水管
<input type="checkbox"/> 蒸気管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 冷媒管	<input type="checkbox"/> 冷媒管
(屋外等)			
<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 温水管	<input type="checkbox"/> 蒸気管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管
<input type="checkbox"/> 冷媒管	<input type="checkbox"/> 冷媒管	<input type="checkbox"/> 冷媒管	<input type="checkbox"/> 冷媒管
<input type="checkbox"/> ロックウール保温材 (防火区画貫通部等)		保温板、保温帯、ブランケット 1号JIS A 9504	
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 温水管
<input type="checkbox"/> 蒸気管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 冷媒管	<input type="checkbox"/> 消火管

■ ポリスチレンフォーム保温材 (屋内一般等)		保温筒 JIS A 9511 3号	保温板 JIS A 9511 3号
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 冷水管 (2～4℃)
<input type="checkbox"/> プライン管	<input type="checkbox"/> プライン管	<input type="checkbox"/> プライン管	<input type="checkbox"/> プライン管
(屋外等)			
■ 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	■ 給湯管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管
<input type="checkbox"/> プライン管	<input type="checkbox"/> 消火管	<input type="checkbox"/> 消火管	<input type="checkbox"/> 消火管

<input type="checkbox"/> 調合ベイント塗り塗料 JIS K 5516 (合成樹脂調合ベイント) 1種 (露出)			
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 通気管	<input type="checkbox"/> ドレン管
<input type="checkbox"/> ガス管	<input type="checkbox"/> 消火管	<input type="checkbox"/> 油管	<input type="checkbox"/> 冷却水管

2) 保温厚

・ グラスウール、ロックウール					
保温厚 (mm)	20	25	30	40	50
給水・排水・ドレン・給湯	～80A	100～150A	—	200A～	—
膨張・温水・消火管	—	—	—	—	—
蒸気管	～25A	—	32～50A	65A～	—
冷水・冷温水・冷媒管	—	—	～25A	32～200A	250A～

・ ポリスチレンフォーム						
保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	65
給水・消火・排水管	～80A	100A～	—	—	—	—
冷水・冷温水管	—	—	～25A	32～200A	250A～	—
冷水管 (冷水温度2～4℃)	—	—	～20A	25A～100A	125A～	—
プライン管	—	—	—	～25A	32～80A	100A～

・ 機器ダクト保温厚

保温厚	
25mm	ダクト(屋内露出 [機械室、書庫、倉庫]、隠蔽部)、消音チャンバー・エルボ 膨張タンク、銅板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)
50mm	ダクト(屋内露出 [一般居室、廊下])、サプライチャンバー、貯湯タンク類 冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー 排気筒隠蔽部 (ロックウール)
75mm	煙導 (ロックウール)

3) 種別

給排水衛生設備配管の保温仕様

	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	7&8" 3/4" 2" 仕上
天井内・P S 内	7&8" 3/4" 2" 仕上	アルミガラスクロス粘着テープ		
暗渠内 (ビット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色7&8" 3/4" 2" 仕上
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

- ※ 1) 排水管については、上表暗渠内 (ビット内) の仕様を防食テープ巻きに読み替える。  
※ 2) サヤ管工法; 架橋ポリエチレン・ポリブデン管使用の場合は、上表保温不要。  
※ 3) 消火管の外部露出のは保温を行う。

空調設備配管の保温仕様 (R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	8" 12" 16" 2" 仕上	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	8" 12" 16" 2" 仕上	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・P S 内 (温水・蒸気管以外)	保温筒	鉄線	8" 12" 16" 2" 仕上	アルミガラスクロス仕上	
暗渠内 (ビット内)	保温筒	鉄線	8" 12" 16" 2" 仕上	着色アルミガラスクロス仕上	
屋外露出	保温筒	鉄線	8" 12" 16" 2" 仕上	SUS鋼板仕上	

※ 1) 冷媒管に断熱材被覆銅管を使用した場合の保温種別

- 保温化粧ケース仕上 ■ ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上 (屋外露出部分)

機器保温仕様

	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク					
銅板製タンク	紙	保温板	ポリエチレン	鉄線	SUS鋼板仕上
冷水・冷温水ヘッダ			フィルム		カラー鉄板 (屋内)
温水・膨張・還水					
貯湯タンク	紙	保温板	鉄線	SUS鋼板仕上	
温水・蒸気ヘッダ				カラー鉄板 (屋内)	
熱交換器					

※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンバー・煙道 保温仕様

	1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	保温板	カラー鉄板	
	機械室	紙	アルミガラスクロス化粧保温板		アルミガラスクロス粘着テープ
	屋内隠蔽、D S 内	紙	アルミガラスクロス化粧保温板		アルミガラスクロス粘着テープ
	屋外露出、多湿箇所	紙	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線 SUS鋼板
スパイラルダクト	屋内露出	一般・廊下	保温帯	鉄線	カラー鉄板
	機械室	アルミガラスクロス化粧保温帯		アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋内隠蔽、多湿箇所	アルミガラスクロス化粧保温帯		アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋外露出、多湿箇所	保温帯	鉄線	ポリエチレンフィルム	鉄線 SUS鋼板
サプライチャンバー		紙	保温板	ガラスクロス	銅亀甲金網
消音チャンバー、エルボ		紙	保温板	ガラスクロス	
排煙ダクト長方形	屋内隠蔽	紙	アルミガラスクロス化粧保温板		アルミガラスクロス粘着テープ
排煙ダクト円形	屋内隠蔽	アルミガラスクロス化粧保温帯		アルミガラスクロス粘着テープ	
煙道	フランケット	鉄線		カラー鉄板	

- ※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。  
※ 2) 煙道フランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による亜鉛鍍金を施した網目16線径0.55 による防錆処理を施したプラス0号で外面補強したものを使用。  
※ 3) 銅亀甲金網は、JIS H 3260 網目10、線径0.5

配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様

機材	状態	塗料の種類	塗り回数			備考
			下塗り	中塗り	上塗り	
白管	露出	調合ベイント	1	1	1	下塗りはさび止めベイント
黒管	露出	調合ベイント	2	1	1	下塗りはさび止めベイント

※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めベイント2回塗りを行う。

4) 施工

ダクト保温施工範囲

1. S A ☐ 保温あり ☐ 保温なし ☐ 図面による ☐ その他 ( )
2. E A ☐ 保温あり ☐ 保温なし ☐ 図面による ☐ その他 ( )
3. R A ☐ 保温あり ☐ 保温なし ☐ 図面による ☐ その他 ( )
4. O A ☐ 保温あり ☐ 保温なし ☐ 図面による ☐ その他 ( )
- チャンバー内貼施工 ☐ 内貼あり ( mm ) ☐ 内貼なし ☐ 図面による ☐ その他 ( )

(4) スリーブ工事

1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径 (保温されるものは、保温厚さを含む) より40mm程度大 (≒2サイズUP) なるものとする。  
箱抜きスリーブは、木枠又は銅板 (実管ダクト) とする。
2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管 (VU) とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き銅管とする。
3. その他のスリーブは、特記なき限り、紙ボイドとする。紙ボイド使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。

共通事項

- 1) 陸上ポンプ、送排風機 (エアハン含む) の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
- 2) 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
- 3) 系統が分かるように、必要箇所 (機械室、P S 内等) に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
- 4) 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
- 5) 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
- 6) 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
- 7) 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
- 8) 雨がかり部に取り付けるガラリのチャンバーには、水抜きを設けること。
- 9) 屋外埋設管 (給水、消火、ガス) には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設機を施工すること。
- 10) 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
- 11) 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
- 12) 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
- 13) 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。  
・ 管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をもたせる。  
・ 接続箇所は必要に応じコンクリートで保護する。  
・ 土間配管は、土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。  
・ 呼び径100A以下はM10、125A～250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒鋼を使用する。
- 14) 屋外露出及び多湿箇所 (トレンチビット等) の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
- 15) 屋外設置のマンホール類には用途名を入れること。
- 16) 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊巻の取り付けを行うこと。
- 17) 送風機用ベルトカバーには点検口を設けること。
- 18) 建設発生土は境界自由処分とすること。

業務名称

★ 津市立新町小学校大規模改造 (第四期) 工事

図面名称

★ 機械設備特記仕様書 2

縮尺

★

日付

★

訂正

★

担当

★

承認

★

備考

★

藤川設計株式会社

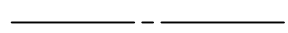
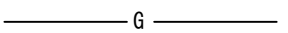

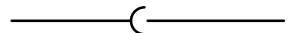
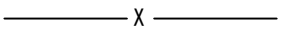

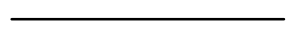
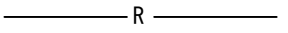

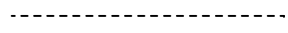
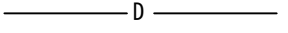
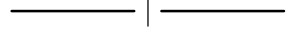
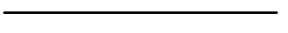


一級建築士登録 2 2 2 5 5 1

田中 富士夫

M-02

原図: A 2

図 示 記 号

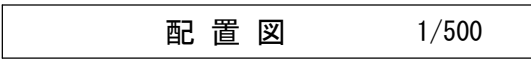
記 号	名 称		名 称	記 号	名 称
	給 水 管		ガ ス 管		給 水 栓
	汚 水 管		消 火 管		フ ラ ッ シ ュ バ ル ブ
	雑 排 水 管		冷 媒 管		弁 類
	通 気 管		ド レ ン 管		ガ ス コ ッ ク
	給 湯 管		排 気 ダ ク ト		床 上 掃 除 口
					排 水 金 物

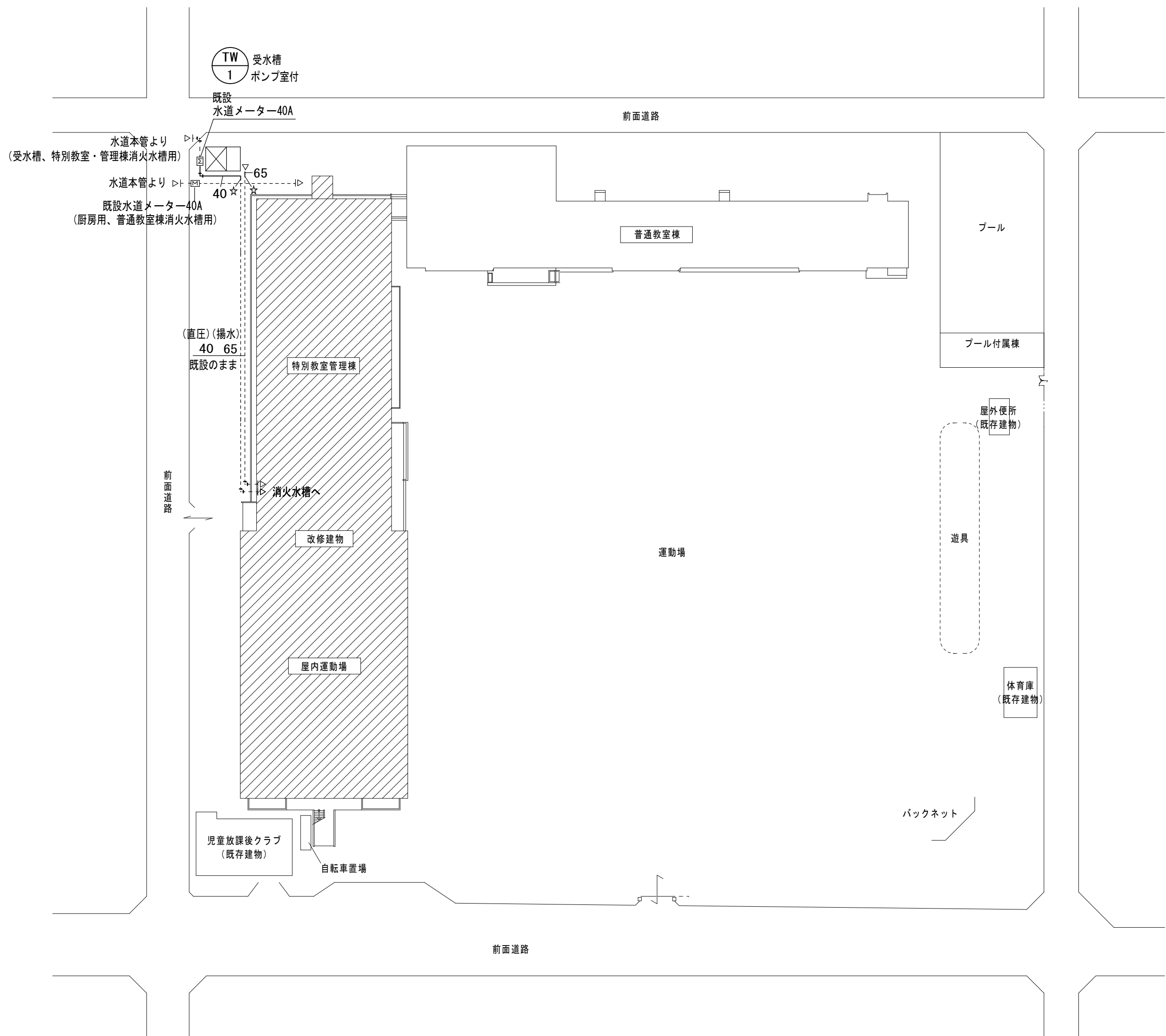
衛 生 機 器 表

記 号	名 称	能 力 ・ 仕 様	電 源	数 量	設置場所
T W -I	受水槽	形式 : SUS444製 2 槽式パネルタンク (単板) ポンプ室付 耐震 1.5G 仕様 : 水槽部 3500 (2000+1500) x 3000 x 2000H ポンプ室 3500 x 3000 x 2000H (溶融亜鉛メッキ平架台共) 附属品 : 通気口 (防虫網付)、電極座 (防雨カバー付) x 2、マンホール x 2 (内蓋付) ドアー (ガラリ付) x 1、ガラリ x 1、内梯子 x 2、外梯子 x 2		1	屋外
T W H -I	高架水槽	形式 : SUS444製パネルタンク (単板) 耐震 2.0G 仕様 : 2000 x 2000 x 1500H (溶融亜鉛メッキ平架台共) 附属品 : 架台 H=1000 通気口 (防虫網付)、電極座 (防雨カバー付)、マンホール (内蓋付)		1	P H 階屋根
T F -I	消火充水槽	形式 : SUS製パネルタンク (単板) 耐震 2.0G 仕様 : 1000 x 500 x 1000H (溶融亜鉛メッキ平架台共) 附属品 : 通気口 50φ (防虫網付)、電極座 (防雨カバー付)、マンホール 500角		1	P H 階屋根
P W -I	揚水ポンプ	形式 : 多段渦巻ポンプ (ナイロンコーティング製) 仕様 : 50φ x 280L/m i n x 30m x 3.7KW (自動交互運転) 附属品 : GV、CV、圧力計	3φ 200V	2	屋外
H B -IA	屋内消火栓	形式 : 二段形 1号屋内消火栓 埋込形 仕様 : 750 x 1350 x 1800 附属品 消火栓 40φ、消火ホース 40φ x 15m x 2本、40φ用ホース掛け、噴霧切替ノズル 40φ x 13φ		2	3 階屋内運動場
H B -IB	屋内消火栓	形式 : 二段形 1号屋内消火栓 露出形 仕様 : 750 x 1350 x 1800 附属品 消火栓 40φ、消火ホース 40φ x 15m x 2本、40φ用ホース掛け、噴霧切替ノズル 40φ x 13φ		3	2 . 3 階 廊下

衛 生 器 具 表

名 称	品 番 上 段 TOTO 下 段 LIXIL	2階						3階			屋 外	合 計
		図工室	図工準備室	理科室	理科準備室	図書室	廊下流し	家庭科室	廊下流し			
洗面器	L210C、TEN77G1 (自動単水栓)、T6PM1 L-132G、AM-211V1 (自動単水栓)、LF-4PA					1						1
化粧鏡	YM4560F KF-4560					1	6		6			13
SUS流し	建築工事 (排水トラップ附属)	(3)		(4)	(1)		(3)		(3)			(14)
実験台	建築工事 (化学水栓、排水トラップ附属)			(9)								(9)
立形泡沫自在水栓	T136SUNR13C LF-14F-13	9	3	8	1		9	6	9			45
台付2口化学水栓	T42B LF-102			4	1							5
緊急止水弁付横水栓	TW11R LF-WJ50KQ							2				2
ホーム水栓	T200SNR13C LF-7R-13									7		7
洗濯機パン	PWSP90J2W PF-9064C、TP-51							2				2
双口ガスコック	ヒューズ付			9	1							10
電気温水器 (飲料・洗い物用)	REKB25A22 (25L、1φ 200V : 2.0kW)、RHE708R、RHE22H-50N、TL347CU、TH651							10				10



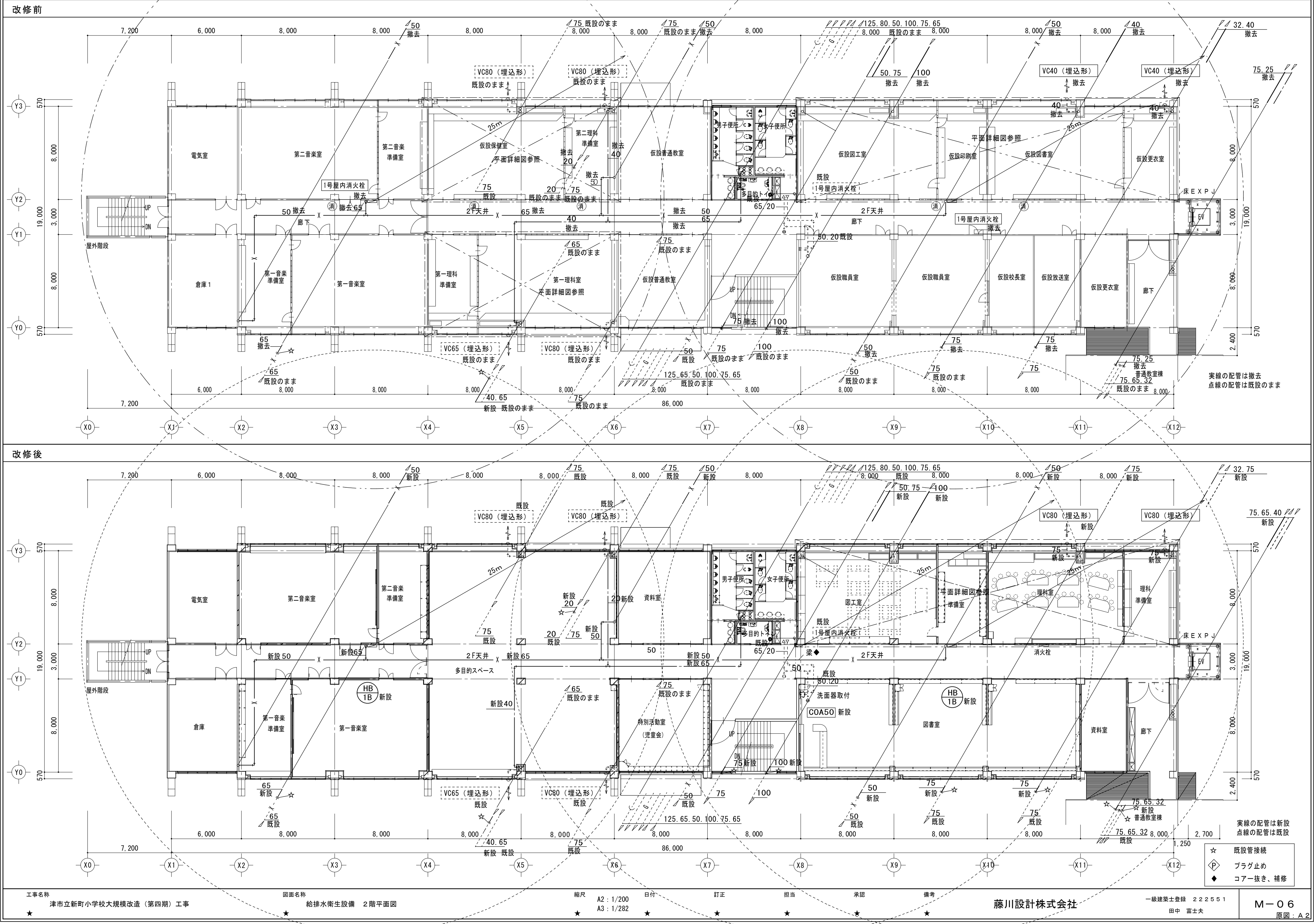


配置図 1/500

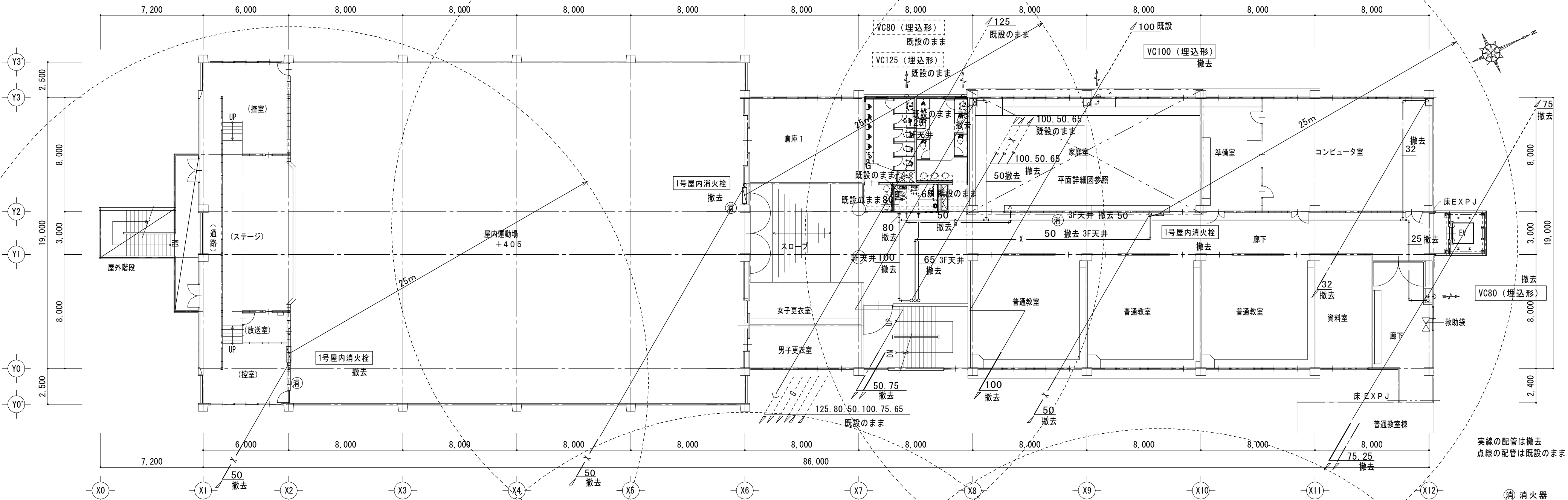
☆ 既設管接続

実線の配管は新設  
点線の配管は既設

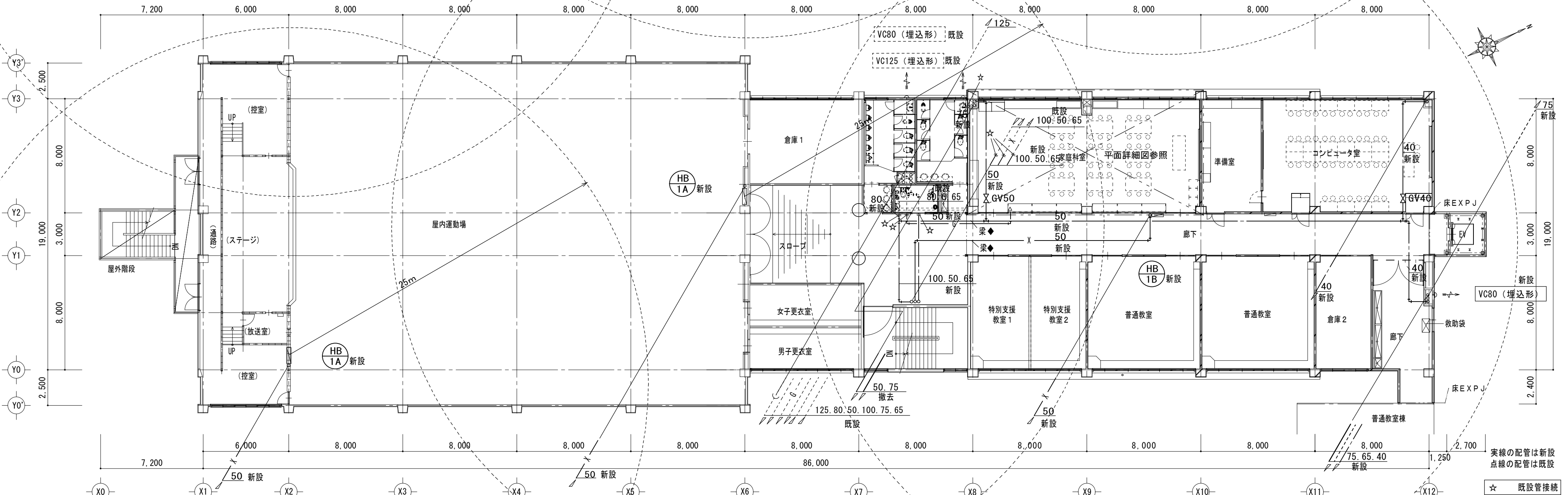




改修前



改修後



工事名称  
★ 津市立新町小学校大規模改造（第四期）工事

図面名称  
給排水衛生設備 3階平面図  
★

縮尺  
★ A2 : 1/200  
A3 : 1/282

日付

★

訂正

★

担当

承認

★

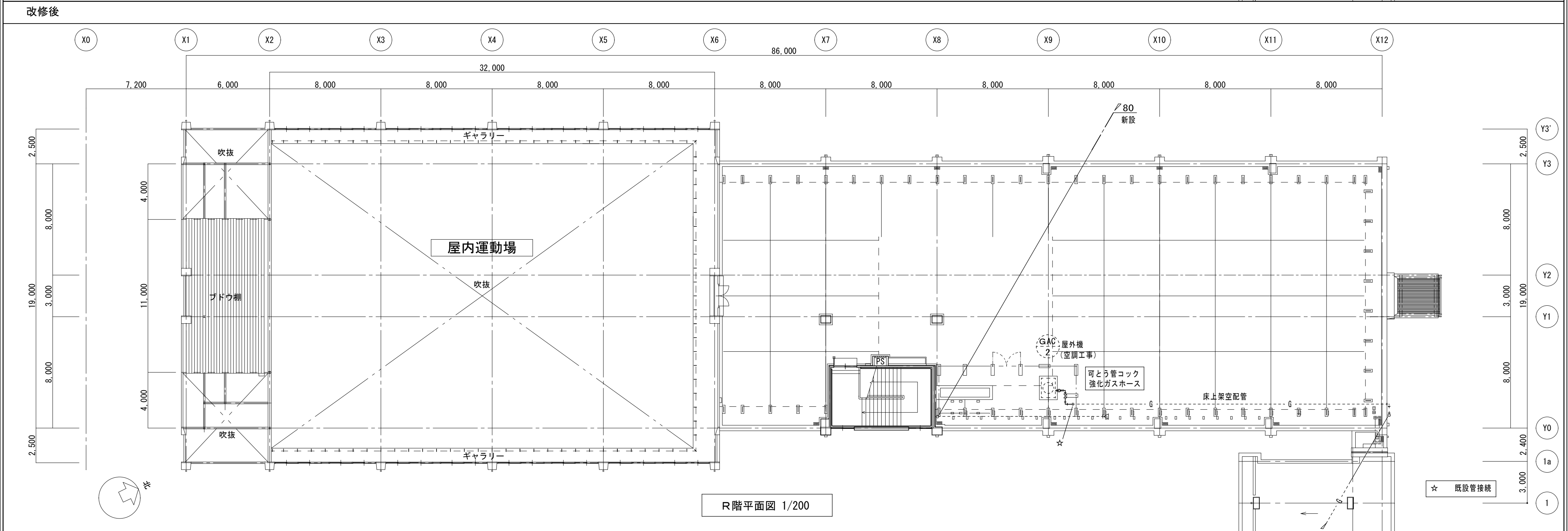
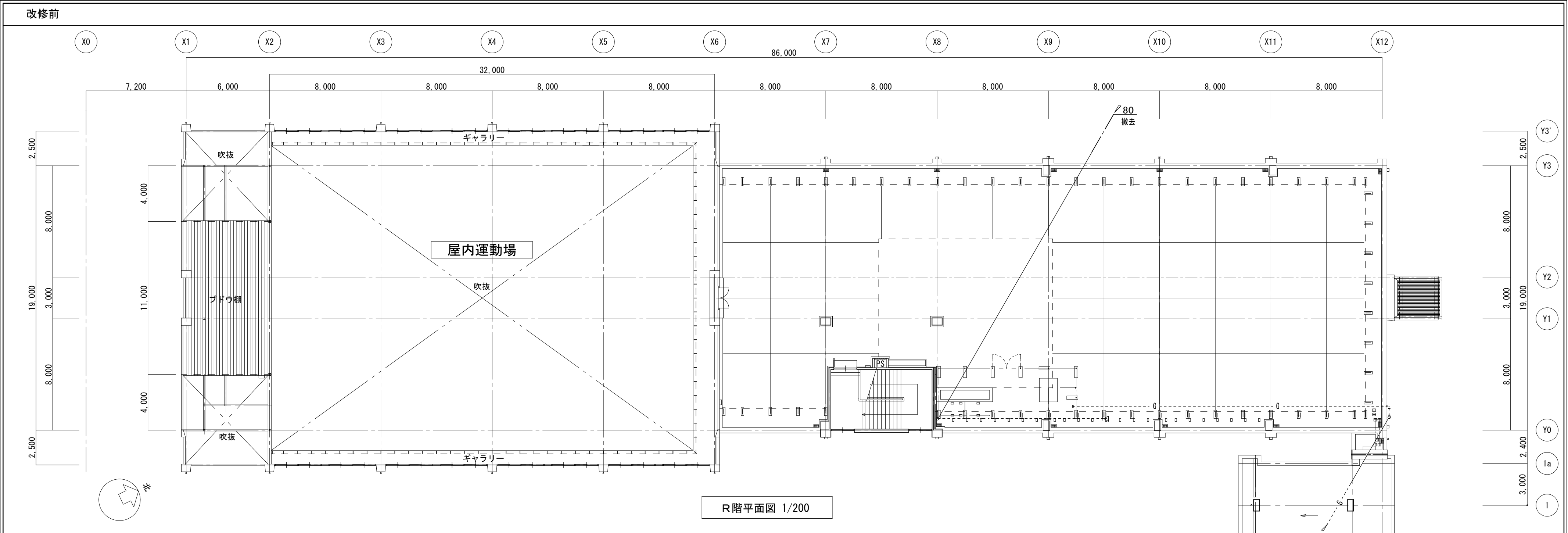
備考

★

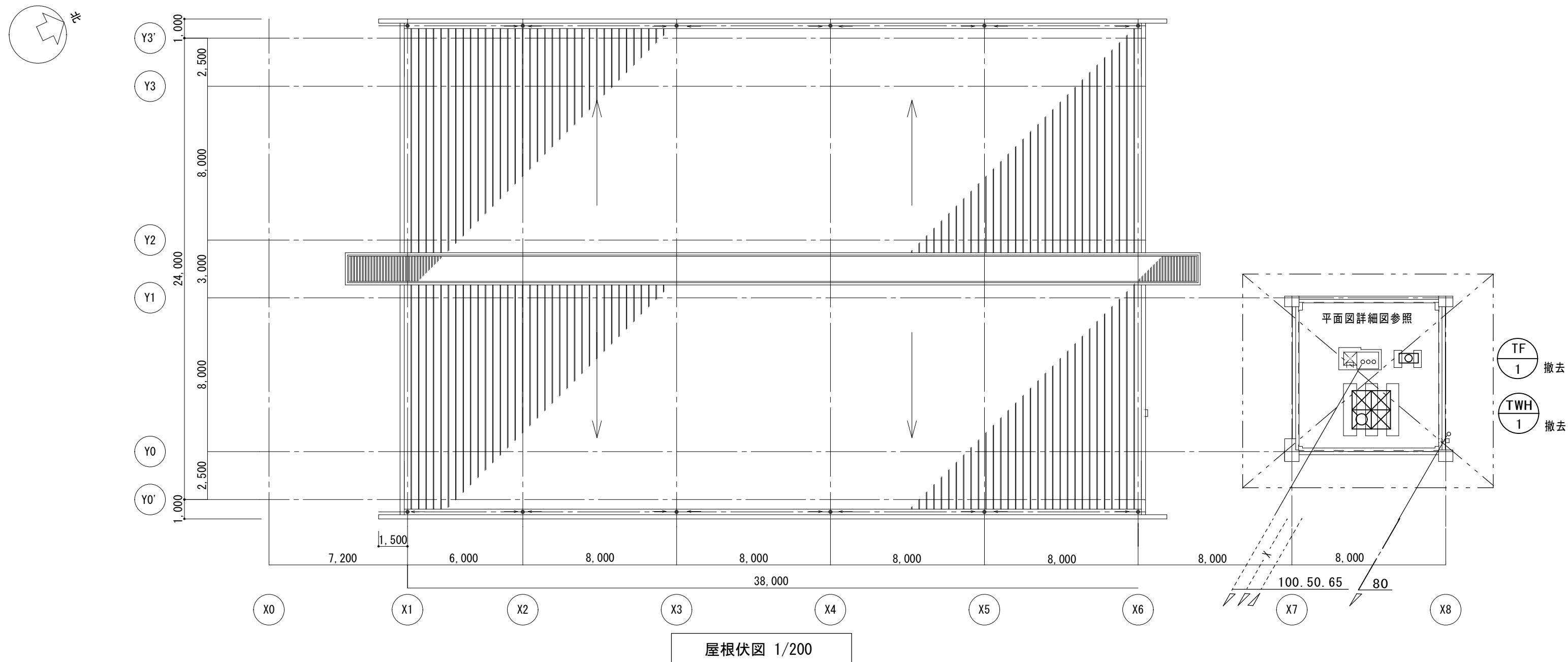
藤川設計株式会社

一級建築士登録 222551  
田中 富士夫

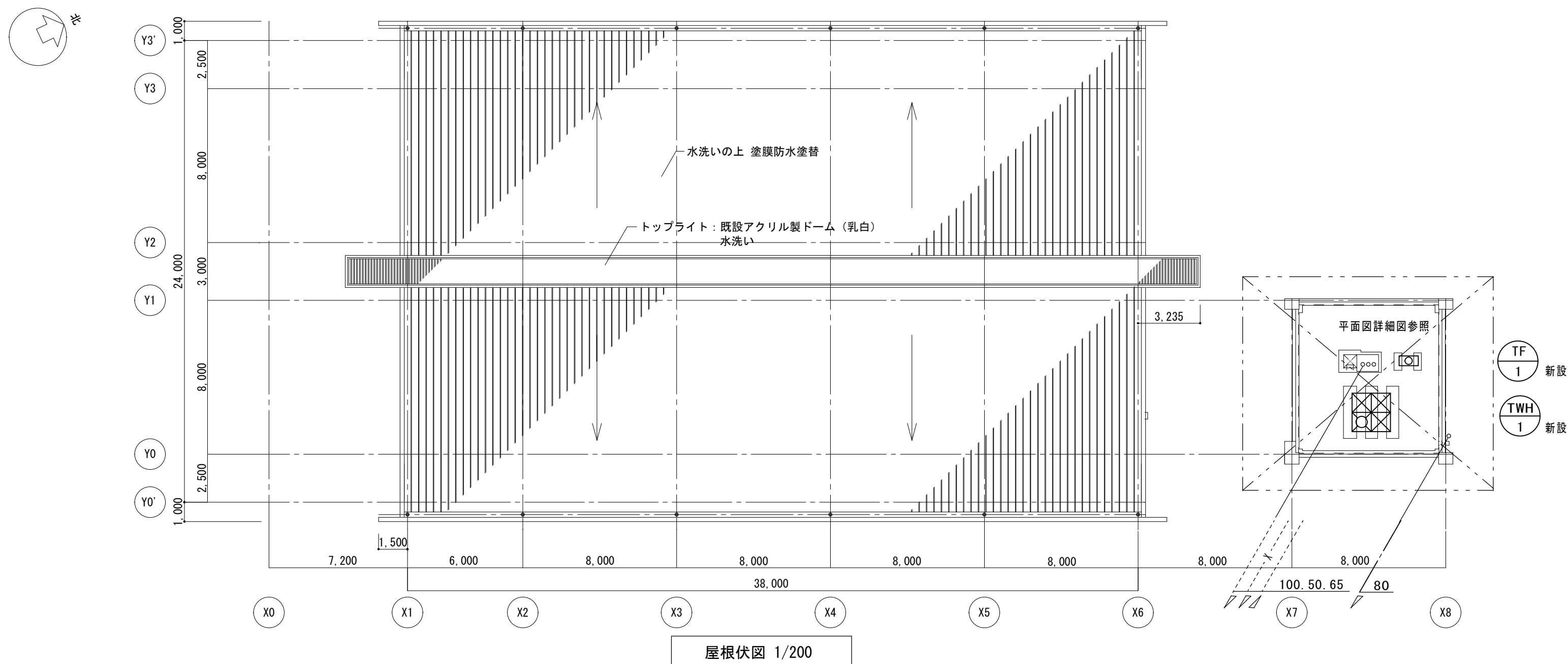
M-07  
原图: A2



改修前



改修後



工事名称  
★ 津市立新町小学校大規模改造（第四期）工事

図面名称  
★ 給排水衛生設備 屋根伏図

縮尺  
★ A2：1/200

日付  
★

訂正  
★

担当  
★

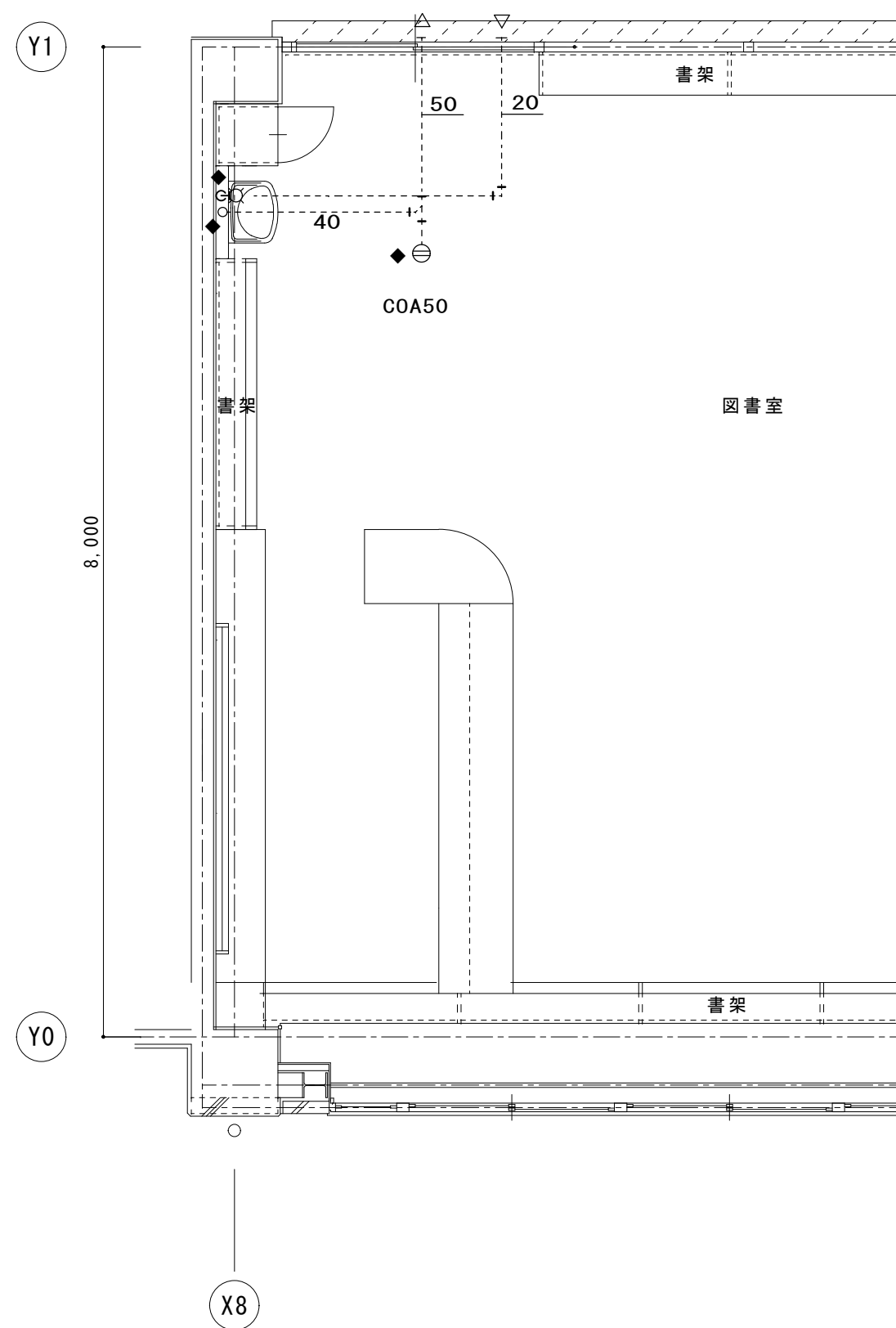
承認  
★

備考  
★

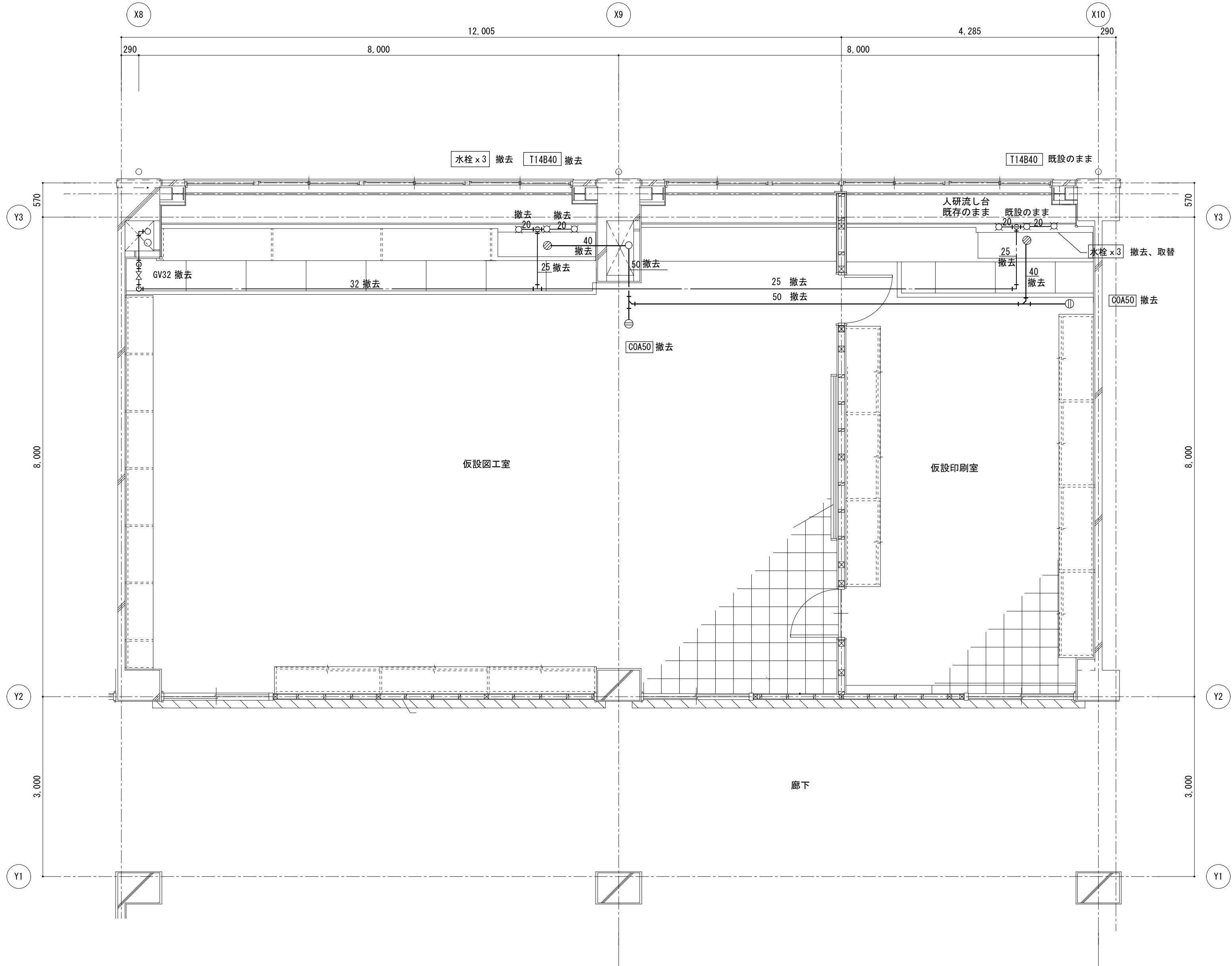
藤川設計株式会社

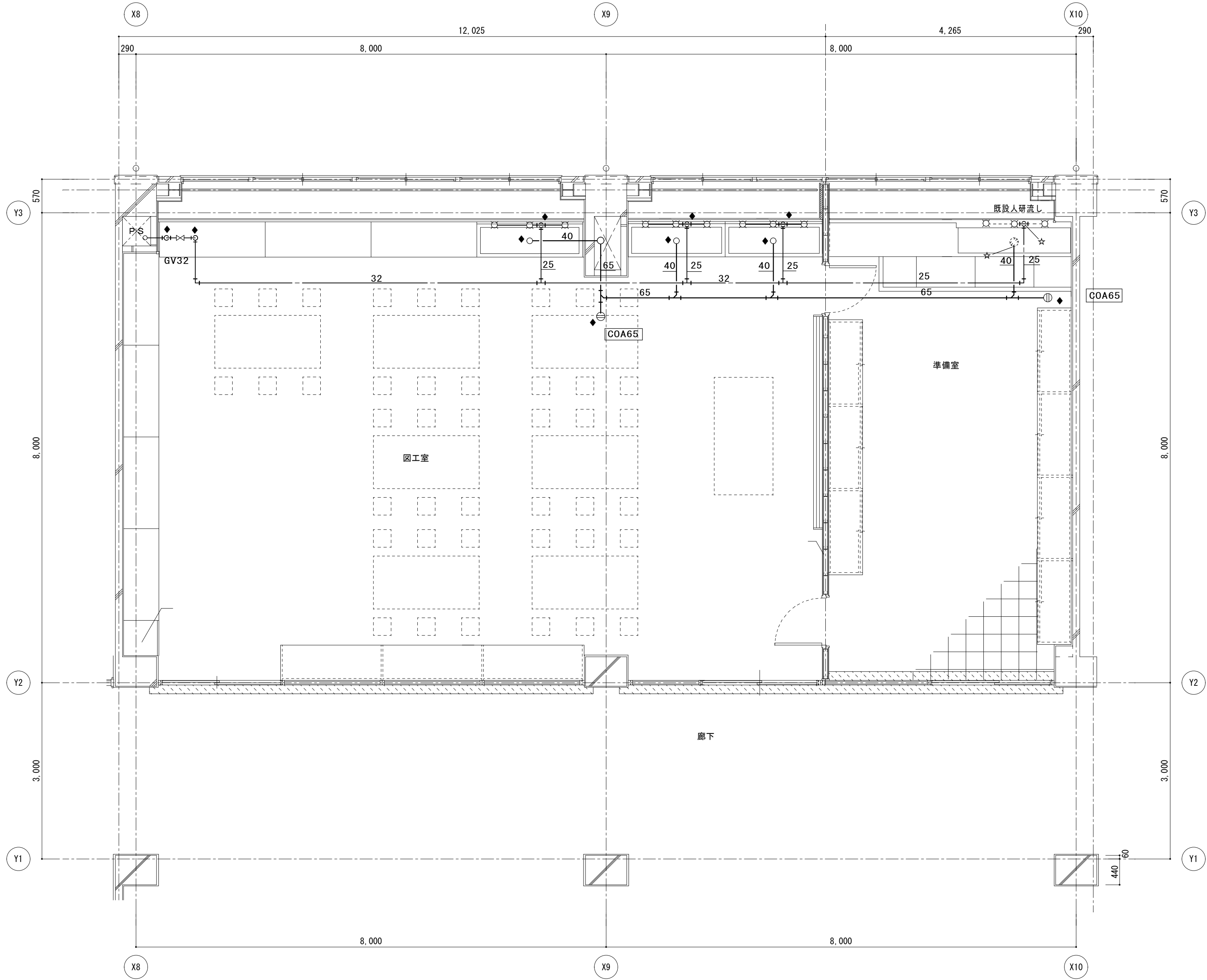
一級建築士登録 222551  
田中 富士夫

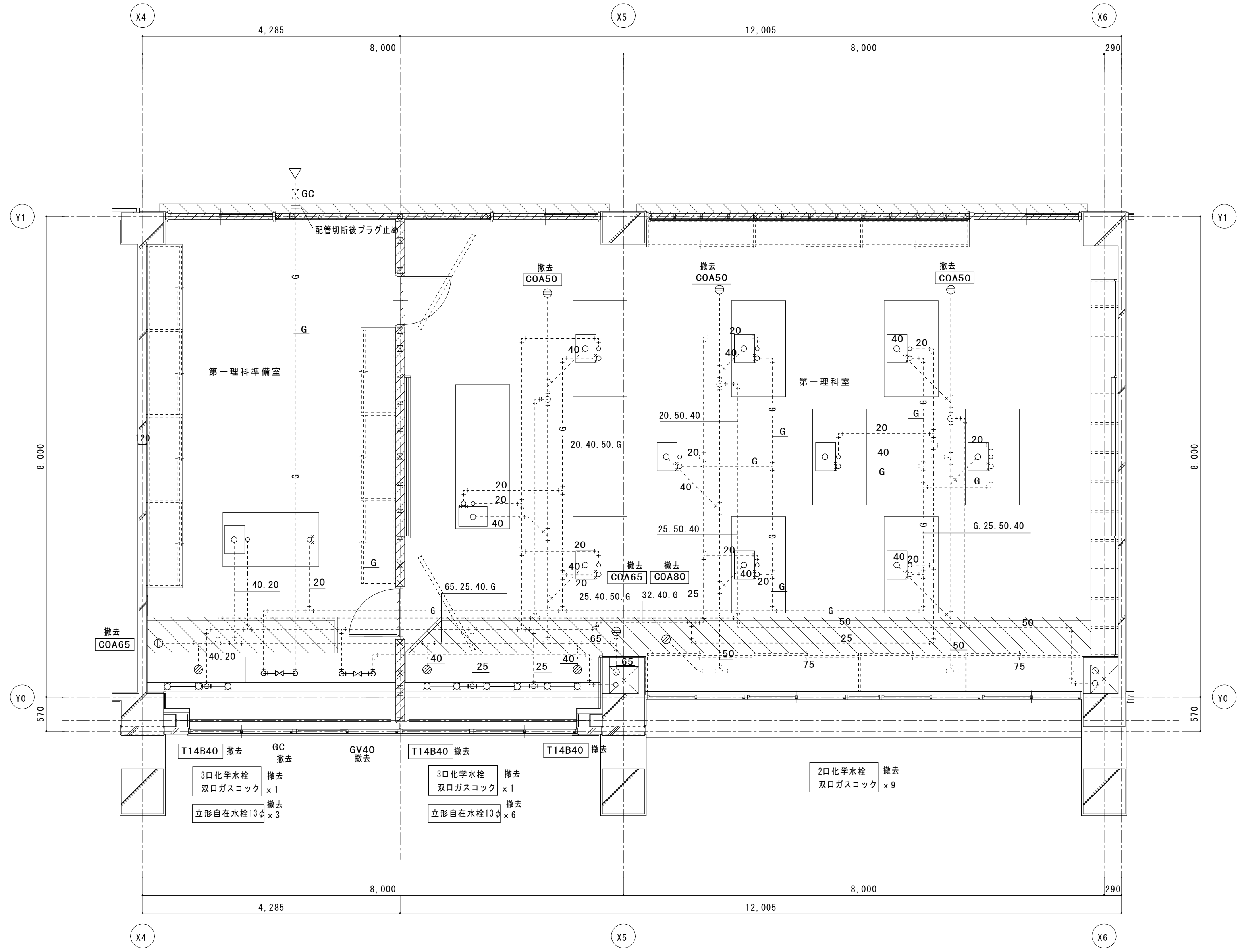
M-09  
原図：A2



凡例	
梁 ◆	梁 コアー抜き、補修
◆	コアー抜き、補修

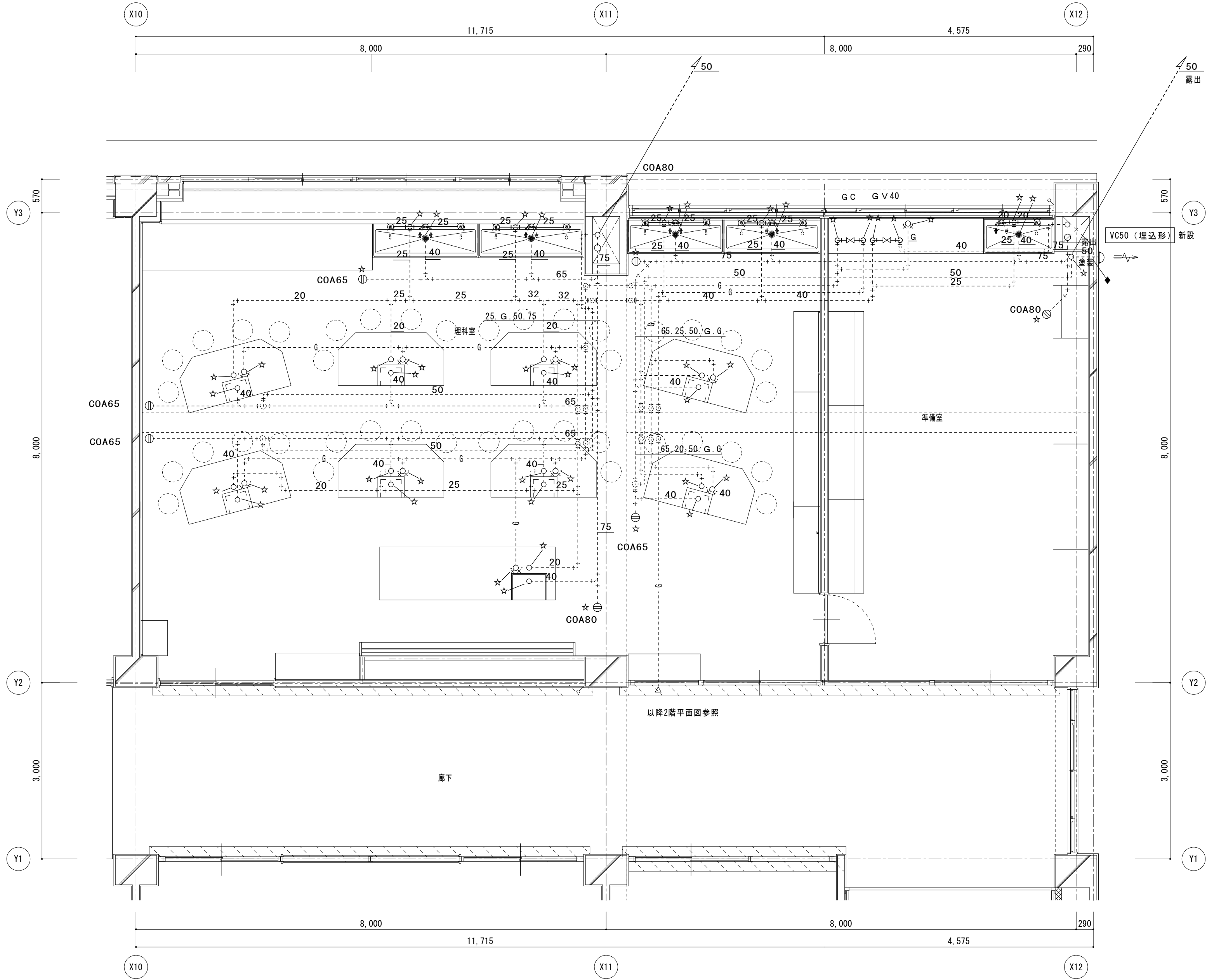






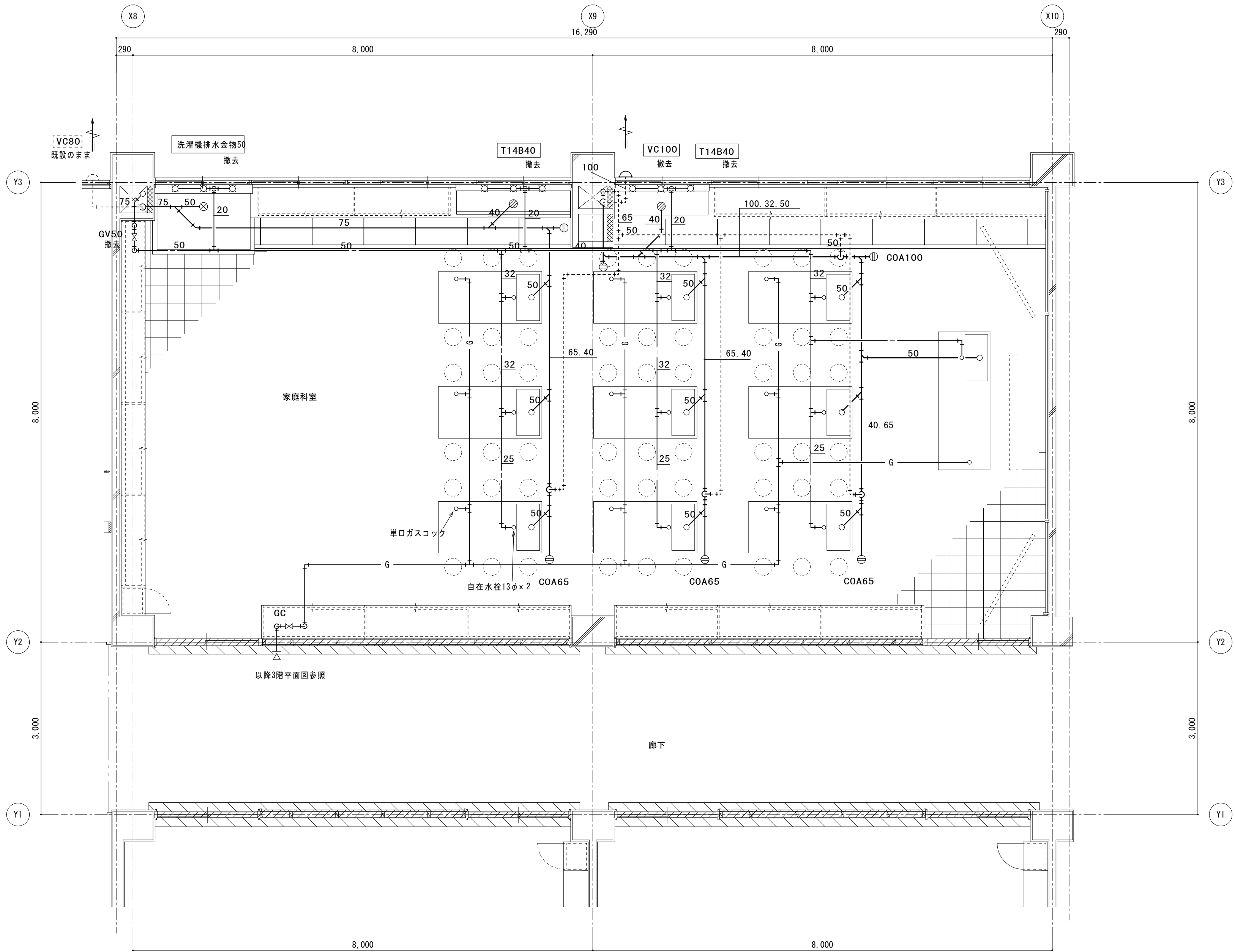
床下（1階天井内）の配管は残置とする  
2階床上配管は撤去、プラグ止め  
撤去後の不要な開口部は、モルタル穴埋めの事





1F天井内より配管、保温、衛生器具取付及び流し台排水トラップまでの接続を行う。

- 実線の配管は新設  
点線の配管は既設
- ☆ 既設管接続
  - ◆ コアー抜き、補修

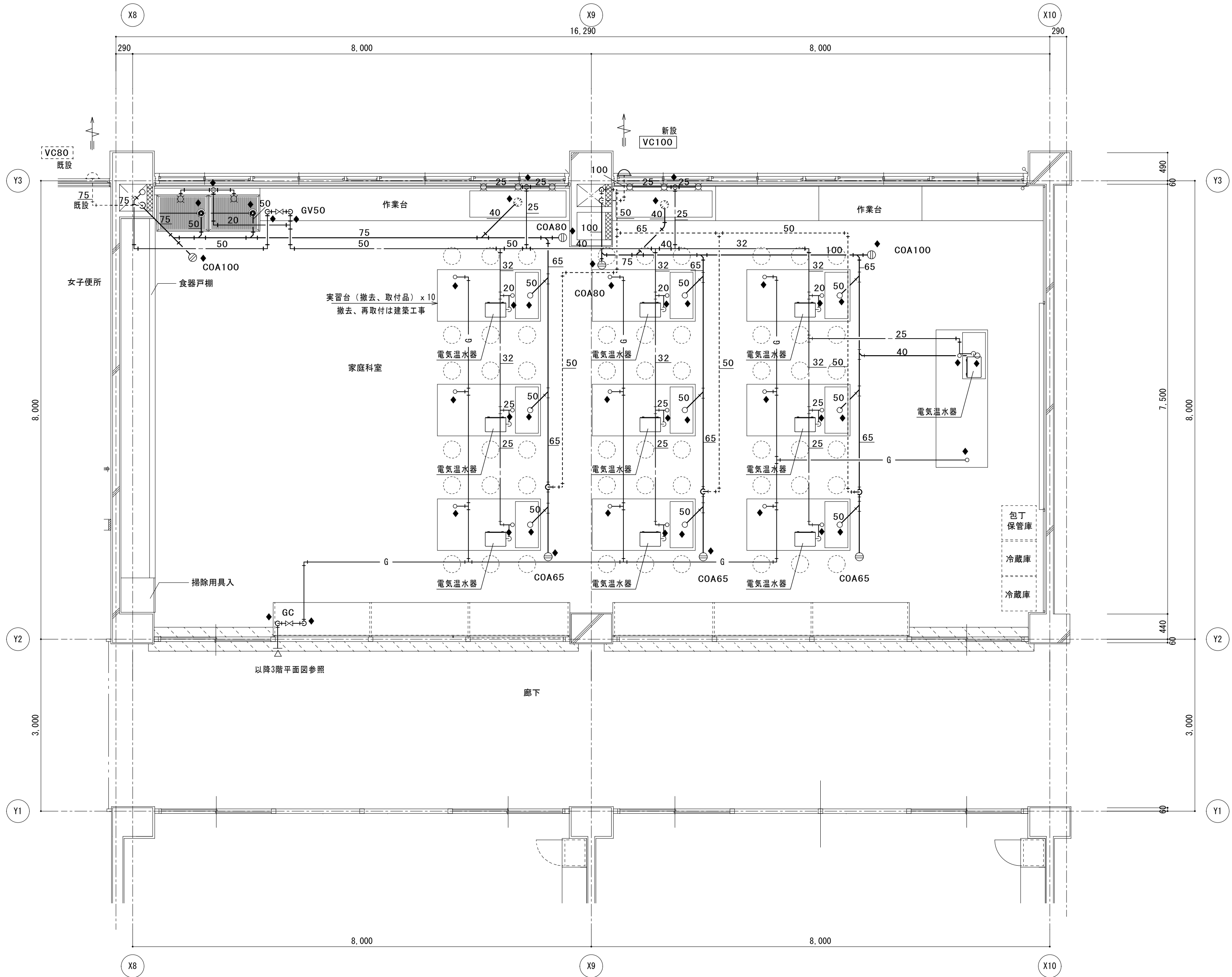


配管はすべて撤去

撤去後の不要な開口部は、モルタル穴埋めの事。

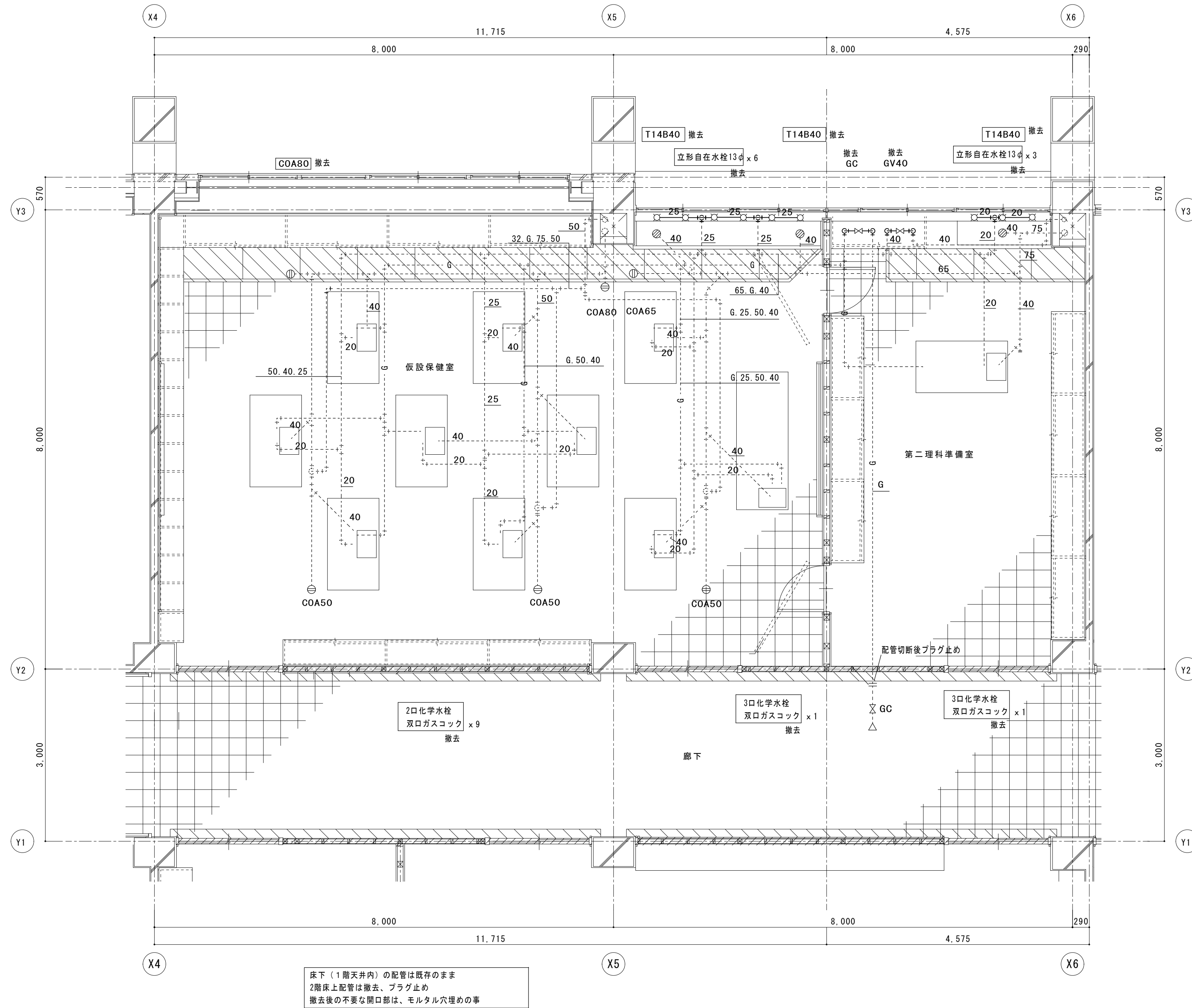
撤去衛生器具表 実習台の撤去は、建築工事

自在水栓13φ	(再使用)	20
立形自在水栓13φ	(撤去、処分)	9
単口ガスコック	(再使用)	10



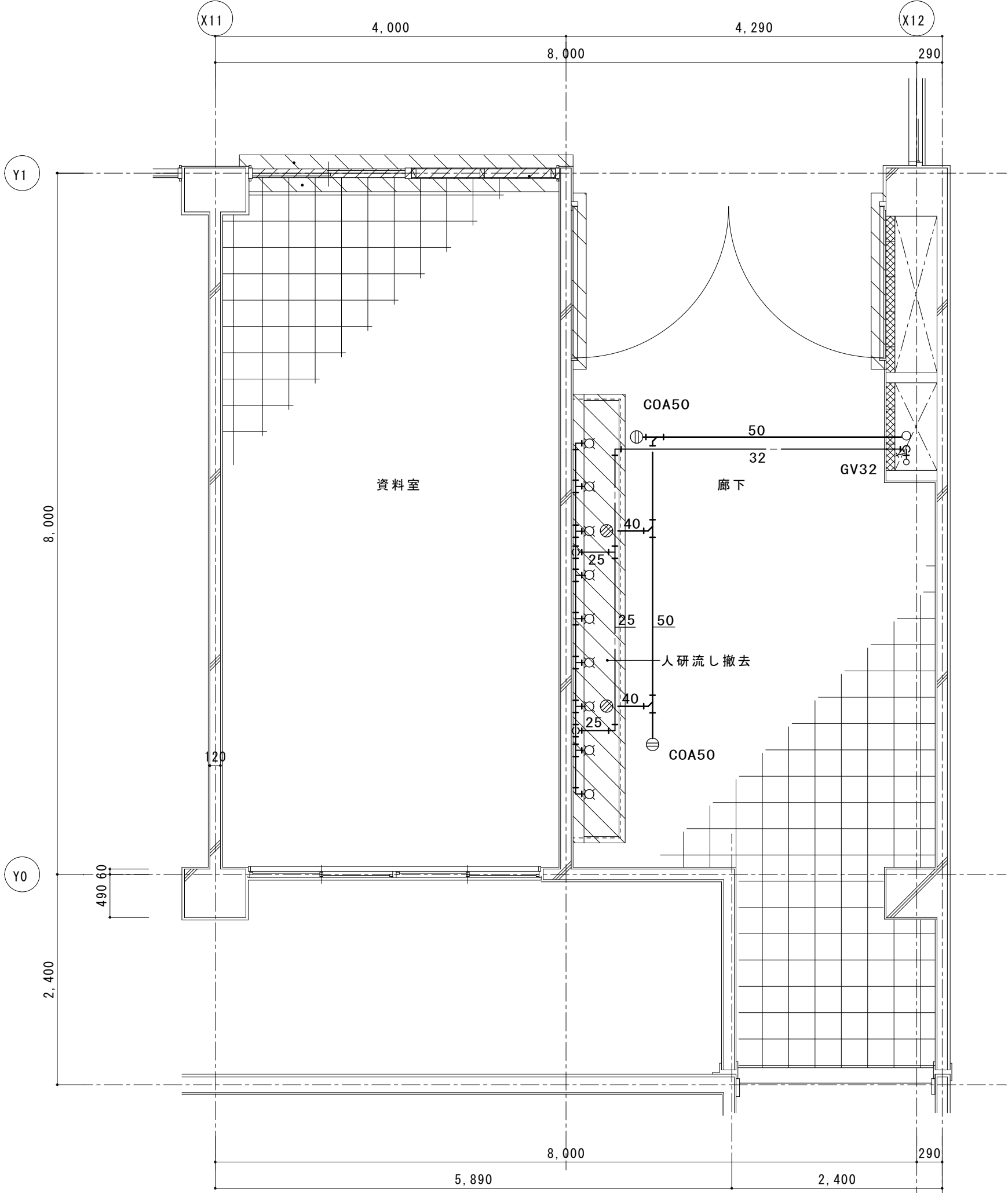
※ 配管はすべて新設

凡例	
◆	コアー抜き、補修



床下（1階天井内）の配管は既存のまま  
2階床上配管は撤去、プラグ止め  
撤去後の不要な開口部は、モルタル穴埋めの事

改修前



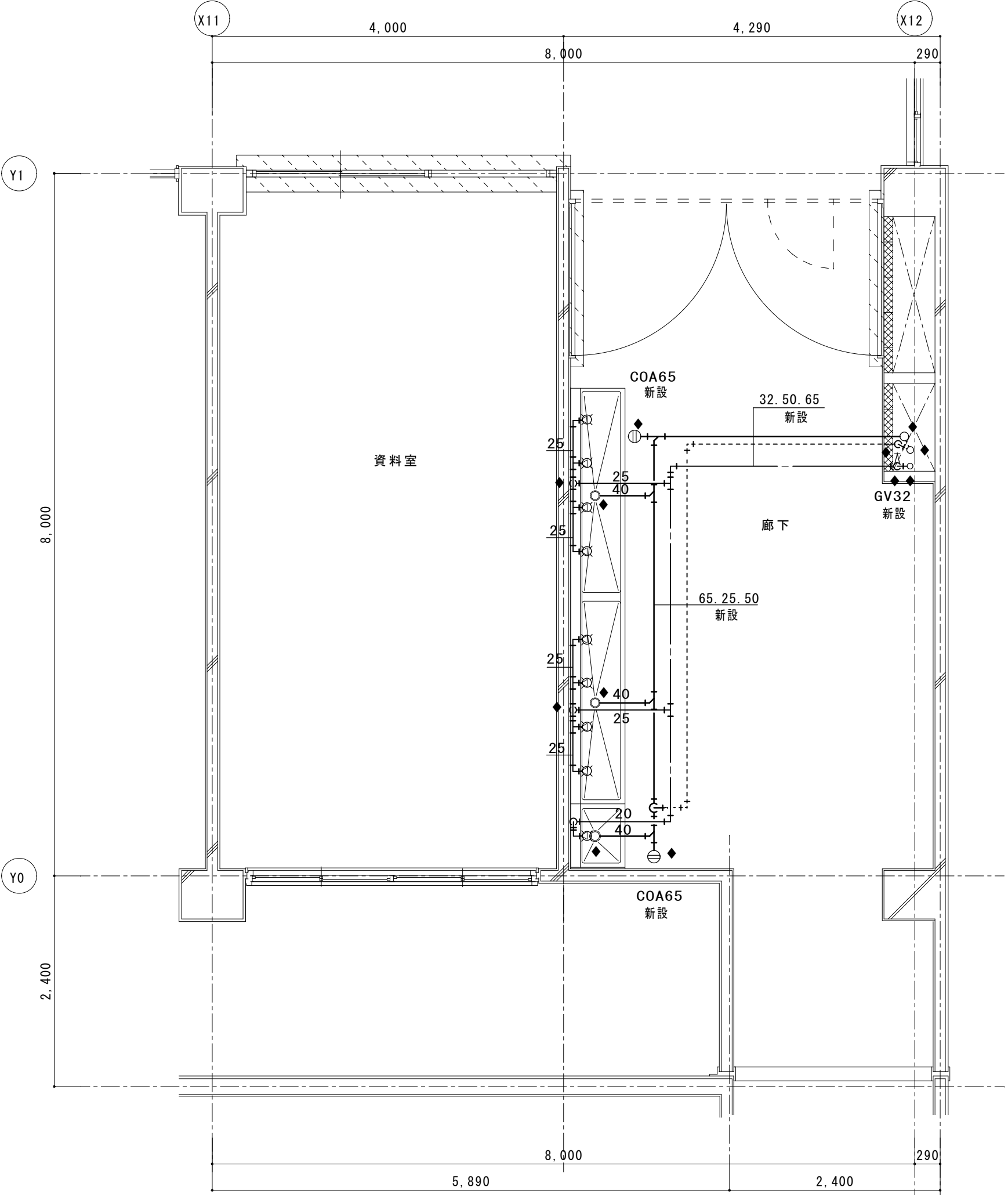
撤去衛生器具表

ホーム水栓13φ	8
化粧鏡 450 × 600	4

撤去後の不要な開口部は、モルタル穴埋めの事。

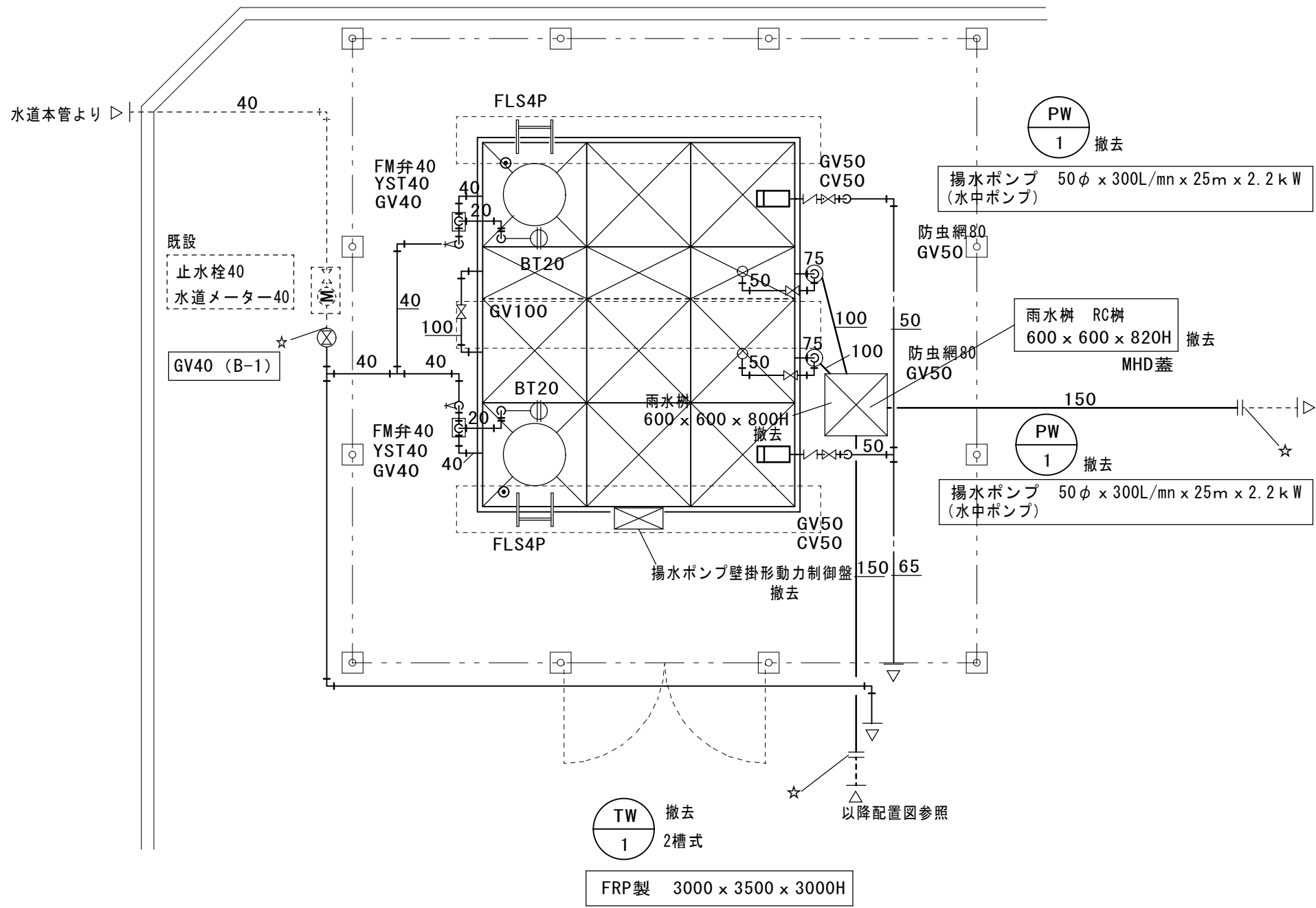
実線の配管は、すべて撤去

改修後



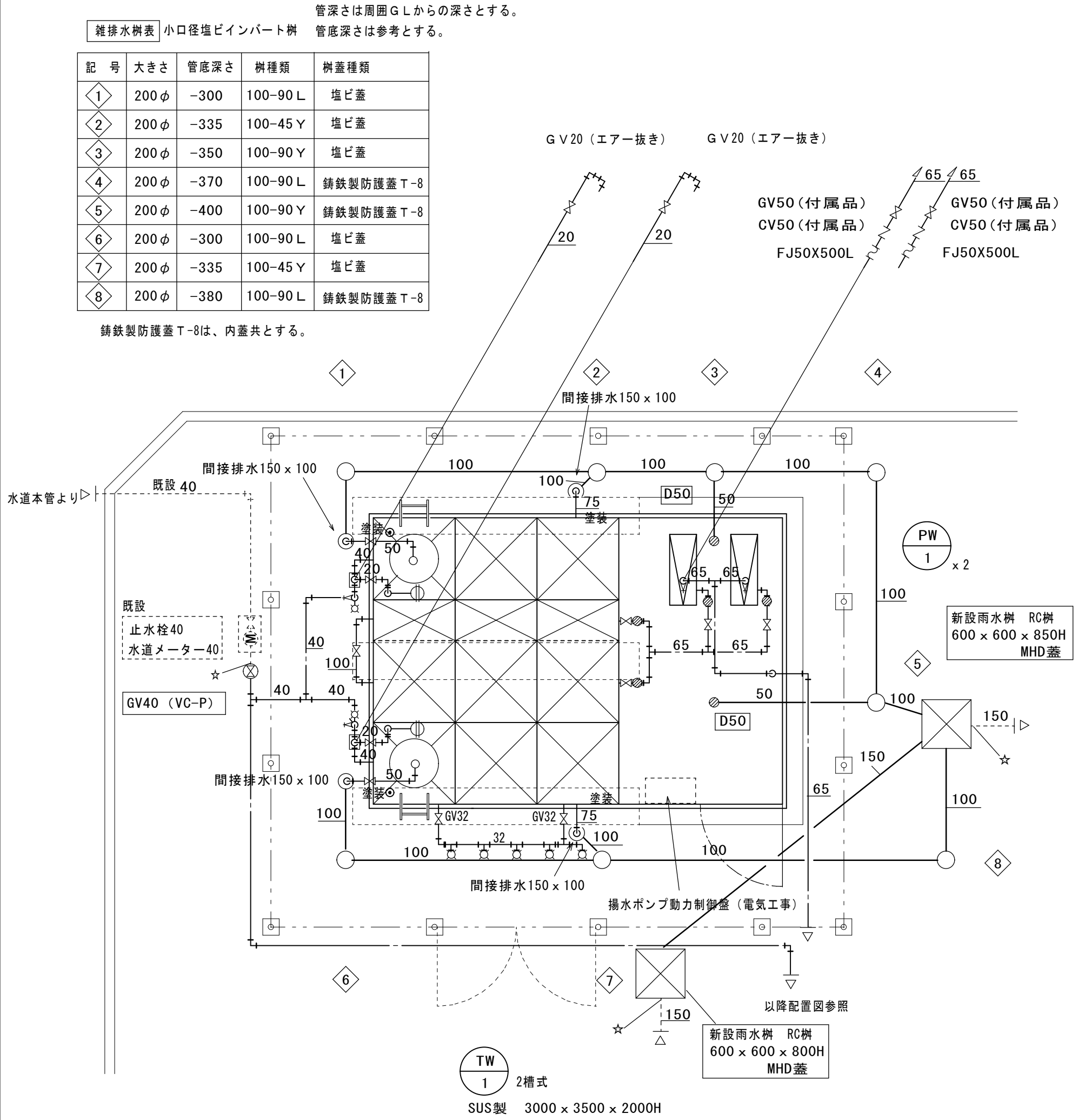
凡例	
◆	コア抜き、補修
実線の配管はすべて新設（通気管は新設）	

改修前



揚水ポンプ制御盤の2次側配線、配管の撤去は、電気工事とする。

改修後



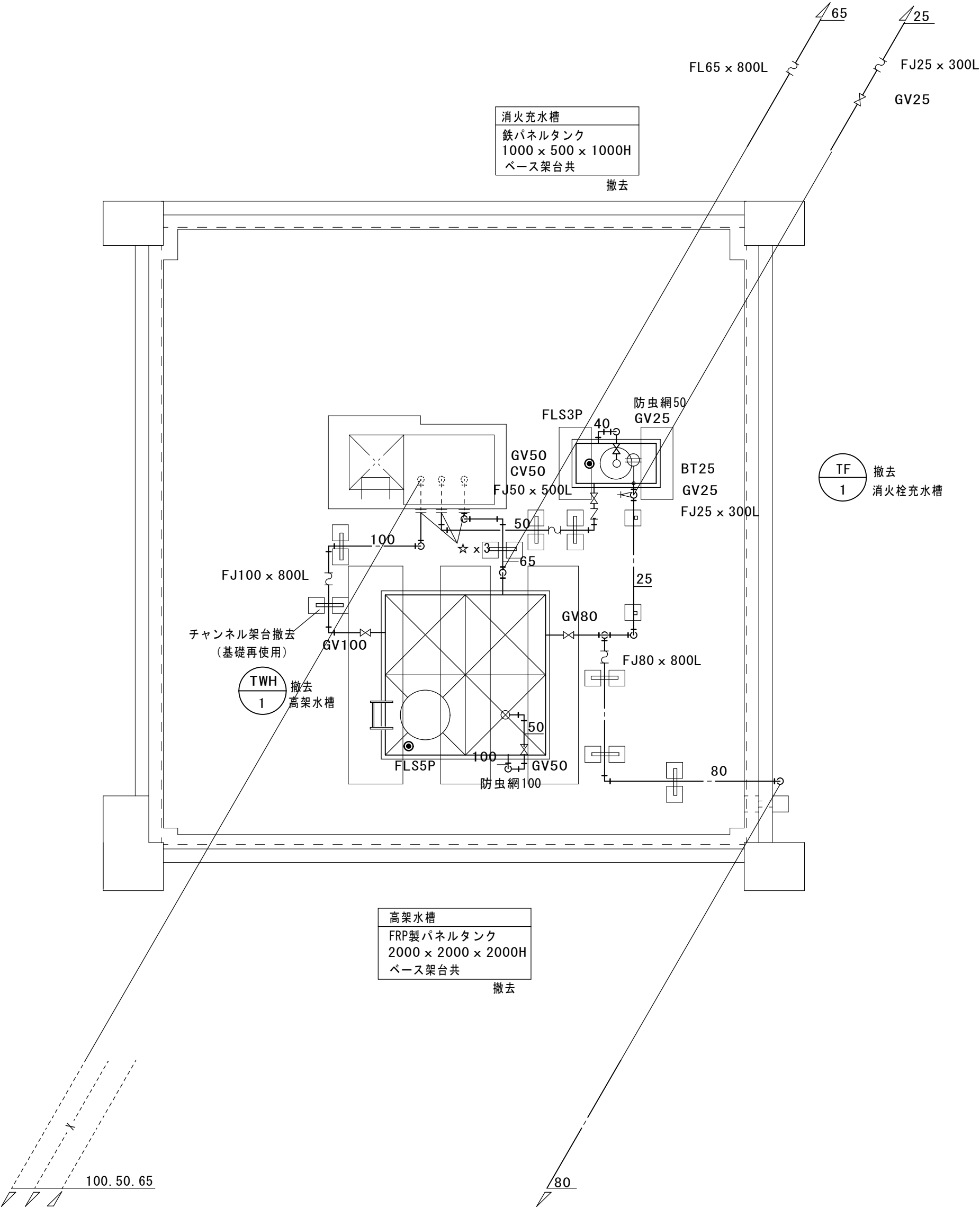
受水槽		
給水管	GV40, 定水位弁40, YST40, BT20, GV20, GV20 (エア-抜き)	2
排水管	GV50, SUS製防虫網50	2
溢れ管	SUS製防虫網80	2
電 極	FLS4P	2
連通管	BFV100	1
ポンプ吸込管	GV65, FJ65 (合成ゴム)	2
ホーム水栓		7

揚水ポンプ		
吸込管	GV65, FJ65 (合成ゴム)	2
吐 出 管	ポンプ付属品 GV50, CV50, PG	(2)
	FJ50 × 500L	2

ポンプ附属品の弁類は、ナイロンコーティング製

☆ 既設管切断接続箇所

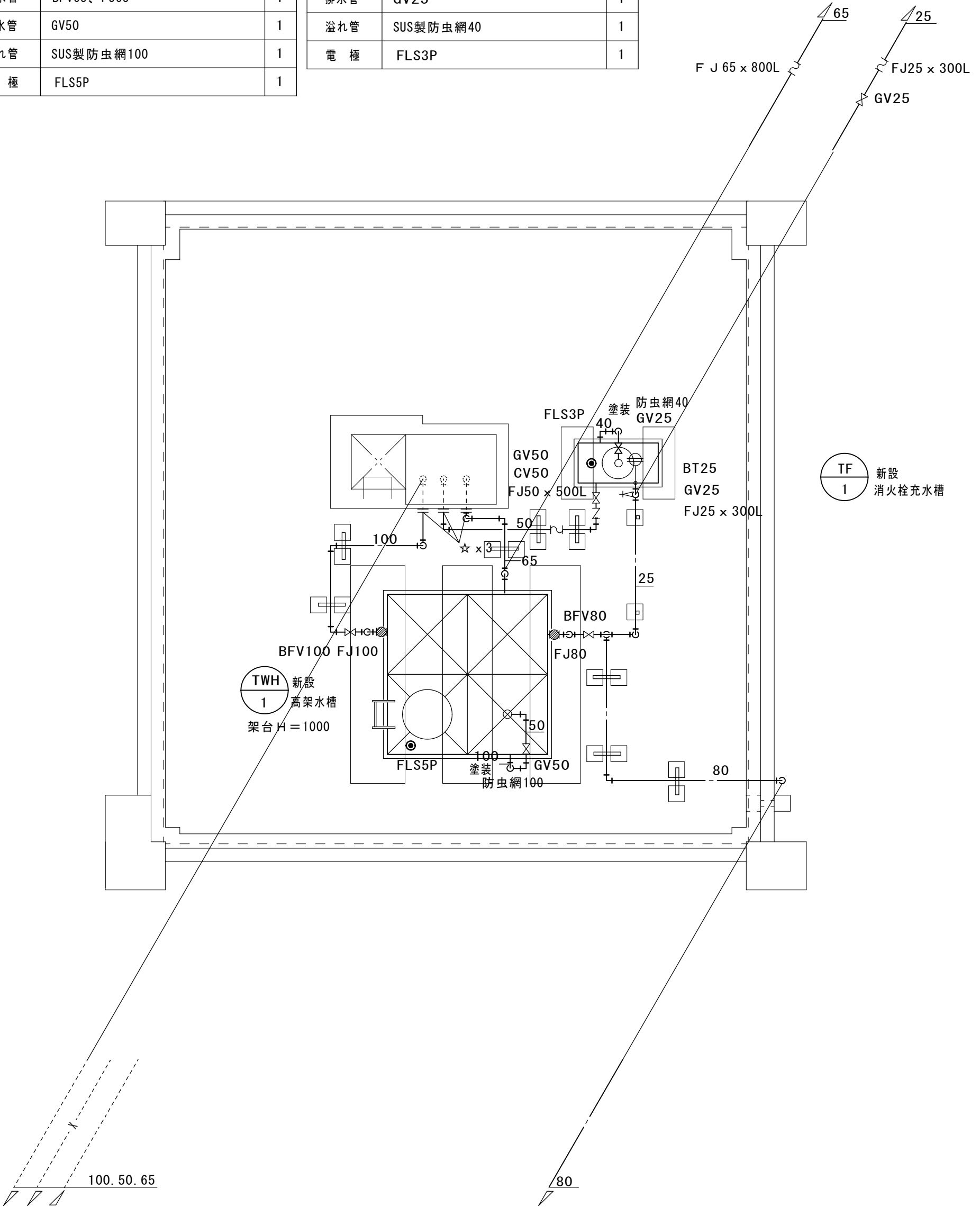
改修前



改修後

高架水槽		
揚水管	FJ65 × 800L	1
給水管	BFV100、FJ100	1
給水管	BFV65、FJ65	1
排水管	GV50	1
溢れ管	SUS製防虫網100	1
電 極	FLS5P	1

消火栓充水槽		
給水管	GV25、BT25、FJ25 × 300L	1
消火管	GV50、CV50、FJ50 × 500L	1
排水管	GV25	1
溢れ管	SUS製防虫網40	1
電 極	FLS3P	1



実線の機器、配管、支持金物は、すべて撤去とする。

機器、配管、支持金物はすべて新設とする。

☆ 既設管接続

記 号	機 器 名	機 器 仕 様	電 源 容 量			台 数	設 置 場 所	備 考
			φ	V	エンジン k W			
<div><div>GAC</div><div>2</div></div>	ガスヒートポンプ式	形式            都市ガス13A仕様            屋外機	3	200	7.9	1	R階   屋根	
	ビル用マルチエアコン	冷房能力            35.5            kW	消費	冷房	0.65			
		暖房能力            40.0            kW	電力	暖房	0.45			
		付属品            溶融垂鉛メッキ防振架台、ON・OFF集中コントローラー						
		遠隔監視アダプター						
<div><div>GAC</div><div>2-1</div></div>	ガスヒートポンプ式	形式            屋内機            天吊形	1	200	0.08（FAN）	3	2階   図書室	
	ビル用マルチエアコン	冷房能力            11.2            kW	消費	冷房	0.72			
		暖房能力            12.5            kW	電力	暖房	0.72			
		付属品            ワイヤレスリモコン、他一式共						
<div><div>AC</div><div>1</div></div>	ヒートポンプ式エアコン	形式            天吊形	3	200	2.5（COMP）	1	3階   普通教室	校内指定場所より再取付
	（EHP）	冷房能力（定格）   12.4 kW	消費	冷房	4.90			
	既設品	暖房能力（定格）   14.0 kW	電力	暖房	3.91			
		付属品            ワイヤレスリモコン、他一式共						
<div><div>AC</div><div>2</div></div>	ヒートポンプ式エアコン	形式            天吊形            同時ツイン	3	200	4.7（COMP）	1	3階   コンピュータ室	校内指定場所より再取付
	（EHP）	冷房能力（定格）   20.0 kW	消費	冷房				
	既設品	暖房能力（定格）   22.0 kW	電力	暖房				
		付属品            ワイヤレスリモコン、他一式共						
<div><div>AC</div><div>3</div></div>	ヒートポンプ式エアコン	形式            天井カセット形四方向吹出（同時ツイン）	3	200	2.8（COMP）	2	2階   仮設職員室	撤去、処分
	（EHP）	冷房能力（定格）   12.5 kW	消費	冷房	3.85			
	既設品	暖房能力（定格）   14.0 kW	電力	暖房				
		付属品            ワイヤレスリモコン、他一式共						
<div><div>AC</div><div>7</div></div>	ヒートポンプ式エアコン	形式            天吊形            同時ツイン	3	200	2.8（COMP）	3	3階   普通教室	1組   撤去、処分
	（EHP）	冷房能力（定格）   12.5 kW	消費	冷房	4.55			2組   取外し再取付（室外機そのまま）
	既設品	暖房能力（定格）   14.0 kW	電力	暖房	4.20			
		付属品            ワイヤレスリモコン、他一式共						
特記事項	<p>運転特性、能力はJIS条件による。電源容量値は参考とする。</p> <p>空調機トップランナー基準改定仕様とする。冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。</p> <p>室外機－室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。</p> <p>リモコン配線共本工事とする。</p> <p>室外機はSUS製ボルトにて固定、Wナットにて締付けの事。   アンカーはケミカルアンカー仕様。</p> <p>機器は同等品以上とする。室外機は防振ゴムシート（t＝10以上）を敷くこと。</p> <p>機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。    但し該当しない機器については製造者標準仕様による。</p>							



Architectural floor plan of a building before renovation. The plan shows a long, rectangular building with various rooms and dimensions.

**Dimensions:**

- Overall width: 86,000
- Overall height: 19,000
- Room widths (from left to right): 7,200, 6,000, 8,000, 8,000, 8,000, 8,000, 8,000, 8,000, 8,000, 8,000, 8,000, 2,700, 1,250.
- Room heights (from top to bottom): 570, 8,000, 3,000, 8,000, 2,400, 570.

**Rooms and Features:**

- Kitchen (キッチン)
- Warehouse 1 (倉庫 1)
- Warehouse 2 (倉庫 2)
- Warehouse 3 (倉庫 3)
- Warehouse 4 (倉庫 4)
- Warehouse 5 (倉庫 5)
- Warehouse 6 (倉庫 6)
- Staff Room (職員室)
- Staff Changing Room (職員更衣室)
- Printing Room (印刷室)
- Boiler Room (ボイラールーム)
- Multi-purpose Toilet (多目的トイレ)
- Men's Toilet (男子トイレ)
- Women's Toilet (女子トイレ)
- Washing Room (洗面)
- Shower Room (湯沸室)
- Staff Entrance (職員玄関)
- Entrance Hall (玄関ホール)
- Corridor (廊下)
- Small Conference Room 1 (小会議室 1)
- Small Conference Room 2 (小会議室 2)
- Workshop (作業室)
- PTA Room (PTA 室)
- Large Conference Room (大会議室)
- Director's Office (校長室)
- Broadcasting Room (放送室)
- Measurement Equipment Room (測定器置場)
- Changing Room (脱衣室)
- Health Room (保健室)
- Staircase (昇降口)
- Staircase (UP)
- Staircase (スロープ)
- Staircase (屋外階段)
- Foot Washing (足洗)
- Hand Washing (手洗)
- AC 3 (Air Conditioning Unit 3)
- AC 3 (Air Conditioning Unit 3)
- EV (Electric Vehicle)
- Ordinary Classroom Building (普通教室棟)

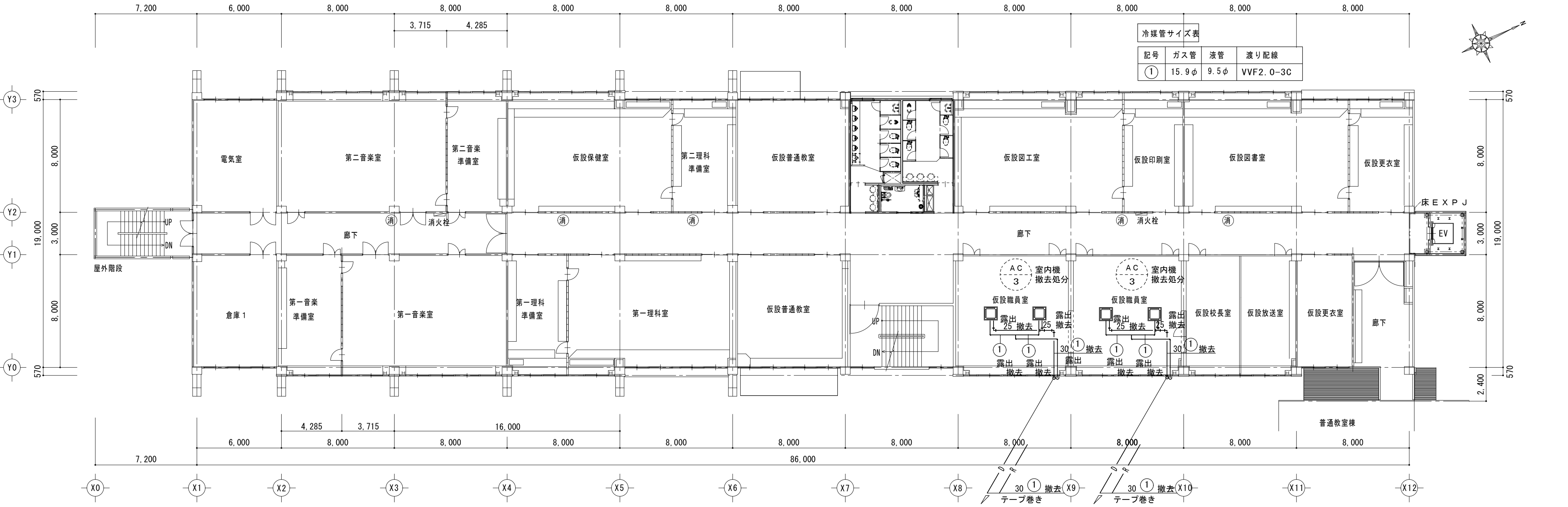
**Legend:**

- 工事範囲外を示す (Indicates outside the work scope)

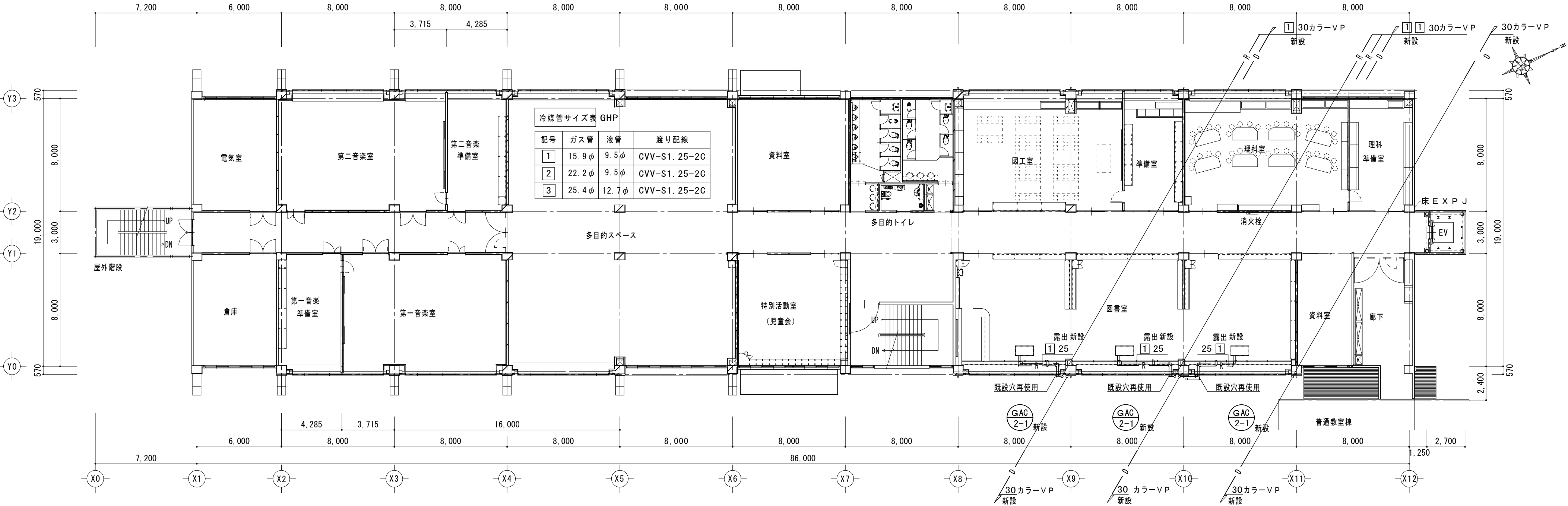
Architectural floor plan of the second floor (2F) of a school building. The plan shows a long, rectangular building with various rooms and corridors. The dimensions are as follows:

- Overall Dimensions:**
  - Width: 86,000 (Total) and 8,000 (Per Section)
  - Depth: 19,000 (Total) and 8,000 (Per Section)
- Rooms and Features:**
  - Kitchen (キッチン)
  - Storage Rooms (倉庫 1, 倉庫 2, 倉庫 3, 倉庫 4, 倉庫 5, 倉庫 6)
  - Staff Rooms (職員更衣室, 職員室)
  - Printing Room (印刷室)
  - Bathrooms (男子便所, 女子便所)
  - Shower Room (湯沸室)
  - Multi-purpose Toilet (多目的トイレ)
  - Large Conference Room (大会議室)
  - PTA Room (PTA室)
  - Small Conference Rooms (小会議室 1, 小会議室 2)
  - Workshop (作業室)
  - Director's Office (校長室)
  - Broadcasting Room (放送室)
  - Measurement Equipment Room (測定器置場)
  - Changing Room (脱衣室)
  - Health Room (保健室)
  - Entrance Hall (玄関ホール ±0)
  - Staircase (昇降口)
  - Corridors (廊下)
  - Restrooms (洗面)
  - EV (Electric Vehicle) charging area
  - Rainwater Harvesting (雨水樹)
- Other Features:**
  - Roof Terrace (屋外階段)
  - Handwashing (足洗 手洗)
  - Staircase (スロープ)
  - North Arrow

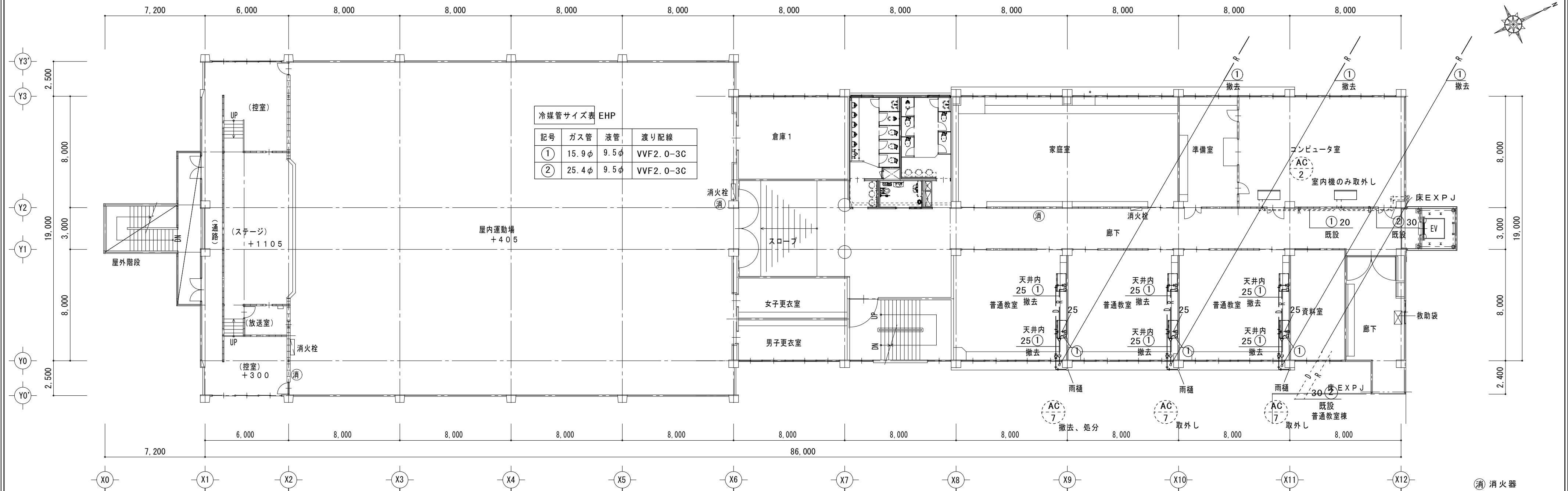
改修前



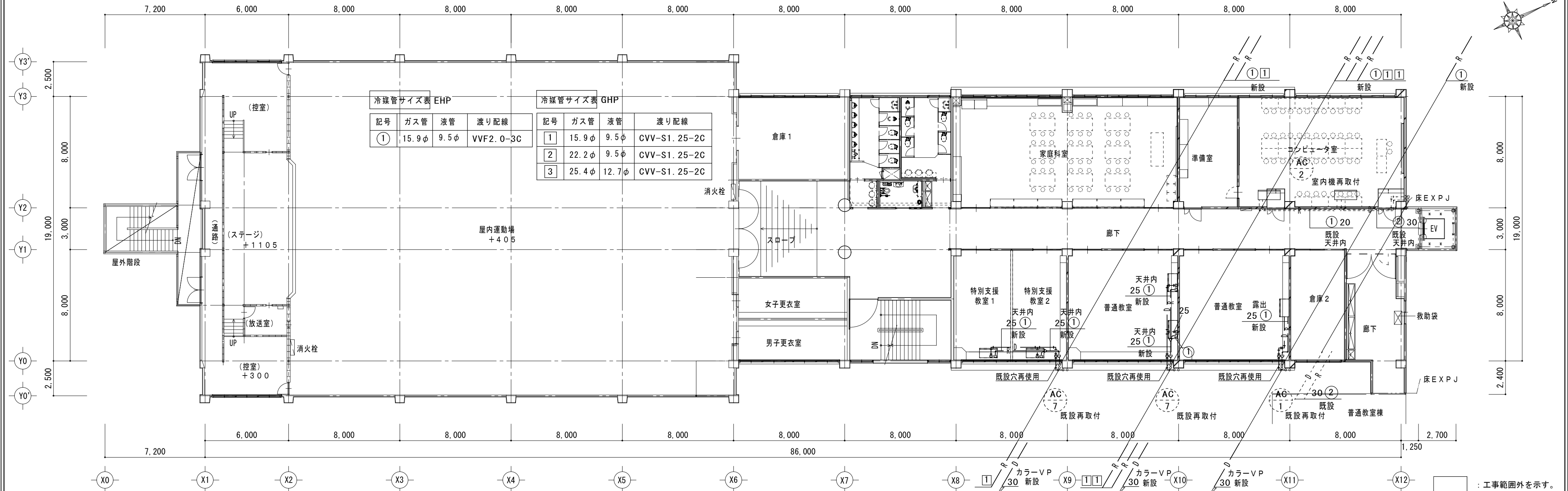
改修後



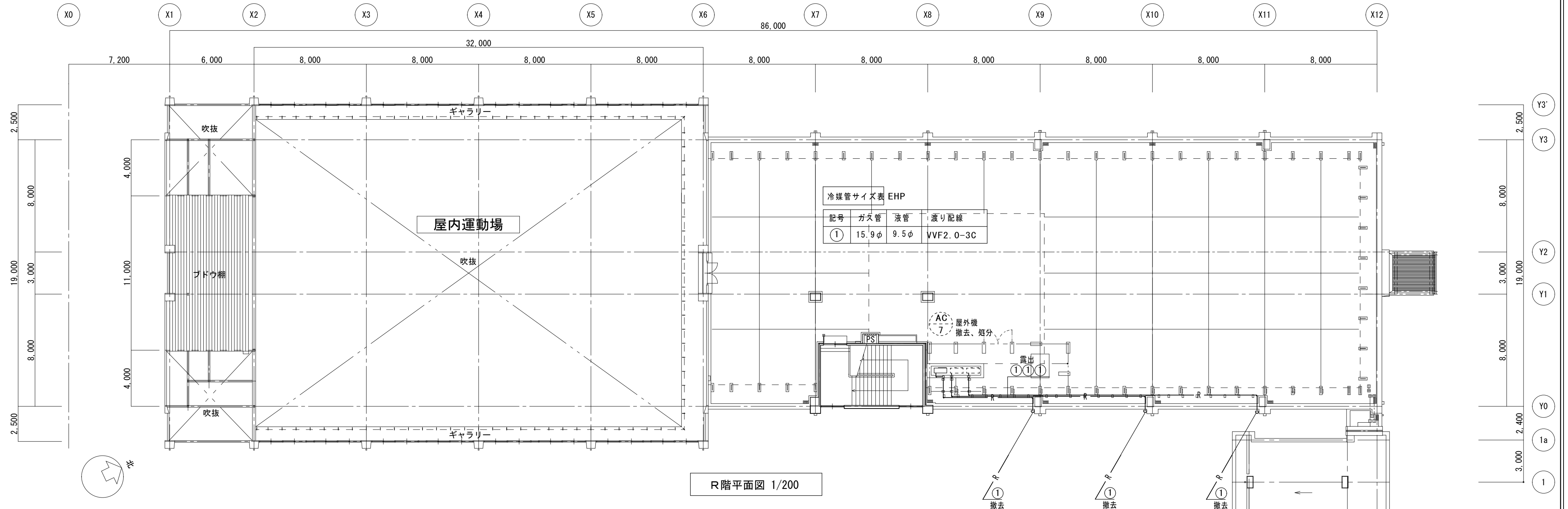
改修前



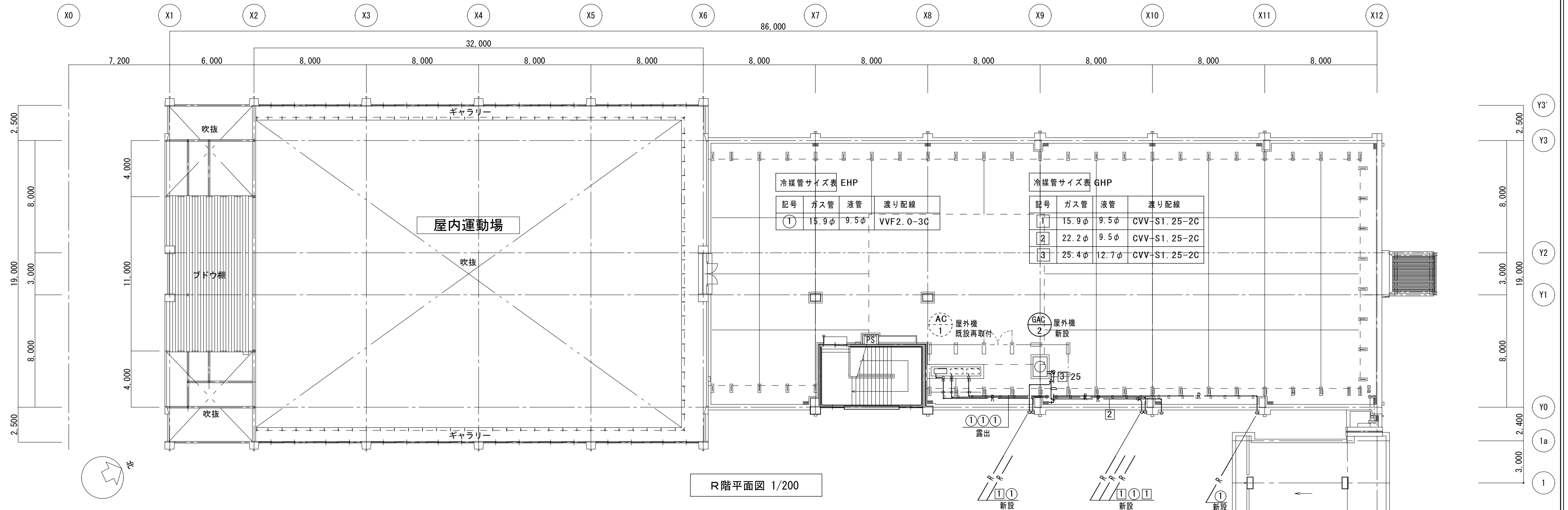
改修後

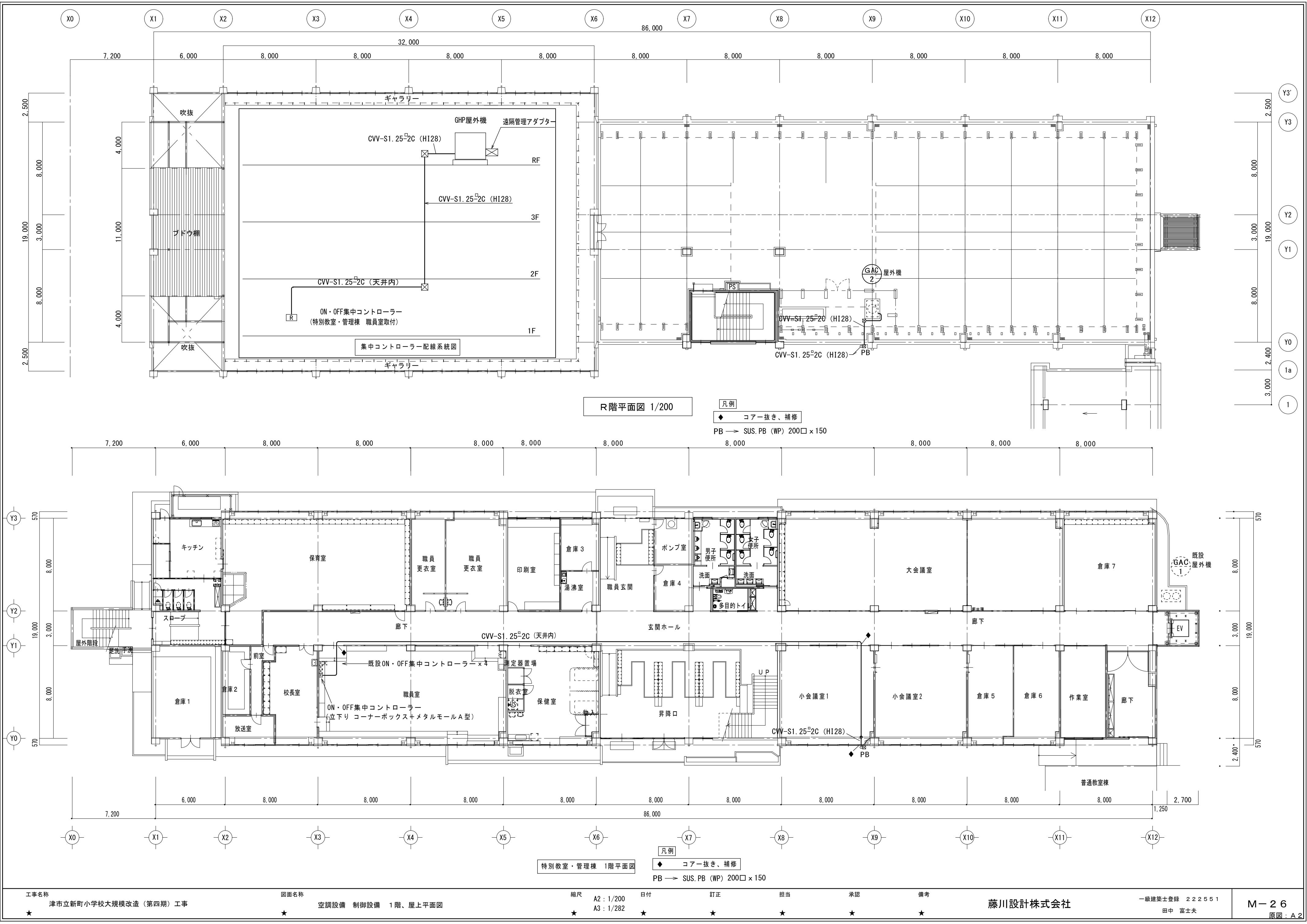


改修前



## 改修後

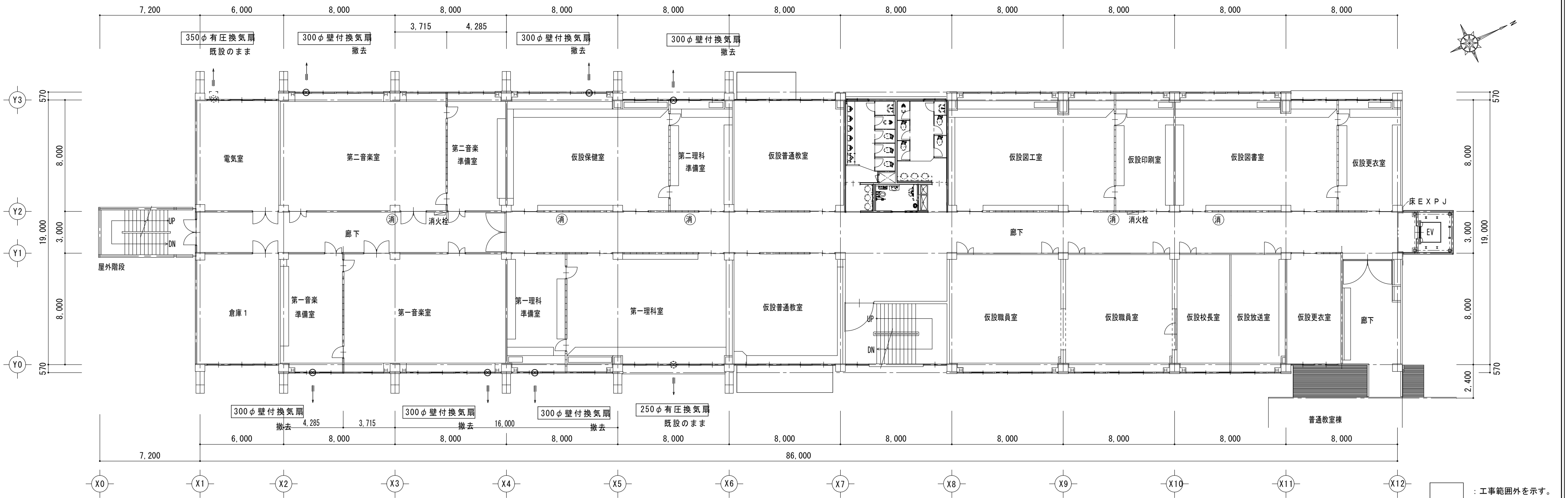




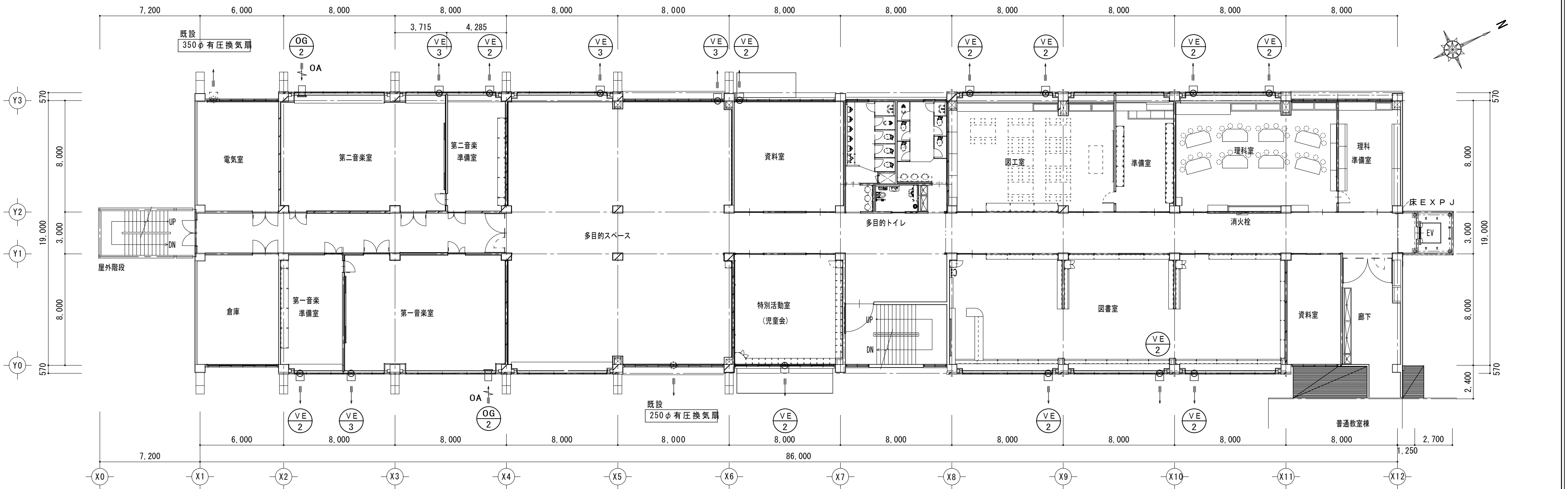
換 気 機 器 表

機器番号	機器名称 参考型番	形 式 ・ 仕 様	電 気 容 量	台数	設置場所・備考
			電 源 (V)		
			電動機 (W)		
<div>VE 1</div>	壁付換気扇	形 式      格子タイプ・電気シャッター式 窓枠取付形	1 φ－1 0 0	2	3階   各室      （図示ヶ所）
	EX-20SC3-S	風 量      200 φ   ×   6 0 6 m3／h	3 8 . 0		
		付属品      S U S ウェザーカバー、他一式共			
<div>VE 2</div>	壁付換気扇	形 式      格子タイプ・電気シャッター式 窓枠取付形	1 φ－1 0 0	18	2.3階   各室      （図示ヶ所）
	EX-30SC3-S	風 量      300 φ   ×   6 0 0 m3／h（ウェザーカバー取付時有効換気量）	3 8 . 0		
		付属品      S U S ウェザーカバー、他一式共			
<div>VE 3</div>	壁付換気扇	形 式      格子タイプ・電気シャッター式 窓枠取付形	1 φ－1 0 0	4	2.3階   各室      （図示ヶ所）
	EX-30SC3-S	風 量      300 φ   ×   8 0 0 m3／h（ウェザーカバー取付時有効換気量）	3 8 . 0		
		付属品      格子タイプ・電気シャッター式 窓枠取付形			
<div>OG 2</div>	外気取入口	形 式      VHS    300 × 300（F付）		2	第二音楽室、第一音楽室
		付属品      300 φ 用 S U S ウェザーカバー（S U S 防虫網付）、不燃木枠			
<div>S 1</div>	壁掛け扇風機	形 式      引きひもタイプ	1 φ－1 0 0	2	3階特別教室支援教室
	K30-YQ		3 1 . 0		

改修前



改修後



工事名称  
津市立新町小学校大規模改造（第四期）工事  
★

図面名称  
換気設備 2階平面図  
★

縮尺 A2 : 1/200  
★ A3 : 1/282

日付

★

訂正

★

担当

★

承認

★

備考

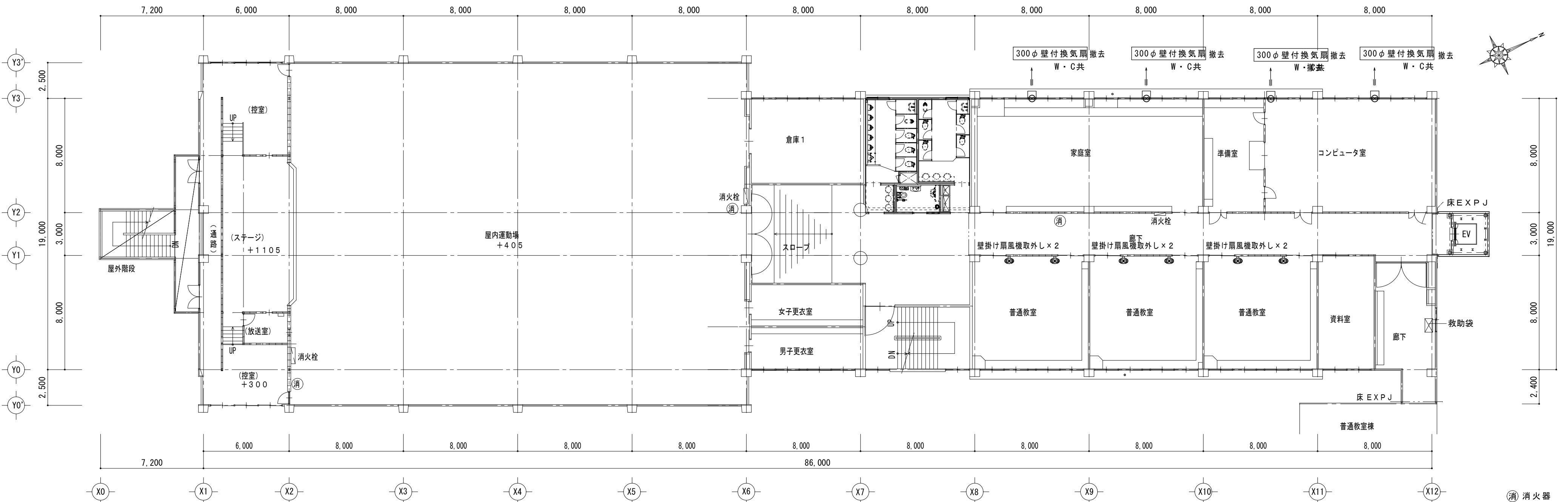
★

藤川設計株式会社

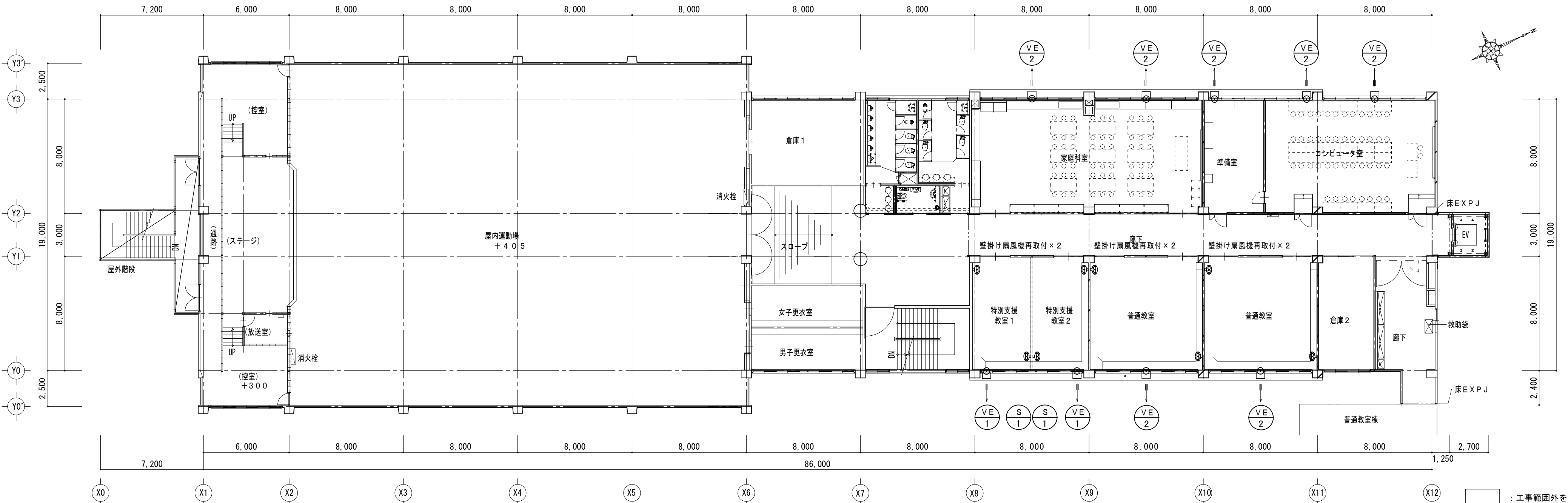
一級建築士登録 222551  
田中 富士夫

1-28  
原图: A2

改修前



改修後



工事範囲外を示す。

工事名称  
津市立新町小学校大規模改造（第四期）工事

図面名称  
換気設備 3階平面図

縮尺 A2 : 1/200  
★ A3 : 1/282

日付

訂正

担当

承認

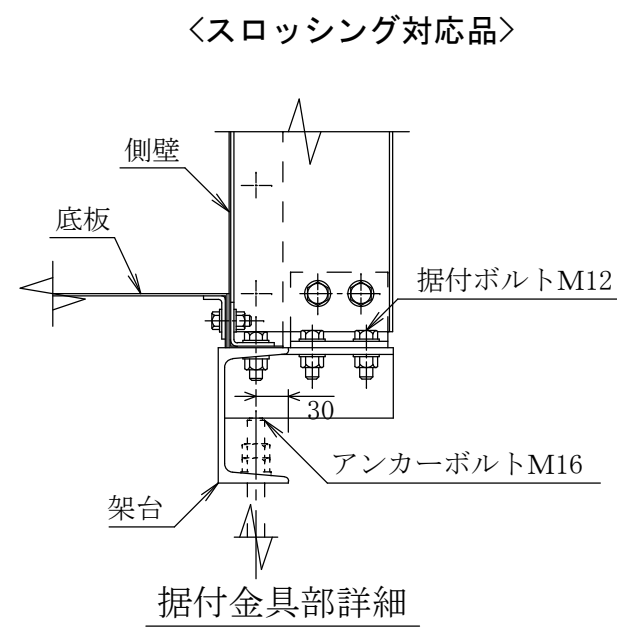
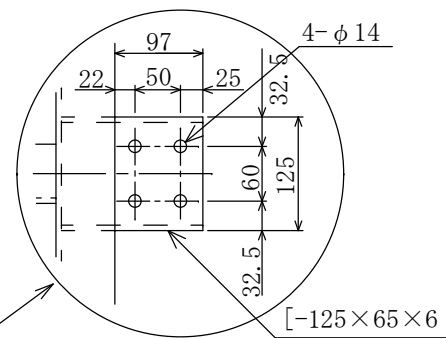
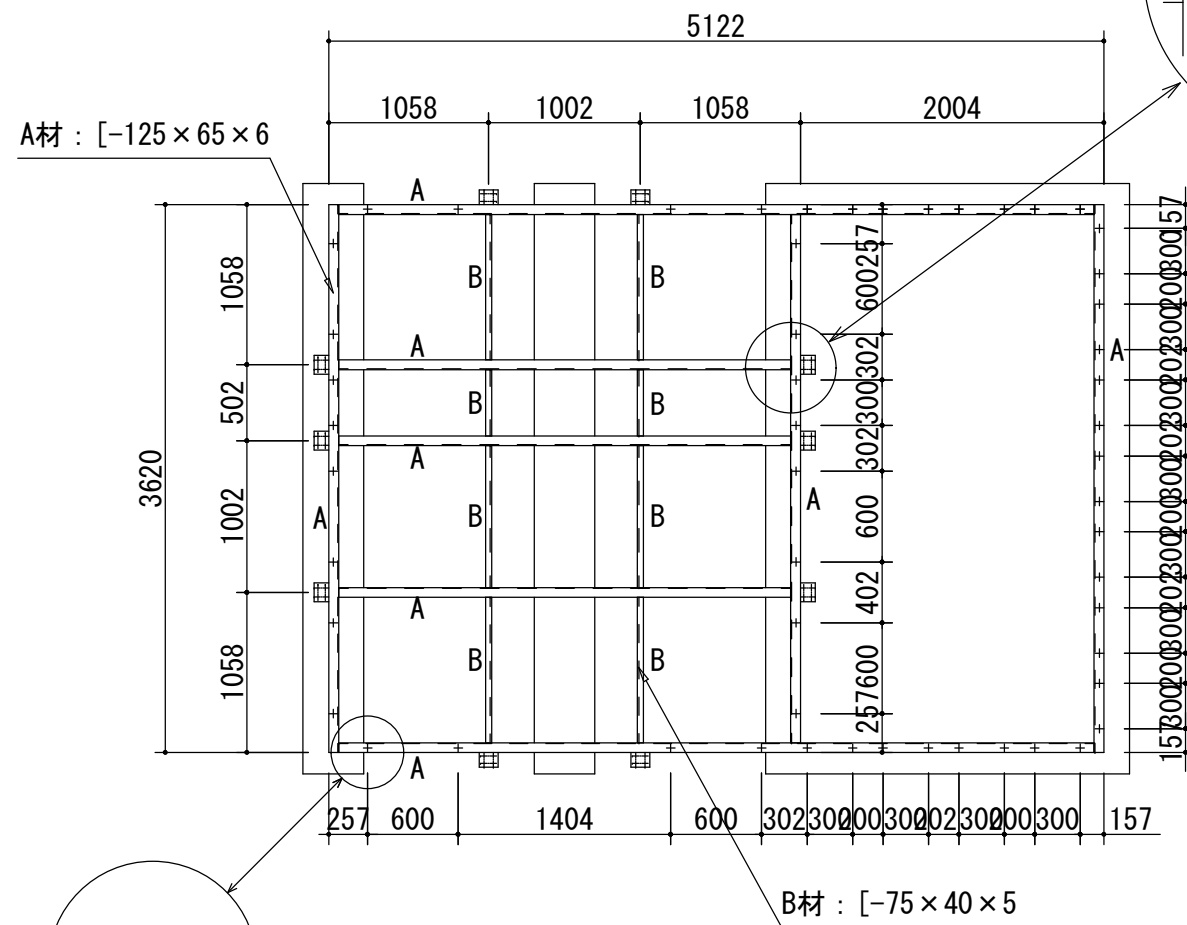
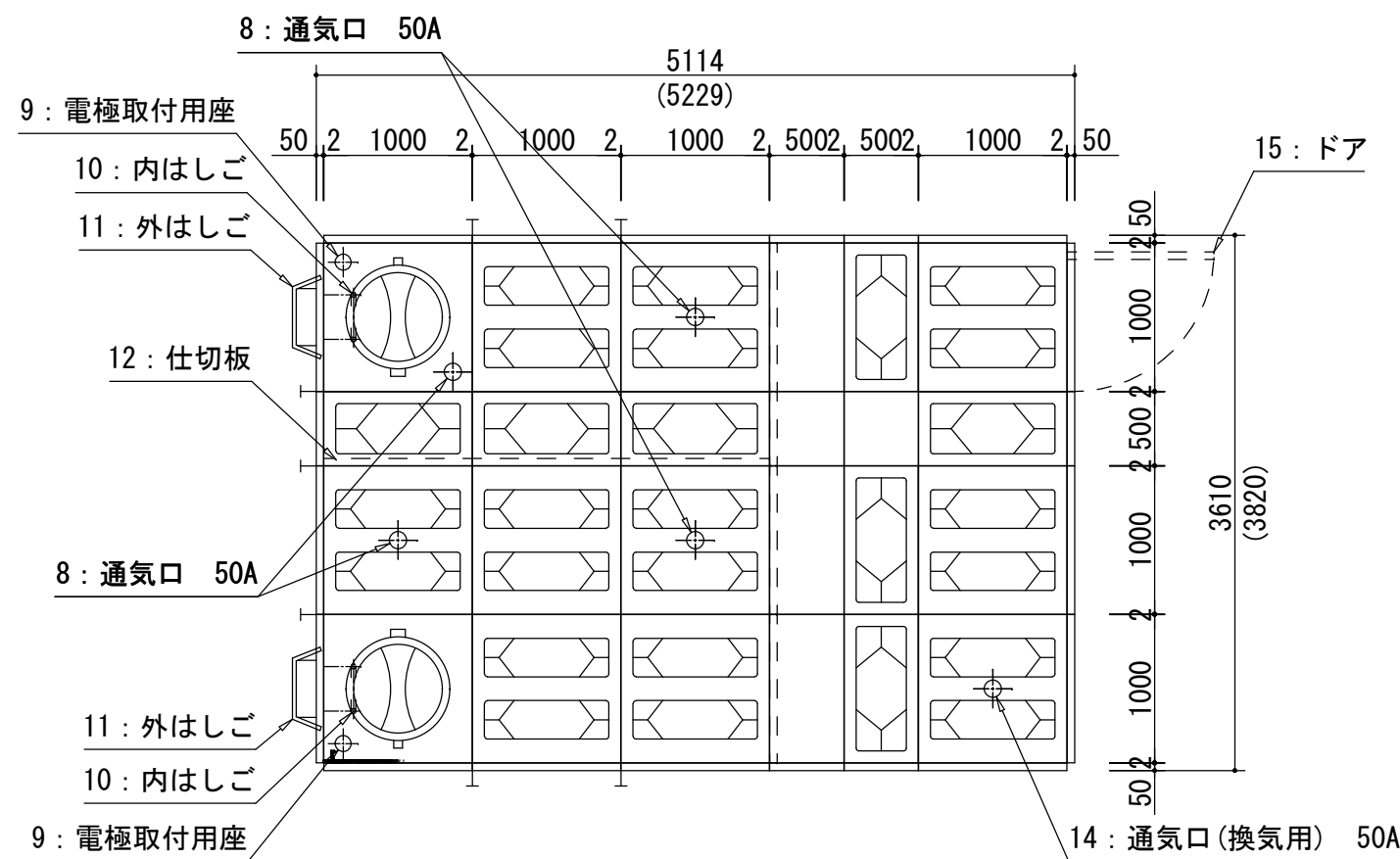
備考

藤川設計株式会社

一級建築士登録 222551  
田中 富士夫

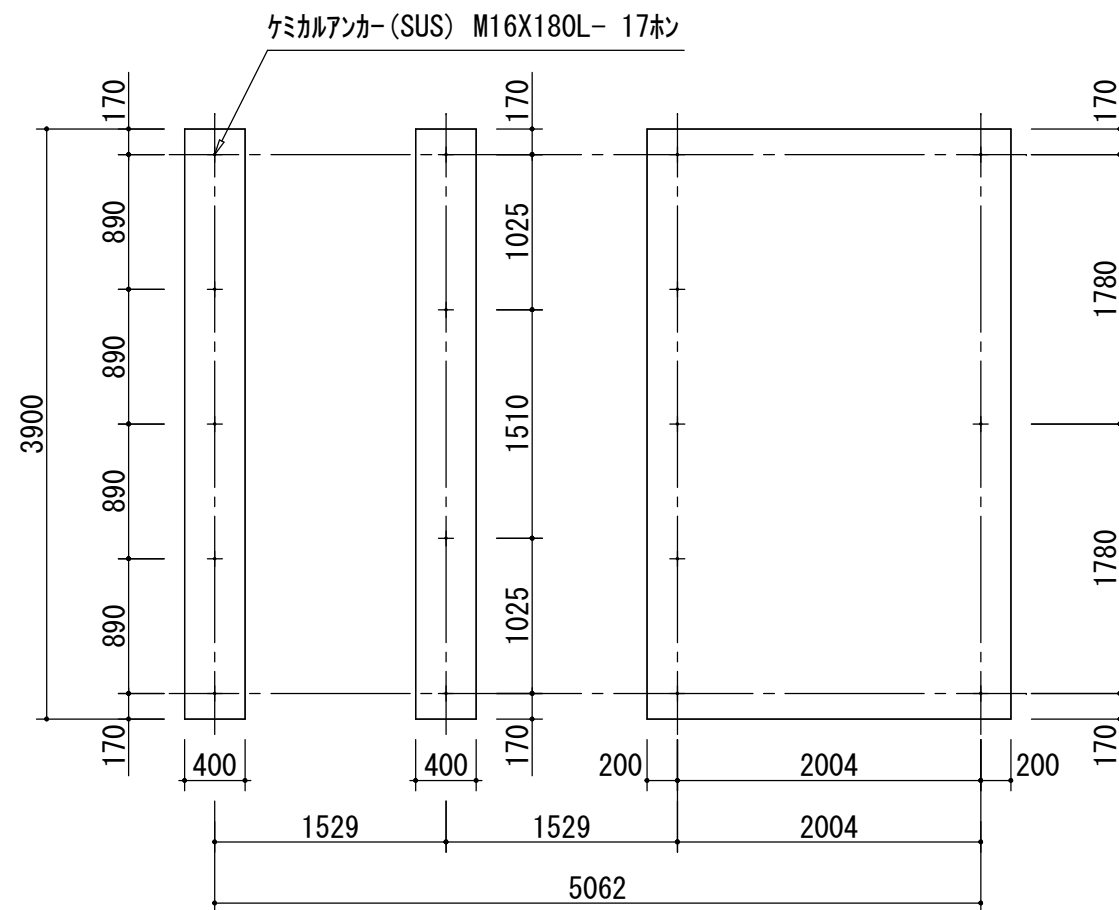
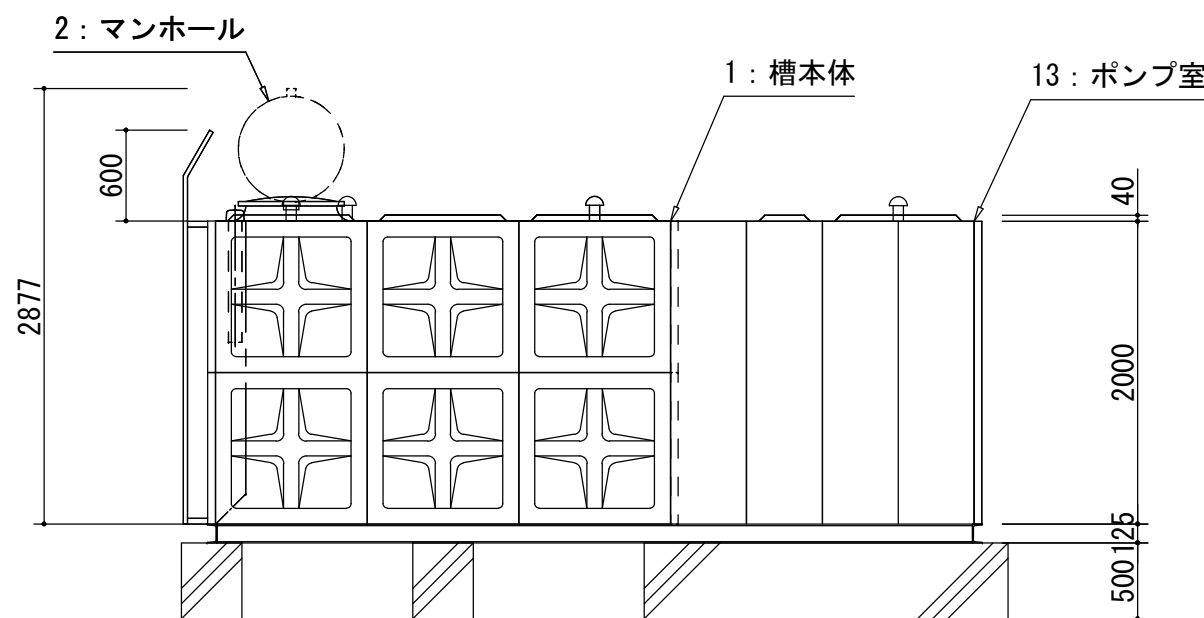
M-29  
原図：A2





架台図  
(溶融亜鉛めっき)

21.0 M<sup>3</sup> (3.0×3.5×2.0H)  
(1.5+2.0)



基礎参考図  
(アンカーボルト位置図)

TW-1 受水槽  
二槽式 単板構造 水平震度:  $K^H = 1.5$

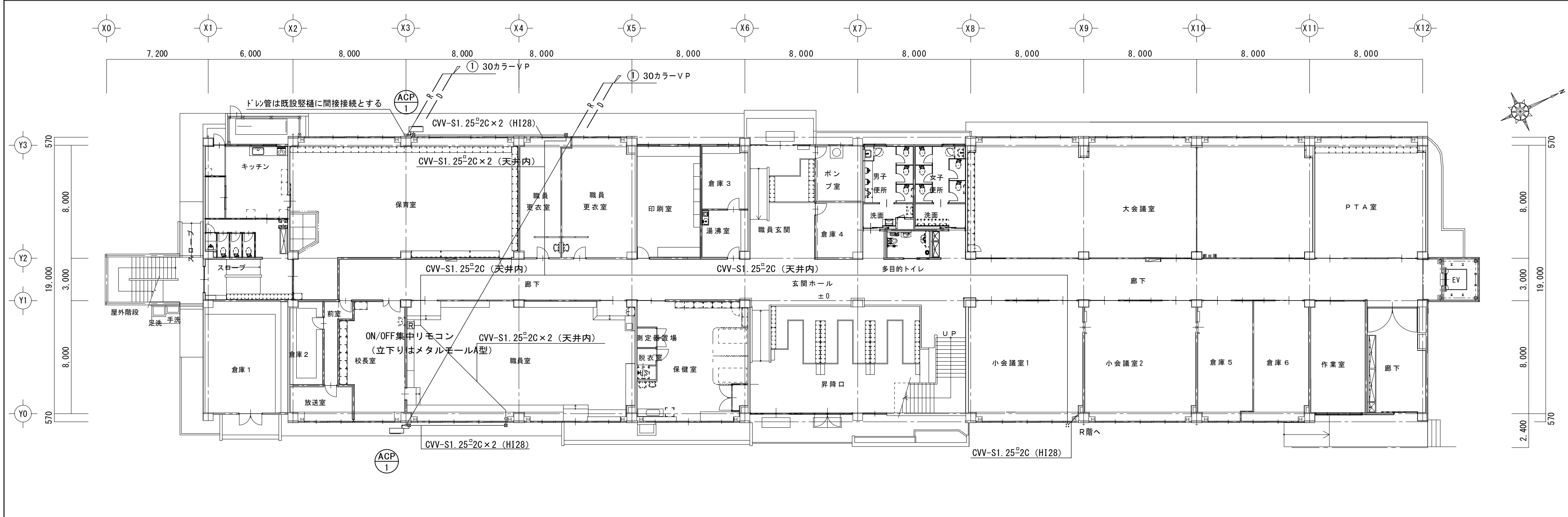
注記

- パネル材質は、SUS444 + SUS329J4L 仕様
- パネル締結用ボルトはSUS-304品  
(気相部は樹脂ライニングボルト・ナット品)
- 気相部は、粉体塗装部品を使用
- 水槽質量は、1990kg
- ( ) 内寸法はタンク最外寸法を示す。
- 「公共建築工事標準仕様書」に準じる。
- ポンプ室側板パネル材質は、SUS304相当品仕様  
ポンプ室天井パネル材質は、SUS444仕様

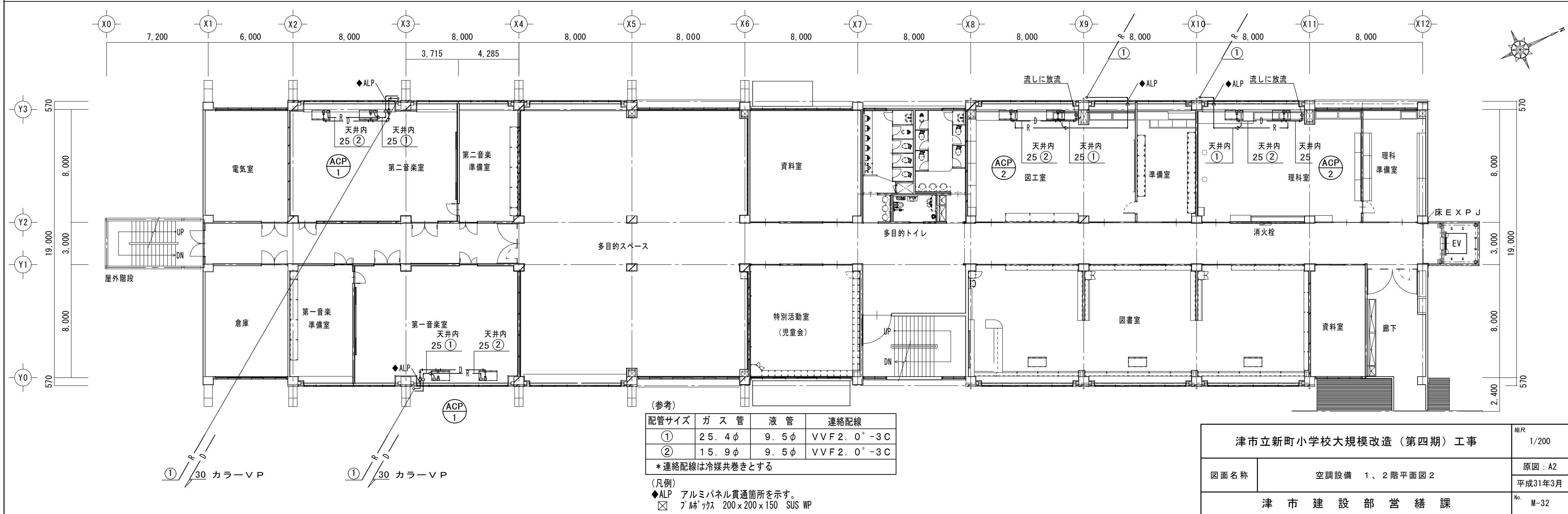
15	ドア	AL	1	790×1795H(ガラリ付)	DRC
14	通気口(換気用)	ABS	1	50A 防虫網付	
13	ポンプ室	SUS	1	3.5×2.0×2.0H	B2.0
12	仕切板	SUS	1		B1.5 0.5
11	外はしご	SS	2	巾385 溶融亜鉛めっき品	
10	内はしご	PVC	2	巾300	
9	電極取付用座	PVC	2	FF2 かん- 防波管付	
8	通気口	ABS	4	50A 防虫網付	
7	排水口				
6	溢水口				
5	出水口	FC	2	65A 両面フランジ 緊急遮断弁 (N 775弁) 制御盤付	
4	入水口				
3	入水口				
2	マンホール	SUS	2	φ600 取外し兼用型 内蓋付	
1	槽本体	SUS	1		78
No	名 称	材質	数量	単位	

記 号	機 器 名 参考型番	機 器 仕 様	電 源 容 量			台数	設 置 場 所	備 考
			φ	V	圧縮機 k W			
ACP 1	パッケージ空気調和機	形 式      天吊形   同時ツイン	3	2 0 0	4 . 6 0	2	第一音楽室 第二音楽室	既製R C基礎 転倒防止金物
		冷房能力    定格   2 0 .   0    k W	消費	冷房	6 . 9 6			
		暖房能力    定格   2 2 .   4    k W	電力	暖房	6 . 1 5			
				低温	9 . 3 6			
		付 属 品      ワイヤレスリモコン、防護ネット、ドレンアップキット、他一式共						
ACP 2	パッケージ空気調和機	形 式      天吊形   同時ツイン	3	2 0 0	4 . 6 0	2	図工室 理科室	既製R C基礎 ( L = 1 0 0 0 )
		冷房能力    定格   2 0 .   0    k W	消費	冷房	6 . 9 6			
		暖房能力    定格   2 2 .   4    k W	電力	暖房	6 . 1 5			
		冷媒配管		低温	9 . 3 6			
		付 属 品      ワイヤレスリモコン、防護ネット、ドレンアップキット、他一式共						
ACP 3	パッケージ空気調和機	形 式      天吊形	3	2 0 0	3 . 7 0	2	家庭科室	既製R C基礎 ( L = 1 0 0 0 )
		冷房能力    定格   1 4 .   0    k W	消費	冷房	5 . 4 2			
		暖房能力    定格   1 6 .   0    k W	電力	暖房	5 . 0 0			
		冷媒配管		低温	6 . 2 8			
		付 属 品      ワイヤレスリモコン、防護ネット、ドレンアップキット、他一式共						
	ON/OFFコントローラ		1	1 0 0		1	職員室	

1 階平面図 1/200



2 階平面図 1/200



R 階平面図 1/200

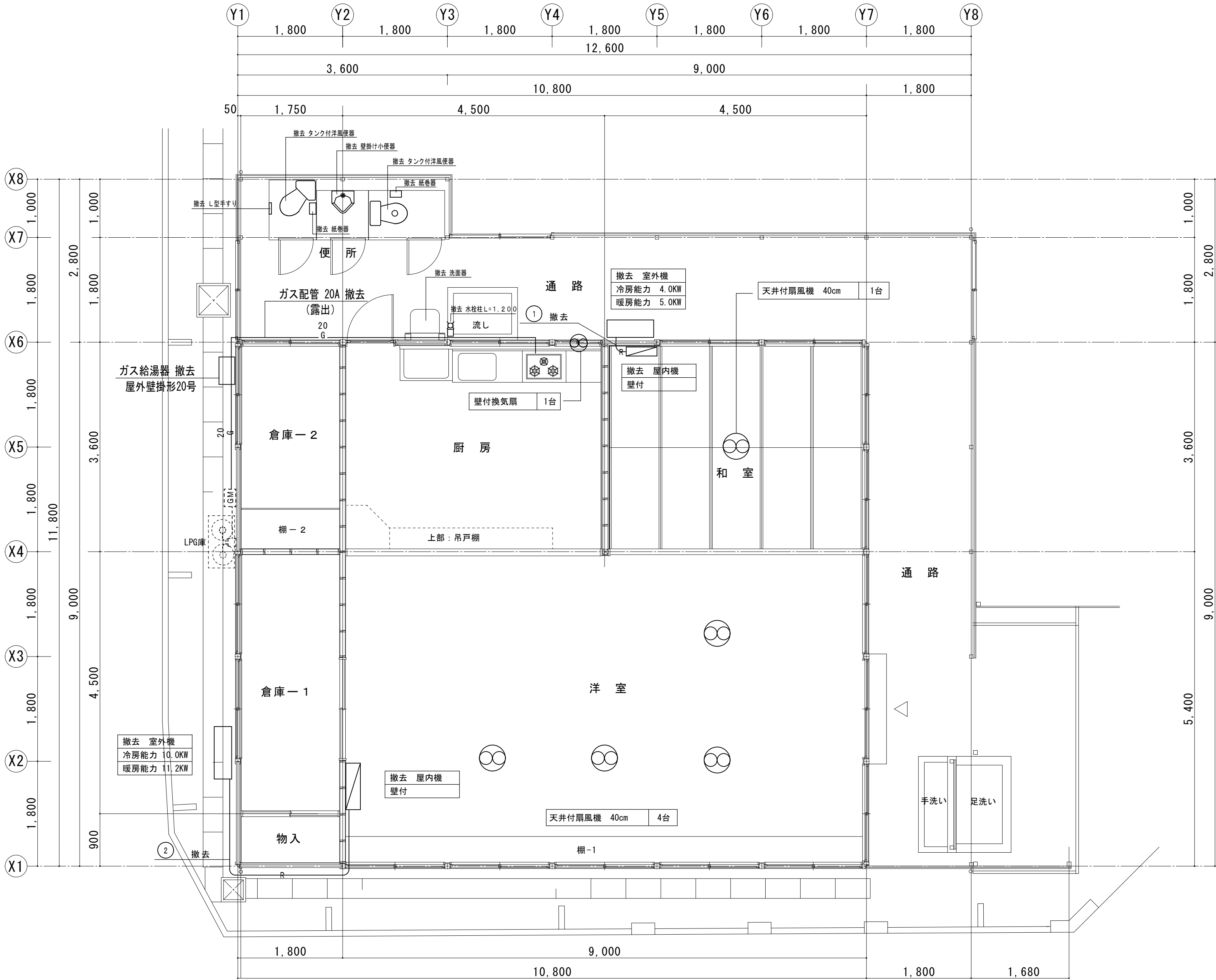
The drawing shows the R floor plan with various rooms and corridors. Key areas include a large indoor sports hall (屋内運動場) and several galleries (ギャラリー). Air conditioning units are labeled ACP 2 and ACP 3. Ductwork is shown with labels like CVV-S1.25<sup>□</sup>2C (H128). A detailed table provides specifications for the piping and connections.

配管サイズ	ガス 管	液 管	連絡配線
①	25.4φ	9.5φ	VVF2.0°-3C
②	15.9φ	9.5φ	VVF2.0°-3C

\* 連絡配線は冷媒共巻きとする

(凡例)  
◆ALP アルミパネル貫通箇所を示す。  
☒ プルボックス 200×200×150 SUS WP

図面名称: 空調設備 3、R階平面図 2  
縮尺: 1/200  
原図: A2  
平成31年3月  
No. M-33



平面図 1:50

撤去 冷媒管サイズ表			
記 号	液 管	ガ ス 管	連 絡 線
①	φ 6. 4	φ 12. 7	VVF1.6-3C
②	φ 9. 5	φ 19. 1	VVF1.6-3C
※外部露出部分のみ撤去とする。屋外保温材も撤去とする			

撤去工事区分
・機器及び配管の撤去は、機械設備工事とし、建物に付随する配管の撤去は建築解体工事とする。
・図面の記載なき機器・露出配管の撤去も、機械設備工事として処理の事。
・埋設配管は樹へ接続されている枝管までの撤去とし、キャップ止めを行うこと。
特記事項
・空調機の撤去処分については、「特定製品に係る70%の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」及びに基づき適正に処理すること。